

計画期間中における点検の実施状況等

「伊方発電所第3号機 点検計画（第15保全サイクル）」

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として以下の設備を対象に記載している。

①核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置，運転等に関する規則別表第2において工事計画書に記載が要求されている設備

なお，工事計画書において仕様が記載されていない設備については，日常の管理の中で健全性が確認でき，かつ，取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具，現地操作時に用いる工具類，固縛用ナイロンスリング類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明，電話・ファックス他）

②保全の重要度が高い設備

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として以下を記載している。

・定期事業者検査に係る点検

・施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

・施設定期検査対象機器に係る点検のうち定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

・記載対象設備において上記に該当する点検がない設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については，「伊方発電所保守内規」に定めている。

※1 附帯設備の例

潤滑油，潤滑水，シール水，冷却設備，電源，制御回路，オリフィス，レデューサ，サイトグラス等

(3) 保全の重要度について

機器レベルの保全の重要度は，「伊方発電所保守内規」により定義されている G1～G5 の5段階で表記する。5段階のうち，G1，G2，G3は，保全重要度「高」，また，G4，G5は，保全重要度「低」として取り扱うこととする。

ただし，構築物の保全の重要度については，系統レベルの影響度評価結果に基づき，「高」又は「低」と記載している。

なお，保全重要度「高」の設備については保全方式として予防保全（時間基準保全，状態基準保全）を選定し，事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

・状態基準保全を採用しているもの：CBM

・事後保全を採用しているもの：BDM

なお，休止設備については使用時に保全方式を決定するため「-」と表示している。

(5) 点検頻度について

次の整理により「C」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年、「YP」：年、「B」：状態監視の結果で表記している。

- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「YP」により表記している。
なお、「M」により表示された頻度は、原子炉の運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
- ・「供用期間中検査」や「蒸気タービン開放検査」のように施設定期検査中に実施するもので年度管理するものについては、「YP」により表記している。
- ・換気空調設備のようにプラント運転中に点検を実施するもので年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」※²により表記している。
また、「燃料取扱設備検査」のようにプラント運転中に実施しているものでも施設定期検査に合わせて実施しているものは「C」により表示している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、“2次系配管肉厚検査計画による”と表記している。
- ・状態監視の結果実施した機器の分解点検等の後に実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。

※2：「C」により表記している「機能・性能試験」、「漏えい試験」、「外観点検」等は、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象としている。

(6) 点検時期について

時間基準保全の点検については、“定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載のないものについては、定検停止中に実施することとしている。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）並びにその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視の結果に基づき分解点検の実施時期を定め、分解点検に合わせて機能・性能試験を定期事業者検査として実施する場合については、技術基準適合判断を伴う状態監視の頻度を一定の期間として扱い、機能・性能試験の頻度を「B」により表記している。

(8) 今回の実施計画について

第15保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、本保全サイクル中に1つでも点検の計画があれば「○」としている。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（実施時期）を記載。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

| 機器又は系統名 | ページ |
|--|--------|
| 原子炉本体 [炉心] | 参考1-6 |
| 原子炉本体 [原子炉容器] | 参考1-6 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] | 参考1-6 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備] | 参考1-7 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] | 参考1-7 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] | 参考1-8 |
| 原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] | 参考1-8 |
| 原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] | 参考1-11 |
| 原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] | 参考1-14 |
| 原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] | 参考1-19 |
| 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] | 参考1-19 |
| 原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] | 参考1-25 |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] | 参考1-25 |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] | 参考1-27 |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置] | 参考1-28 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [車室, 円板, 隔板, 噴口, 翼, 車軸] | 参考1-28 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁] | 参考1-29 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器] | 参考1-30 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] | 参考1-32 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備] | 参考1-34 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] | 参考1-36 |

| 機器又は系統名 | ページ |
|--|--------|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] | 参考1-37 |
| 計測制御系統施設 [制御材] | 参考1-38 |
| 計測制御系統施設 [制御棒駆動装置] | 参考1-38 |
| 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] | 参考1-39 |
| 計測制御系統施設 [制御用空気設備] | 参考1-40 |
| 計測制御系統施設 [その他設備] | 参考1-40 |
| 計測制御系統施設 [発電用原子炉の運転を管理するための制御装置] | 参考1-41 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体, 又は固体廃棄物貯蔵設備] | 参考1-41 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体, 又は固体廃棄物処理設備] | 参考1-42 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 [原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置] | 参考1-46 |
| 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] | 参考1-46 |
| 放射線管理施設 [換気設備] | 参考1-46 |
| 原子炉格納施設 [原子炉格納容器] | 参考1-54 |
| 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] | 参考1-62 |
| 原子炉施設 [その他設備] | 参考1-65 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置] | 参考1-66 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置] | 参考1-67 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他機器] | 参考1-68 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [発電機] | 参考1-68 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [変圧器] | 参考1-68 |

| 機器又は系統名 | ページ |
|--|--------|
| その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [しゃ断器] | 参考1-68 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [その他機器] | 参考1-68 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラー] | 参考1-68 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃料燃焼設備] | 参考1-68 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備] | 参考1-69 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [その他設備] | 参考1-69 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備] | 参考1-70 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [その他設備] | 参考1-70 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用取水設備) [取水設備] | 参考1-70 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所) | 参考1-71 |
| 竜巻防護対策設備 | 参考1-71 |
| 土木建築設備 | 参考1-71 |
| プラント総合 | 参考1-71 |
| 全般機器 | 参考1-71 |

2. 点検計画 重大事故等対処設備

| 機器又は系統名 | ページ |
|--|--------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備] | 参考1-72 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] | 参考1-72 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [その他設備] | 参考1-73 |
| 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] | 参考1-73 |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] | 参考1-73 |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] | 参考1-74 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] | 参考1-74 |

| 機器又は系統名 | ページ |
|---|--------|
| 計測制御系統施設 [計測装置] | 参考1-74 |
| 計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号] | 参考1-75 |
| 計測制御系統施設 [制御用空気設備] | 参考1-75 |
| 計測制御系統施設 [その他設備] | 参考1-75 |
| 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] | 参考1-76 |
| 放射線管理施設 [換気設備] | 参考1-76 |
| 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] | 参考1-78 |
| 原子炉格納施設 [その他設備] | 参考1-79 |
| 原子炉施設 [その他設備] | 参考1-79 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置] | 参考1-79 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置] | 参考1-82 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [内郭浸水防護設備] | 参考1-83 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所) | 参考1-83 |
| 全般機器 | 参考1-84 |

3. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

| 機器又は系統名 | ページ |
|--------------------------------------|--------|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] | 参考1-85 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物貯蔵設備] | 参考1-85 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物処理設備] | 参考1-85 |
| 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] | 参考1-85 |
| 放射線管理施設 [換気設備] | 参考1-86 |
| その他発電用原子炉の附属施設 [電気設備] | 参考1-89 |
| その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備] | 参考1-90 |

4. 行政指導文書の点検指示による点検

| 機器又は系統名 | ページ |
|---------------|--------|
| 原子炉本体 [炉心] | 参考1-91 |

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--|-------------------------|---|----------------------------|----------|---------|---------------|----------------------------|-------------------------------------|------------|
| 原子炉本体 〔炉心〕 | 照射済燃料集合体 ※1一式 | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | 2 燃料集合体外観検査 | ※1 炉心設計による ※2 燃料集合体の不具合により 計画 | |
| | | 外観点検 | | | | | 700 燃料集合体外観検査※2 | | |
| 原子炉本体 〔原子炉容器〕 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕 | 照射済燃料集合体(取出し燃料) ※1一式 | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | 81 燃料集合体外観検査(取出し燃料) | ※炉心設計による | |
| | | 外観点検 | | | | | 3 燃料集合体炉内配置検査 | | ※炉心設計による |
| | 原子炉本体のうち炉心 | 1.燃料集合体 2.内挿物 (1)制御棒クラスター (2)ハートアップルボーズ (3)フランクグデハイス (4)2次中性子源 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 4 原子炉停止余裕検査 | 定検起動後 |
| | | | 機能・性能試験 | | | | | 80 炉物理検査 | |
| | 原子炉容器 | 開放点検 | G1 | 13M | ○ | 14回 | | | |
| | 燃料取扱機クレーン3号 | 1台 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 36 燃料取扱装置機能検査 | (潤滑油診断:2C) |
| | | | 機能・性能試験 | | | | | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | |
| | 使用済燃料ピットクレーン3号 | 1台 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 36 燃料取扱装置機能検査 | |
| | | | 機能・性能試験 | | | | | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | |
| | 燃料取扱機クレーン3号 | 1台 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 74 燃料取扱設備検査 | プラント運転中 |
| 機能・性能試験 | | | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | | | | | プラント運転中 | |
| 燃料移送装置(FH/B側) | 1台 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 36 燃料取扱装置機能検査 | (潤滑油診断:2C) | |
| | | 機能・性能試験 | | | | | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | | プラント運転中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|------------------------------|-------------------|-------------|--------|----------|---------|---------------|----------------------------|-------------------------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕 | 燃料移送装置(C/V側) | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 36 燃料取扱装置機能検査 | (潤滑油診断:2C) |
| | 新燃料エレベータ | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | |
| | | 簡易点検(点検手入れ) | G3 | IC | ○ | 14回 | | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 74 燃料取扱設備検査 | プラント運転中 (潤滑油診断:2C) |
| | 燃料仮置ラック | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | プラント運転中 |
| | | 簡易点検(点検手入れ) | G3 | IC | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | |
| | 新燃料取扱工具 | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | プラント運転中 |
| | | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | | |
| | 使用済燃料取扱工具 | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | 94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等) | 一部プラント運転中 |
| 機能・性能試験 | | G3 | IC | ○ | 14回 | | 一部プラント運転中 | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕 | 使用済燃料ピットポンプ3A | 機能・性能試験 | G3,G4 | IC | ○ | 14回 | 75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 使用済燃料ピットポンプ3A | 分解点検 | G3 | I30M | — | 13回 | | (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | G3 | I30M | — | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 使用済燃料ピットポンプ3B | 分解点検 | G3 | I30M | ○ | 9回 | | (振動診断:1M) |
| | | 開放点検 | G4 | I30M | — | 9回 | | |
| | 使用済燃料ピット脱塩塔7イ/ク3A | 開放点検 | G4 | I30M | — | 9回 | | |
| | | 開放点検 | G4 | I30M | — | 9回 | | |
| | 使用済燃料ピット脱塩塔7イ/ク3B | 開放点検 | G3 | I95M | — | 12回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 390M | — | 12回 | 91 1次系熱交換器検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---|--|----------------|-----------|-----------|---------|--------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 | 使用済燃料ピット冷却器3B | 開放点検 | G3 | 195M | — | 13回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 390M | — | 13回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | 使用済燃料ピット冷却器3C | 開放点検 | G3 | 130M | — | 11回 | | 一部プラント運転中 |
| | | 分解点検 他 | G3,G4 | 144M~180M | — | 14回 | 84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 | |
| | 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁 一式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器 一式 | 単体調整試験 他 | G4 | 13M | ○ | 14回 | | |
| | | | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 13回 | | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 6C | — | 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | |
| | 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水タンクポンプ3A電動機〕 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M) |
| | | | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | |
| 分解点検 | | | 130M | — | 13回 | | | |
| 機能・性能試験 | | G3 | 6C | — | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水タンクポンプ3B電動機〕 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M) | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | | 83 1次系ポンプ機能検査 |
| | 分解点検 | | 130M | — | 13回 | | | |
| | 機能・性能試験 | G3 | 6C | — | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水タンクポンプ3B電動機〕 その他の弁 一式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器 一式 | 分解点検 | G3 | 195M~390M | — | 9回 | | 伝熱管数:3,382本 | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 26M | — | 14回 | | |
| | 分解点検 他 | G3,G4 | 130M~156M | — | 13回 | 84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 | | |
| | 増締め(1次側マンホール) | G1 | 13M | ○ | 14回 | | | |
| 原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕 | 非破壊試験 | G3 | 26M | — | 14回 | | | |
| | | 開放点検(2次側マンホール) | | 65M | — | 14回 | | |
| | 開放点検(2次側マンホール) | | 39M | ○ | 12回 | | | |
| | 開放点検(2次側ハンドホール) | | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|-----------|-----------|-----------------|-----------------|----------|---------|---------------|-----------------|-------------------------|-------------|
| 蒸気発生器3B | | 開放点検(1次側マンホール) | G1 | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 増締め(1次側マンホール) | | 13M | - | 14回 | | | |
| | | 非破壊試験 | | 26M | ○ | 13回 | 6 蒸気発生器伝熱管体積検査 | 伝熱管数:3,382本 | |
| | | 開放点検(2次側マンホール) | | 65M | - | 14回 | | | |
| | | 開放点検(2次側ハントホール) | | 39M | ○ | 13回 | | | |
| | 蒸気発生器3C | | 開放点検(1次側マンホール) | G1 | 26M | ○ | 13回 | | |
| | | | 増締め(1次側マンホール) | | 13M | - | 14回 | | |
| | | | 非破壊試験 | | 26M | ○ | 13回 | 6 蒸気発生器伝熱管体積検査 | 伝熱管数:3,382本 |
| | | | 開放点検(2次側マンホール) | | 65M | - | 14回 | | |
| | | | 開放点検(2次側ハントホール) | | 39M | ○ | 13回 | | |
| 加圧器安全弁3A | 3V-RC-055 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 8 加圧器安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 13M | ○ | 14回 | 10 加圧器安全弁分解検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 9 加圧器安全弁漏えい検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | 8 加圧器安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 13M | ○ | 14回 | 10 加圧器安全弁分解検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 9 加圧器安全弁漏えい検査 | | |
| 加圧器安全弁3B | 3V-RC-056 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 8 加圧器安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 13M | ○ | 14回 | 10 加圧器安全弁分解検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 9 加圧器安全弁漏えい検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | 8 加圧器安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 13M | ○ | 14回 | 10 加圧器安全弁分解検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 9 加圧器安全弁漏えい検査 | | |
| 加圧器安全弁3C | 3V-RC-057 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 8 加圧器安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 13M | ○ | 14回 | 10 加圧器安全弁分解検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 9 加圧器安全弁漏えい検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | 11 加圧器逃がし弁機能検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 26M | ○ | 13回 | 13 加圧器逃がし弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| 加圧器逃がし弁3A | 3PCV-452A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 12 加圧器逃がし弁漏えい検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する設備診断技術 〕 |
|---------------|------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|--------------------------|---------------------------|
| 加圧器速がし弁3B | 3PCV-452B | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | I1 加圧器速がし弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | 漏えい試験 | | | | | | |
| | 3V-RC-054A | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | I4 加圧器速がし弁元弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | 分解点検(電動機) | | | | | | |
| | 3V-RC-054B | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | I4 加圧器速がし弁元弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | 分解点検(電動機) | | | | | | |
| | | 機能・性能試験 | | | | | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| 1次冷却材ポンプ3A | 39M | 機能・性能試験 | G1 | 39M | - | 13回 | 92 1次冷却材ポンプ機能検査 | 一部定検起動後 |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 軸封部点検 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| 1次冷却材ポンプ3A電動機 | 130M | 機能・性能試験 | G1 | 130M | - | 14回 | 90 1次冷却材ポンプ/メカニカルシール分解検査 | 一部フロント運転中 |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 軸封部点検 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| 1次冷却材ポンプ3B | 10YP | 機能・性能試験 | G1 | 10YP | - | 13回 | 92 1次冷却材ポンプ機能検査 | 一部定検起動後 |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 軸封部点検 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| 1次冷却材ポンプ3B電動機 | 130M | 機能・性能試験 | G1 | 130M | - | 14回 | 90 1次冷却材ポンプ/メカニカルシール分解検査 | 一部フロント運転中 |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 軸封部点検 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| 1次冷却材ポンプ3B電動機 | 130M | 機能・性能試験 | G1 | 130M | - | 14回 | 90 1次冷却材ポンプ/メカニカルシール分解検査 | (振動診断:1M、1C、潤滑油診断:1C) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 軸封部点検 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--------------------------|--------------------------------------|----------------|--------|----------|----------|---------------|-----------------|--------------------------------------|-----------------------|
| 原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 | 1次冷却材ポンプ3C | 機能・性能試験 | G1 | IC | ○ | 14回 | 92 1次冷却材ポンプ機能検査 | 一部定検起動後 | |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 7回 | | | |
| | 1次冷却材ポンプ3C電動機 | 軸封部点検 | | 13M | ○ | ○ | 14回 | 90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査 | 一部アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | 39M | ○ | ○ | 12回 | | |
| | 加圧器3号 | 非破壊試験(フライホイール) | | G1 | 130M | ○ | 9回 | | (振動診断:1M、1C、潤滑油診断:1C) |
| | | 開放点検 | | G3 | 39M | ○ | 14回 | | |
| | | マンホール増締め | | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | | 分解点検 他 | | G3 | 13M～156M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 | |
| | 原子炉冷却系統施設 〔1次冷却材の循環設備〕 その他の弁一式 | 分解点検 他 | | G1～G3 | 13M～325M | ○ | 14回 | 34 安全保護系設定値確認検査 35 フラント状態監視設備機能検査 | |
| | | 機能・性能試験 | | G3 | IC | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | |
| | 主蒸気安全弁3A1 | 分解点検 | | | 26M | — | 14回 | | |
| | | 漏えい試験 | | | 2C | — | 14回 | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 | |
| | 主蒸気安全弁3B1 | 機能・性能試験 | | G3 | IC | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | |
| | | 分解点検 | | | 26M | ○ | 13回 | | |
| 主蒸気安全弁3C1 | 漏えい試験 | | | 2C | ○ | 13回 | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | G3 | IC | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| 主蒸気安全弁3A2 | 分解点検 | | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | 漏えい試験 | | | 2C | ○ | 13回 | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |
| 主蒸気安全弁3A2 | 機能・性能試験 | | G3 | IC | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | 分解点検 | | | 26M | — | 14回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | — | 14回 | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|-----------|------------|------------|---------|----------|---------|---------------|---------------|-------------------------|--|
| 主蒸気安全弁3B2 | 3V-MS-522B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | | |
| | 3V-MS-522C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | | |
| | 主蒸気安全弁3A3 | 3V-MS-523A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | |
| | | | 分解点検 | | 26M | - | 14回 | | |
| | | | 漏えい試験 | | 2C | - | 14回 | | |
| | 主蒸気安全弁3B3 | 3V-MS-523B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | |
| | | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | |
| 主蒸気安全弁3C3 | 3V-MS-523C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | | |
| 主蒸気安全弁3A4 | 3V-MS-524A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | | |
| 主蒸気安全弁3B4 | 3V-MS-524B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|-----------|------------|------------|---------|----------|---------|---------------|---|-------------------------|----------------|
| 主蒸気安全弁3C4 | 3V-MS-524C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |
| | 3V-MS-525A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 25 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | 26M | - | 14回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | - | 14回 | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |
| | 主蒸気安全弁3B5 | 3V-MS-525B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | 25 主蒸気安全弁機能検査 |
| | | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 |
| | 主蒸気安全弁3C5 | 3V-MS-525C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | 25 主蒸気安全弁機能検査 |
| | | | 分解点検 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 13回 | | 26 主蒸気安全弁漏えい検査 |
| 主蒸気逃がし弁3A | 3PCV-465 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査 | 一部プラント運転中 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 13M | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 28 主蒸気逃がし弁漏えい検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | 27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 13M | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 | | |
| 主蒸気逃がし弁3B | 3PCV-475 | 分解点検(駆動部) | G3 | 52M | ○ | 13回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 28 主蒸気逃がし弁漏えい検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | 27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--------------------------------------|------------------------|-----------|---------|----------|---------|--|---|-------------------------------|
| 原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁一式 | 主蒸気逃がし弁3C 3PCV-485 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査 | 一部アラート運転中 |
| | | 分解点検(弁本体) | | 13M | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | ○ | 13回 | | |
| | | 漏えい試験 | | 1C | ○ | 14回 | 28 主蒸気逃がし弁漏えい検査 | |
| | 主蒸気隔離弁3A 3V-MS-528A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 29 主蒸気隔離弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 26M | - | 14回 | 122 2次系弁検査 | |
| | 主蒸気隔離弁3B 3V-MS-528B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 29 主蒸気隔離弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 26M | - | 14回 | 122 2次系弁検査 | |
| | 主蒸気隔離弁3C 3V-MS-528C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 29 主蒸気隔離弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 26M | - | 14回 | 122 2次系弁検査 | |
| 分解点検(駆動部) | | 26M | | ○ | 14回 | | | |
| 分解点検 他 | | 13M~195M | | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 | | |
| 原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の機器一式 | 単体調整試験 他 | G2 | 13M | ○ | 14回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 10C | - | 11回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C) | |
| 原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] | 分解点検 | G3 | 130M | - | 11回 | 19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 | | |
| | | | 機能・性能試験 | 12C | - | 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C) |
| | 分解点検 | 156M | - | 14回 | | | | |
| | 潤滑油入替 | | | 26M | ○ | 14回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|-----------|-----------------|-----------------|------------|-----------|---------|---------------|--|--|--|
| 機器又は系統名 | 余熱除去ポンプ3B | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | ()内は適用する設備診断技術 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C) | |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 14回 | 19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 12C | — | 12回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C) 有効性評価 No.8の反映 | |
| | | 分解点検 | | 156M | — | 12回 | | | |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | | |
| | | ループ3C余熱除去系第2入口弁 | 3V-RH-002A | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | 分解点検(駆動部) | | | 130M | | — | 9回 | | |
| | 分解点検(電動機) | | | | 195M | — | 7回 | | |
| | 分解点検(弁本体) | | | G3 | 130M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | 分解点検(駆動部) | | | | 130M | — | 7回 | | |
| | 分解点検(電動機) | | | | 195M | — | 8回 | | |
| | ループ3B余熱除去系第2入口弁 | 3V-RH-002B | 機能・性能試験 | G3 | 10C,15C | — | 13回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施 |
| 分解点検(弁本体) | | | 130M | | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| 分解点検(駆動部) | | | | 130M | — | 13回 | | | |
| 分解点検(電動機) | | | | 195M | — | 6回 | | | |
| 分解点検(弁本体) | | | | 130M | — | 13回 | | | |
| 分解点検(電動機) | | | | 195M | — | 6回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施 |
|---------|--------------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|--|--|
| | 余熱除去クーラー3B再循環サブ.RWST側入口弁 | 機能・性能試験 | G3 | 10C,15C | — | 13回 | 84 1次系弁検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 7回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 6回 | | |
| | 余熱除去クーラー3A出口弁 | 機能・性能試験 | G3 | 10C,15C | — | 7回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施 |
| | | 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 7回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 7回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 4回 | | |
| | 余熱除去クーラー3B出口弁 | 機能・性能試験 | G3 | 10C,15C | — | 11回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施 |
| | | 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 11回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 8回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 4回 | | |
| | 余熱除去ラインループ3A低温側入口第2逆止弁 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | — | 10回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | — | 14回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | 余熱除去ラインループ3B低温側入口第2逆止弁 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 10回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | — | 14回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | | | | | | |
|----------------------|------------------------|------------|--------|----------|---------|---------------|--|-------------------------|------|------|----|-----|--|----|
| | 余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止弁 | 3V-RH-047B | G3 | 39M | ○ | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | | | | | | |
| | | 3V-RH-047C | | | | | | | G3 | 39M | - | 14回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 3V-RH-051A | | | | | | | | | | | | |
| | 余熱除去系出口連絡ライン弁3A | 3V-RH-051B | G3 | 130M | - | 9回 | | | | | | | | |
| | | 3V-RH-051C | | | | | | | G3 | 195M | - | 8回 | | |
| | | 3V-RH-051D | | | | | | | | | | | | |
| | 余熱除去系出口連絡ライン弁3B | 3V-RH-051E | G3 | 130M | - | 13回 | | | | | | | | |
| | | 3V-RH-051F | | | | | | | G3 | 195M | - | 3回 | | |
| | | 3V-RH-051G | | | | | | | | | | | | |
| | 余熱除去ラインループ3A高温側注入弁 | 3V-RH-052A | G3 | 130M | - | 9回 | | | | | | | | |
| | | 3V-RH-052B | | | | | | | G3 | 195M | - | 7回 | | |
| | | 3V-RH-052C | | | | | | | | | | | | |
| 余熱除去ラインループ3B高温側注入弁 | 3V-RH-052D | G3 | 130M | - | 13回 | | | | | | | | | |
| | 3V-RH-052E | | | | | | | G3 | 195M | - | 8回 | | | |
| | 3V-RH-052F | | | | | | | | | | | | | G3 |
| 余熱除去ラインループ3B高温側入口逆止弁 | 3V-RH-053A | G3 | 78M | - | 13回 | | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|----------------|----------------------|-----------------|----------|----------|---------|---------------|--|--|-------------------------|
| | 余熱除去ラインループ3C高温側入口逆止弁 | 3V-RH-058B | G3 | 78M | — | 12回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | | ループ3B余熱除去系第1入口弁 | 3PCV-420 | G3 | 130M | — | 11回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | | | | 130M | — | 9回 | | |
| | ループ3C余熱除去系第1入口弁 | 3PCV-430 | | | 195M | — | 8回 | | |
| | | | | G3 | 130M | — | 12回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | | | | 130M | — | 13回 | | |
| | 余熱除去冷却器3A出口流量調整弁 | 3HCV-603 | | G3 | 4C,8C | — | 14回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施 |
| | | | | | 104M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | | | | 52M | — | 14回 | | |
| | 余熱除去冷却器3B出口流量調整弁 | 3HCV-613 | | G3 | 4C,8C | — | 13回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施 |
| | | | | | 104M | — | 13回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | | | | 52M | ○ | 13回 | | |
| 余熱除去ループ3A流量制御弁 | 3FCV-604 | | G3 | 4C,8C | — | 13回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施 | |
| | | | | 104M | — | 12回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | | | | 52M | ○ | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--------------------------|----------------------------------|-----------|--------|---------------|---------|--|--|-------------------------|--|
| 原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] | 余熱除去ループ3B流量制御弁 3FCV-614 | 機能・性能試験 | G3 | 4C,8C | - | 13回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 104M | - | 11回 | 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | - | 14回 | | | |
| | | 開放点検 | G3 | 195M | - | 13回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 余熱除去冷却器3A | 非破壊試験 | | | 390M | - | 13回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | | 開放点検 | G3 | 195M | - | 13回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 余熱除去冷却器3B | 非破壊試験 | | | 390M | - | 13回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | | 分解点検 他 | G3,G4 | 104M~ 390M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 | | |
| | 原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁一式 | 単体調整試験 他 | G2 | 13M | ○ | 14回 | | | |
| | | 開放点検 | G3 | 195M | - | 13回 | | | |
| 原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] | 単体調整試験 他 | G2 | 13M | ○ | 14回 | | | | |
| | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査 137 運転中安全系ポンプ機能検査 | プラント運転中 [対象設備] ・高圧注入ポンプ3A, 3B ・余熱除去ポンプ3A, 3B | | |
| 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] | 機能・性能試験(状態監視含む) | G3 | 6M | ○ | 14回 | | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) | |
| | 分解点検 | G3 | 195M | - | 1回 | 17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 | | | |
| 高圧及び低圧注入系 | 高圧注入ポンプ3A電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | - | 14回 | | (振動診断:1M) | |
| | | 分解点検 | G3 | 195M | - | 2回 | 17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) | |
| | 高圧注入ポンプ3B | 分解点検 | G3 | 130M | - | 12回 | | (振動診断:1M) | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する設備診断技術 〕 |
|--------------|------------|-----------|---------|----------|---------|--|--|---------------------------|
| 高圧注入ポンプ3A入口弁 | 3V-SI-002A | 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 13回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 14回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 6回 | | |
| | 3V-SI-002B | 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 11回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | ○ | 5回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 6回 | | |
| | 3V-SI-026A | 機能・性能試験 | G3 | 10C,15C | — | 8回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 6回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 6回 | | |
| | 3V-SI-026B | 分解点検(電動機) | G3 | 195M | — | 8回 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 10C,15C | — | 13回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 9回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| 3V-SI-062A | 分解点検(駆動部) | G3 | 130M | — | 13回 | | | |
| | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 8回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 10C,15C | — | 14回 | 84 1次系弁検査 | 弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施 | |
| 3V-SI-062A | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 14回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 14回 | | | |
| | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 7回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施 | |
|----------------|----------------|------------|-----------|----------|---------|--|--|--|--|
| 機器又は系統名 | 高圧注入ライン隔離弁3B | 3V-SI-062B | 機能・性能試験 | G3 | 10C,15C | — | 84 1次系弁検査 | 〔()内は適用する設備診断技術〕 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施 | |
| | | 分解点検(弁本体) | 130M | | — | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | 130M | | ○ | 5回 | | | |
| | | 分解点検(電動機) | 195M | | — | 4回 | | | |
| | 高圧注入ポンプ出口連絡弁3A | 3V-SI-066A | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 14回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 14回 | | |
| | | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 8回 | | |
| | | | | | | | | | |
| | 高圧注入ポンプ出口連絡弁3B | 3V-SI-066B | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 8回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 13回 | | |
| | | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 8回 | | |
| | | | | | | | | | |
| 高温側高圧注入ライン止弁3A | 3V-SI-067A | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 11回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 10回 | | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 7回 | | | |
| | | | | | | | | | |
| 高温側高圧注入ライン止弁3B | 3V-SI-067B | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 6回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 6回 | | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 8回 | | | |
| | | | | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|----------------------|-----------------|--------|----------|---------|---------------|--|-------------------------|
| | 高圧注入ラインループ3A低温側第2逆止弁 | 3V-SI-072A 分解点検 | G3 | 260M | — | 12回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | 高圧注入ラインループ3B低温側第2逆止弁 | 3V-SI-072B 分解点検 | G3 | 260M | — | 12回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | 高圧注入ラインループ3C低温側第2逆止弁 | 3V-SI-072C 分解点検 | G3 | 260M | — | 10回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | 高圧注入ラインループ3A低温側第1逆止弁 | 3V-SI-075A 分解点検 | G3 | 260M | ○ | 12回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | 高圧注入ラインループ3B低温側第1逆止弁 | 3V-SI-075B 分解点検 | G3 | 260M | — | 12回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | 高圧注入ラインループ3C低温側第1逆止弁 | 3V-SI-075C 分解点検 | G3 | 260M | — | — | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | 28回にて初回点検を計画 |
| | 高圧注入ラインループ3A高温側第2逆止弁 | 3V-SI-079A 分解点検 | G3 | 260M | — | — | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | 29回にて初回点検を計画 |
| | 高圧注入ラインループ3B高温側第2逆止弁 | 3V-SI-079B 分解点検 | G3 | 260M | — | — | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | 30回にて初回点検を計画 |
| | 高圧注入ラインループ3C高温側第2逆止弁 | 3V-SI-079C 分解点検 | G3 | 260M | — | — | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | 29回にて初回点検を計画 |
| | 高圧注入ラインループ3C高温側第2逆止弁 | 3V-SI-079D 分解点検 | G3 | 260M | — | — | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | 30回にて初回点検を計画 |
| | 高圧注入ラインループ3A高温側第1逆止弁 | 3V-SI-082A 分解点検 | G3 | 65M | — | 13回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|------------|----------------------|------------|-----------|----------|---------|---------------|--|--|------|
| | 高圧注入ラインループ3B高温側第1逆止弁 | 3V-SI-082B | G3 | 65M | - | 12回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | | 3V-SI-082C | | | | | | | |
| | 高圧注入ラインループ3C高温側第1逆止弁 | 3V-SI-093A | G3 | 65M | - | 13回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | | 3V-SI-093B | | | | | | | |
| | 格納容器再循環サブ3A隔離弁 | 3V-SI-093B | 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 4回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 130M | | | | |
| | | | 分解点検(電動機) | | 195M | | | | |
| | | | 分解点検(弁本体) | | 156M | | | | |
| | 格納容器再循環サブ3B隔離弁 | 3V-SI-093B | 分解点検(駆動部) | G3 | 130M | - | 13回 | 18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(電動機) | | 195M | | | | |
| | | | 機能・性能試験 | | 1C | | | | |
| | | | 分解点検(弁本体) | | 130M | | | | |
| 蓄圧タンク3A出口弁 | 3V-SI-132A | 分解点検(駆動部) | G3 | 130M | - | 8回 | 16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | | | | | | 195M |
| 蓄圧タンク3B出口弁 | 3V-SI-132B | 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | - | 11回 | 22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | | 130M |
| | | 分解点検(電動機) | | | | | | | 195M |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | | 130M |
| | | 分解点検(駆動部) | G3 | 130M | - | 13回 | 22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | | | | | | 195M |
| | | 分解点検(電動機) | | 130M | - | 6回 | | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 3回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|---------------------|-------------------------------------|--------|--------------|---------|---------------|--|-------------------------|
| | 蓄圧タンク3C出口弁 | 3V-SI-132C 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | - | 13回 | 22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | 分解点検(電動機) | | | | | | |
| | 蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁 | 3V-SI-134A 分解点検 | G3 | 78M | - | 14回 | 22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 3V-SI-134B 分解点検 | | | | | | |
| | | 3V-SI-134C 分解点検 | | | | | | |
| | 蓄圧タンク3A出口注入ライン第1逆止弁 | 3V-SI-136A 分解点検 | G3 | 39M | ○ | 13回 | 22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 3V-SI-136B 分解点検 | | | | | | |
| | | 3V-SI-136C 分解点検 | | | | | | |
| | 蓄圧タンク3A | 開放点検 | G3 | 195M | - | 1回 | | |
| | | 蓄圧タンク3B 開放点検 | | | | | | |
| | | 蓄圧タンク3C 開放点検 | | | | | | |
| | 格納容器再循環サブ3A | 外観点検 | G3 | 1C, 2C | ○ | 14回 | 89 1次系容器検査 | |
| | | 蓄圧タンク3B 開放点検 | | | | | | |
| | | 蓄圧タンク3C 開放点検 | | | | | | |
| | 格納容器再循環サブ3B | 外観点検 | G3 | 1C, 2C | ○ | 14回 | 89 1次系容器検査 | |
| | | 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁一式 | | | | | | |
| | | 分解点検 他 | | | | | | |
| | | | G3,G4 | 78M~ 390M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------------------|--------------------------------------|-----------|--------|-----------|---------|---------------|--|-------------------------------|
| 原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] | 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他AM弁一式 | 分解点検 他 | G3 | 156M~208M | - | 13回 | 84 1次系弁検査 | |
| | 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器一式 | 分解点検 他 | G2,G3 | 13M~195M | ○ | 14回 | | |
| | 充てんポンプ3A冷却材補給系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 I47 その他原子炉注水系統機能検査 I45 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M) |
| | 充てんポンプ3A | 分解点検 | G3 | 65M | - | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M) |
| | 充てんポンプ3A電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | - | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:6M) |
| | 潤滑油入替 | | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 充てんポンプ3B | 分解点検 | G3 | 65M | - | 13回 | I45 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M) |
| | 充てんポンプ3B電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | - | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:6M) |
| | 充てんポンプ3C | 分解点検 | G3 | 65M | ○ | 14回 | | |
| | 充てんポンプ3C電動機 | 潤滑油入替 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 体積制御タンク3号 | 開放点検 | G3 | 195M | - | 8回 | | |
| | 冷却材フィルタ3号 | 開放点検 | G3 | 130M | - | 9回 | | |
| | 非再生冷却器3号 | 開放点検 | G3 | 195M | - | 10回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 390M | - | 10回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] | 原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他弁一式 | 分解点検 他 | G3,G4 | 13M~390M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 | 有効性評価 No.4の反映 |
| | 原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他機器一式 | 分解点検 他 | G2~G4 | 13M~390M | ○ | 14回 | | |
| | 原子炉補機冷却系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 15 原子炉補機冷却系機能検査 | |
| | 原子炉補機冷却水ポンプ3A | 機能・性能試験 | G3 | 10C | - | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 130M | - | 13回 | 82 1次系ポンプ分解検査 | |
| | | | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------|------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 13回 | | |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | 原子炉補機冷却水ポンプ3B | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 13回 | 82 1次系ポンプ分解検査 | |
| | | 機能・性能試験 | | 10C | — | 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 原子炉補機冷却水ポンプ3C | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 14回 | 82 1次系ポンプ分解検査 | |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | 原子炉補機冷却水ポンプ3D | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 13回 | | |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| 原子炉補機冷却水ポンプ3E | 機能・性能試験 | G3 | 10C | ○ | 8回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) | |
| | 分解点検 | | 130M | ○ | 8回 | 82 1次系ポンプ分解検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | 10C | — | 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) | |
| 原子炉補機冷却水ポンプ3A | 開放点検 | G3 | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 非破壊試験 | | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|---------------------------------------|-----------------|--|--------|----------|---------------|---------------|---------------------------------------|-------------------------|---|
| 原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 | 原子炉補機冷却水冷却器3B | 開放点検 | G3 | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | | 非破壊試験 | | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 原子炉補機冷却水冷却器3C | 開放点検 | G3 | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | | 非破壊試験 | | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 原子炉補機冷却水冷却器3D | 開放点検 | G3 | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | | 非破壊試験 | | 26M | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 2C | ○ | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | | |
| | 原子炉補機冷却水サーキット3号 | 原子炉補機冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他の弁一式 | 開放点検 | G3 | 195M | — | 14回 | | |
| | | | 分解点検 他 | | 52M~ 390M | ○ | 14回 | | 85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査 |
| | | | 分解点検 他 | | 130M~ 156M | — | 13回 | | 84 1次系弁検査 |
| 原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他AM弁一式 | | 単体調整試験 他 | G2 | 13M | ○ | 14回 | | | |
| | | 機能・性能試験 | | 2C | ○ | 14回 | 121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M) | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 14回 | 120 2次系ポンプ分解検査 | | |
| 海水ポンプ3A | | 機能・性能試験 | G3 | 8C | — | 14回 | 121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) | | |
| | | 分解点検 | | 104M | — | 14回 | | | |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | | |
| 海水ポンプ3B | | 機能・性能試験 | G3 | 2C | ○ | 14回 | 121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M) | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 14回 | | | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 14回 | 120 2次系ポンプ分解検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--|--|-----------|--------|----------|---------|---------------|--|-------------------------|--|
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置] | 海水ポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 8C | — | 13回 | I21 2次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) | |
| | | 分解点検 | | 104M | — | 13回 | | | |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | | |
| | 海水ポンプ3C | 機能・性能試験 | G3 | 2C | ○ | 14回 | I21 2次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M) | |
| | | 分解点検 | | 26M | ○ | 14回 | I20 2次系ポンプ分解検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 8C | ○ | 13回 | I21 2次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) | |
| | 海水ポンプ3D | 分解点検 | | | 104M | ○ | 13回 | | |
| | | 潤滑油入替 | | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 2C | ○ | 14回 | I21 2次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M) | |
| | 海水ポンプ3D電動機 | 分解点検 | | | 26M | ○ | 14回 | I20 2次系ポンプ分解検査 | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 8C | — | 13回 | I21 2次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) | |
| | | 分解点検 | | | 104M | — | 13回 | | |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁一式 | 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁一式 | 分解点検 他 | G3 | 26M~195M | ○ | 14回 | I22 2次系弁検査 | | |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 26M~156M | ○ | 14回 | | 一部分検査実施 | |
| | | 分解点検 他 | | | | | | | |
| | 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の機器(海水配管含む)一式 | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 78 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査 | | |
| | | 分解点検 | | | | | | | |
| | | 機能・性能試験 | G1 | 1C | ○ | 14回 | 55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 原子炉冷却系統施設 [車室 円板, 隔板, 噴口, 翼, 車輻] | 開放点検 | | | 4YP | — | 13回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 部分点検 | | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | | | | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---|----------|-----------|--------|----------|---------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁〕 | 低圧第1タービン | 機能・性能試験 | G1 | IC | ○ | 14回 | 55 総合負荷性能検査 | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 部分点検 | | 26M | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | 低圧第2タービン | 機能・性能試験 | G1 | IC | ○ | 14回 | 55 総合負荷性能検査 | |
| | | 開放点検 | | 4YP | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 部分点検 | | 26M | ○ | 13回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | 主蒸気止め弁3A | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | 主蒸気止め弁3B | 開放点検 | G3 | 4YP | ○ | 12回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査(保安装置検査) | |
| 主蒸気止め弁3C | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| 主蒸気止め弁3D | 開放点検 | G3 | 4YP | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査(保安装置検査) | | |
| 蒸気加減弁 第1弁 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 開放点検 | | 4YP | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| 蒸気加減弁 第2弁 | 開放点検 | G3 | 4YP | ○ | 12回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査(保安装置検査) | | |
| 蒸気加減弁 第3弁 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| 蒸気加減弁 第4弁 | 開放点検 | G3 | 4YP | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 機能・性能試験 | | IC | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | | |
| | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査(保安装置検査) | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|------------------------------|------------|-----------|--------|----------|---------|----------------|------------------------|-------------------------|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔復水器〕 | 再熱蒸気止め弁3A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | 再熱蒸気止め弁3B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | 再熱蒸気止め弁3C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | 再熱蒸気止め弁3D | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | インターセプト弁3A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | インターセプト弁3B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 12回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | インターセプト弁3C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | インターセプト弁3D | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I29 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | |
| | | 開放点検 | | 4YP | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | 蒸気タービン附属設備 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | I42 蒸気タービン附属設備機能検査 | |
| | | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| 復水器ホットウェル3A | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| 復水器ホットウェル3B | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| 復水器出入口水室3A | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| 復水器出入口水室3B | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| 復水器出入口水室3C | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| 復水器出入口水室3D | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 開放点検 | | 13M | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|-------------------------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|--------------|-------------------------------|
| | 復水ポンプ3A | 分解点検 | G4 | 78M | ○ | 9回 | | |
| | 復水ポンプ3A電動機 | 分解点検 | G4 | 78M | ○ | 9回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | 復水ポンプ3B | 分解点検 | G4 | 78M | — | 11回 | | |
| | 復水ポンプ3B電動機 | 分解点検 | G4 | 78M | — | 11回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | 復水ポンプ3C | 分解点検 | G4 | 78M | — | 13回 | | |
| | 復水ポンプ3C電動機 | 分解点検 | G4 | 78M | — | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | 復水器真空ポンプ3A | 分解点検 | G4 | 78M | — | 11回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | 復水器真空ポンプ3A電動機 | 分解点検 | G4 | 130M | — | 7回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | 復水器真空ポンプ3B | 分解点検 | G4 | 78M | — | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | 復水器真空ポンプ3B電動機 | 分解点検 | G4 | 130M | — | 14回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | 復水ろ過器3号 | 開放点検 | G3 | 104M | — | 8回 | I24 2次系容器検査 | |
| | 循環水ポンプ3A | 分解点検 | G3 | 39M | — | 13回 | | (潤滑油診断:1C) |
| | 循環水ポンプ3A電動機 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:6M) |
| | | 潤滑油入替 | | 39M | — | 13回 | | |
| | 循環水ポンプ3B | 分解点検 | G3 | 39M | ○ | 13回 | | (潤滑油診断:1C) |
| | 循環水ポンプ3B電動機 | 分解点検 | G3 | 78M | ○ | 12回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:6M) |
| | | 潤滑油入替 | | 39M | ○ | 13回 | | |
| | 復水器真空ポンプセパレーター/タンク3A逃がし弁 3V-BS-657A | 機能・性能試験 | G4 | 10C | — | 8回 | I23 2次系安全弁検査 | |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 8回 | | |
| | | 漏えい試験 | | 10C | — | 8回 | I23 2次系安全弁検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--|------------------------------------|---------------|---------------|----------|---------|---------------|----------------|--|--|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 | 復水器真空ポンプセパレータータンク3B逃がし弁 3V-BS-657B | 機能・性能試験 | G4 | 10C | — | 9回 | 123 2次系安全弁検査 | | |
| | | 分解点検 | | 130M | — | 9回 | | | |
| | | 漏えい試験 | | 10C | — | 9回 | 123 2次系安全弁検査 | | |
| | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン〔復水器〕 その他機器 一式 | 分解点検 | G3 | CBM | — | 8回 | | (振動診断:1C〔復水器 水室空気抜ポンプ,復水器 水室空気抜ポンプ 電動機〕) | |
| | | 開放点検(GEN側蒸気室) | G3 | 104M | ○ | 7回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | | 開放点検(GOV側蒸気室) | | 104M | — | 9回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | 湿分分離加熟器3A | 開放点検(胴側蒸気室) | | 52M | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | | | 非破壊試験 | | 104M | ○ | 9回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | | 漏えい試験 | | 8C | — | 9回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 湿分分離加熟器3B | 開放点検(GEN側蒸気室) | G3 | 104M | — | 8回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | | 開放点検(GOV側蒸気室) | | 104M | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| | | | 開放点検(胴側蒸気室) | | 52M | — | 12回 | 128 蒸気タービン開放検査 | |
| 脱気器3A | | 非破壊試験 | | 104M | — | 14回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | | 漏えい試験 | | 8C | — | 8回 | 128 蒸気タービン開放検査 | | |
| | | 開放点検 | G3 | 104M | — | 14回 | 124 2次系容器検査 | | |
| 脱気器3B | | 開放点検 | G3 | 104M | ○ | 7回 | 124 2次系容器検査 | | |
| | | 開放点検 | G3 | 26M | ○ | 13回 | 124 2次系容器検査 | | |
| | | 開放点検 | G3 | 130M | — | 7回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| 脱気器タンク3号 | 開放点検 | G3 | 10C | — | 7回 | 125 2次系熱交換器検査 | | | |
| | 漏えい試験 | | | | | | | | |
| | 開放点検 | G3 | 52M | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | | | |
| 第1低圧給水加熱器3A | 開放点検 | G3 | 52M | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | | | |
| | 非破壊試験 | | 52M | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | | | |
| | 漏えい試験 | | 4C | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-------------|-------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|---------------|-------------------------|
| | 第1低圧給水加熱器3B | 開放点検 | G3 | 52M | — | 14回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 52M | — | 14回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 漏えい試験 | | 4C | — | 14回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | 第2低圧給水加熱器3A | 開放点検 | G3 | 52M | ○ | 11回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 52M | ○ | 11回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 漏えい試験 | | 4C | ○ | 11回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | 第2低圧給水加熱器3B | 開放点検 | G3 | 52M | ○ | 12回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 52M | ○ | 12回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 漏えい試験 | | 4C | ○ | 12回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | 第3低圧給水加熱器3A | 開放点検 | G3 | 52M | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 52M | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| | | 漏えい試験 | | 4C | — | 13回 | 125 2次系熱交換器検査 | |
| 第3低圧給水加熱器3B | 開放点検 | G3 | 52M | — | 14回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| | 非破壊試験 | | 52M | — | 14回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| | 漏えい試験 | | 4C | — | 14回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| 第4低圧給水加熱器3A | 開放点検 | G3 | 52M | ○ | 11回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| | 非破壊試験 | | 52M | ○ | 11回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| | 漏えい試験 | | 4C | ○ | 11回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| 第4低圧給水加熱器3B | 開放点検 | G3 | 52M | — | 12回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| | 非破壊試験 | | 52M | — | 12回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |
| | 漏えい試験 | | 4C | — | 12回 | 125 2次系熱交換器検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|---|-----------|--------|----------|---------|---------------|---------------------|--------------------------------------|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕 | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕 その他の弁一式 | 分解点検 他 | G4 | 52M～65M | — | 13回 | | |
| | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕 その他の機器一式 | 開放点検 他 | G4,G5 | 104M | — | 12回 | | 一部BDMあり |
| | 補助給水系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 23 補助給水系機能検査 | |
| | タービン動補助給水ポンプ3号 | 機能・性能試験 | G3 | 10C | — | 13回 | 121 2次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M) |
| | 電動補助給水ポンプ3A | 分解点検 | | 130M | — | 13回 | 24 補助給水系ポンプ分解検査 | |
| | 電動補助給水ポンプ3A電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | — | 13回 | 24 補助給水系ポンプ分解検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) 有効性評価 No.8の反映 |
| | 電動補助給水ポンプ3B | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | 電動補助給水ポンプ3B電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | — | 6回 | 24 補助給水系ポンプ分解検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 蒸気タービン附属設備 | 分解点検 | G3 | 130M | — | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) 有効性評価 No.8の反映 |
| | 復水ブースタポンプ3A | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | 復水ブースタポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 142 蒸気タービン附属設備機能検査 | |
| | 復水ブースタポンプ3B | 分解点検 | G4 | 117M | — | 12回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 復水ブースタポンプ3B電動機 | 分解点検 | G4 | 78M | — | 12回 | | (振動診断:1M) |
| | 復水ブースタポンプ3C | 分解点検 | G4 | 117M | — | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 復水ブースタポンプ3C電動機 | 分解点検 | G4 | 78M | — | 14回 | | (振動診断:1M) |
| 給水ブースタポンプ3A | 分解点検 | G4 | 117M | — | 11回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) | |
| | 分解点検 | G4 | 78M | — | 13回 | | (振動診断:1M) | |
| | 分解点検 | G3 | 78M | — | 12回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する設備診断技術 〕 |
|------------------------|----------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|---------------------|---------------------------|
| 機器又は系統名 | 給水ブースタポンプ3A電動機 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 12回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) |
| | | 潤滑油入替 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 給水ブースタポンプ3B | 分解点検 | G3 | 78M | — | 14回 | | |
| | | 潤滑油入替 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 給水ブースタポンプ3B電動機 | 分解点検 | G3 | 78M | — | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) |
| | | 潤滑油入替 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 給水ブースタポンプ3C | 分解点検 | G3 | 104M | ○ | 7回 | | 120 2次系ポンプ分解検査 |
| | | 潤滑油入替 | | 52M | ○ | 13回 | | |
| | 給水ブースタポンプ3C電動機 | 分解点検 | G3 | 104M | — | 13回 | | (振動診断:6M, 潤滑油診断:2C) |
| | | 潤滑油入替 | | 52M | ○ | 13回 | | |
| | 電動主給水ポンプ3号 | 分解点検 | G3 | 130M | — | 7回 | | (振動診断:6M, 潤滑油診断:1C) |
| | | ロータ精密度点検 | | 260M | — | — | | 16回にて初回点検を計画 |
| 電動主給水ポンプ3号電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | — | 13回 | | (振動診断:6M) | |
| | 機能・性能試験 | | 6C | — | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M) | |
| タービン動主給水ポンプ3A | 分解点検 | | 78M | — | 14回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 4C | — | 13回 | | (振動診断:1M) | |
| 主給水ポンプタービン3A | 分解点検 | | 52M | — | 14回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | | | |
| タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置3A | 分解点検 | | 52M | ○ | 11回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 6C | — | 11回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M) | |
| タービン動主給水ポンプ3B | 分解点検 | | 78M | — | 11回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 4C | — | 12回 | | (振動診断:1M) | |
| 主給水ポンプタービン3B | 分解点検 | | 52M | — | 12回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 1C | ○ | 14回 | | | |
| タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置3B | 分解点検 | | 52M | ○ | 11回 | | | |
| | 機能・性能試験 | | 52M | — | 12回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|----------------------------|-------------|--------|--------------|---------|---------------|----------------|---|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] | 補助給水タンク3号 | 開放点検 | G3 | 104M | — | 12回 | | |
| | 第6高圧給水加熱器3A | 開放点検 | G3 | 52M | — | 12回 | I25 2次系熱交換器検査 | |
| | | 非破壊試験 | | 52M | — | 12回 | I25 2次系熱交換器検査 | |
| | 第6高圧給水加熱器3B | 漏えい試験 | | 4C | — | 12回 | I25 2次系熱交換器検査 | |
| | | 開放点検 | G3 | 52M | — | 13回 | I25 2次系熱交換器検査 | |
| | 復水脱塩塔3A | 非破壊試験 | | 52M | — | 13回 | I25 2次系熱交換器検査 | |
| | | 漏えい試験 | | 4C | — | 13回 | I25 2次系熱交換器検査 | |
| | 復水脱塩塔3B | 開放点検 | G3 | 130M | ○ | 10回 | I24 2次系容器検査 | |
| | | 開放点検 | G3 | 130M | — | 11回 | I24 2次系容器検査 | |
| | 復水脱塩塔3C | 開放点検 | G3 | 130M | — | 7回 | I24 2次系容器検査 | |
| | | 開放点検 | G3 | 130M | — | 8回 | I24 2次系容器検査 | |
| | 復水脱塩塔3D | 開放点検 | G3 | 130M | — | 8回 | I24 2次系容器検査 | |
| | | 開放点検 | G3 | 130M | — | 14回 | I24 2次系容器検査 | |
| | 復水脱塩塔3E | 開放点検 | G3 | 130M | — | 14回 | I24 2次系容器検査 | |
| | | 分解点検 他 | G3,G4 | 13M~ 195M | ○ | 14回 | | (振動診断:1M)アンモニア注入ポンプ 電動機,希ドランジ注入ポンプ電動機) (振動診断:1C)濃ヒラジン注入ポンプ電動機,予備薬注ポンプ電動機) (振動診断:1C,潤滑油診断:1C)蒸気発生器水張ポンプ) (振動診断:1C,潤滑油診断:2C)蒸気発生器水張ポンプ電動機) 有効性評価 No.9の反映 |
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] | 主な配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽気系統) 一式 | 開放点検(非破壊試験) | G3 | ※1 | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | ※1 2次系配管肉厚検査計画による。 |
| | | 目視点検 | | 1C | ○ | 14回 | I28 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 非破壊試験 | G3 | ※1 | ○ | 14回 | I26 2次系配管検査 | ※1 2次系配管肉厚検査計画による。 |
| | 外観点検 | | | 1C | ○ | 14回 | I26 2次系配管検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--------------------------------|--|------------|--------|----------|---------|----------------|------------------------|-------------------------|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] その他機器 一式 | 開放点検 他 | G3,G4 | 52M~104M | ○ | 14回 | | |
| | | 機能・性能試験 | G1,G3 | 1C | ○ | 14回 | 55 総合負荷性能検査 | 定検起動後 |
| | 主蒸気タンク弁3A | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) | 一部定検起動後 |
| | | 機能・性能試験 | | | | | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 13M | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 | 一部フロント運転中 |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | - | 13回 | | |
| | 主蒸気タンク弁3B | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 13M | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 | 一部フロント運転中 |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | - | 13回 | | |
| | 主蒸気タンク弁3C | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 52M | ○ | 11回 | 122 2次系弁検査 | 一部フロント運転中 |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | - | 13回 | | |
| | | フロントハッペン取替 | | 13M | - | 14回 | | |
| | 主蒸気タンク弁3D | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 52M | ○ | 11回 | 122 2次系弁検査 | 一部フロント運転中 |
| 分解点検(駆動部) | | | 78M | - | 13回 | | | |
| フロントハッペン取替 | | | 13M | - | 14回 | | | |
| 主蒸気タンク弁3E | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | | |
| | 分解点検(弁本体) | | 52M | - | 14回 | 122 2次系弁検査 | 一部フロント運転中 | |
| | 分解点検(駆動部) | | 78M | - | 13回 | | | |
| | フロントハッペン取替 | | 13M | ○ | 13回 | | | |
| | フロントハッペン取替 | | 13M | ○ | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------------|--|------------|--------|----------|---------|---------------|----------------------------|-------------------------------|
| | 主蒸気タンク弁3F | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | 一部プラント運転中 |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | グラントハッキン取替 | | | | | | |
| | 主蒸気タンク弁3G | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | 一部プラント運転中 |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | グラントハッキン取替 | | | | | | |
| | 主蒸気タンク弁3H | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 61 主蒸気タンク弁機能検査 | 一部プラント運転中 |
| | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | グラントハッキン取替 | | | | | | |
| 計測制御系統施設 [制御材] | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他設備]その他の弁 一式 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他設備]その他の機器 一式 制御棒クワスタ | 機能・性能試験 | G3,G4 | 13M~390M | ○ | 14回 | 122 2次系弁検査 123 2次系安全弁検査 | 一部プラント運転中 |
| | | 分解点検 他 | | | | | | |
| | | 分解点検 他 | | | | | | |
| | | グラントハッキン取替 | | | | | | |
| 計測制御系統施設 [制御棒駆動装置] | 48体 48体 ※一式 ※一式 ※一式 48本 制御棒駆動系 制御棒駆動用電源M-Gett3A 発電機 | 機能・性能試験 | G2 | IC | ○ | 14回 | 106 制御棒クワスタ動作検査 | ※ 炉心設計による |
| | | 外観点検 | | | | | | |
| | | 機能・性能試験 | | | | | | |
| | | 機能・性能試験 | | | | | | |
| | 制御棒駆動用電源M-Gett3A 発電機 | 機能・性能試験 | G2 | IC | ○ | 14回 | 30 制御棒駆動系機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 潤滑油入替 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 制御棒駆動用電源M-Gett3A 発電機 | 機能・性能試験 | G3 | 39M | ○ | 13回 | 106 制御棒クワスタ動作検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 潤滑油入替 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 制御棒駆動用電源M-Gett3A 発電機 | 機能・性能試験 | G3 | 26M | - | 14回 | 106 制御棒クワスタ動作検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | | 潤滑油入替 | | | | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------------------|---------------------|-----------------|--------|-------------|---------|---------------|------------------------------------|-------------------------------|
| 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] | 制御棒駆動用電源M-GET3B 発電機 | 分解点検 潤滑油入替 | G3 | 39M 26M | - - | 14回 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | 制御棒駆動用電源M-GET3B 電動機 | 分解点検 | G3 | 39M | - | 14回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | ほう酸ポンプ3A | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 1C 156M | ○ - | 14回 7回 | 31-2 ほう酸ポンプ機能検査 31-1 ほう酸ポンプ分解検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | ほう酸ポンプ3A電動機 | メカニカルシール取替 | | 78M | - | 13回 | | |
| | ほう酸ポンプ3B | 分解点検 | G3 | 156M | - | 11回 | | (振動診断:1M) |
| | ほう酸ポンプ3B | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 1C 156M | ○ - | 14回 8回 | 31-2 ほう酸ポンプ機能検査 31-1 ほう酸ポンプ分解検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | ほう酸ポンプ3B電動機 | メカニカルシール取替 | | 78M | - | 13回 | | |
| | ほう酸ポンプ3B電動機 | 分解点検 | G3 | 156M | - | 13回 | | (振動診断:1M) |
| | 1次系補給水ポンプ3A | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 10C 130M | - - | 13回 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 1次系補給水ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 6C 78M | - - | 14回 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M) |
| | 1次系補給水ポンプ3B | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 10C 130M | - - | 13回 13回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 1次系補給水ポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 6C 78M | - - | 14回 14回 | 83 1次系ポンプ機能検査 | (振動診断:1M) |
| | ほう酸タンク3A | 開放点検 | G3 | 195M | - | 14回 | | |
| | ほう酸タンク3B | 開放点検 | G3 | 195M | - | 2回 | | |
| | 1次系純水タンク3号 | 開放点検 | G3 | 195M | - | 9回 | | |
| | ほう酸フィルタ3号 | 開放点検 | G3 | 130M | - | 9回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------------|---|--------------|--------|----------|---------|---------------|---|-------------------------------|
| 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 | 計測制御系統施設 〔ばり酸注入機能を有する設備〕 その他の弁一式 計測制御系統施設 〔ばり酸注入機能を有する設備〕 その他機器一式 制御用空気圧縮機3A | 分解点検 他 | G3,G4 | 13M~195M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査 | |
| | | 漏えい試験 | G3 | 10YP | — | 13回 | | |
| | | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 32 制御用空気圧縮系機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 部分点検 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 | 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他の弁一式 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他機器一式 制御用空気圧縮機3A電動機 | 分解点検 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | | 分解点検 | G3 | 130M | — | 13回 | | (振動診断:1M) |
| | | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 32 制御用空気圧縮系機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M) |
| | | 部分点検 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 | 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他の弁一式 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他機器一式 制御用空気圧縮機3B電動機 | 分解点検 | | 26M | ○ | 14回 | | |
| | | 分解点検 | G3 | 130M | — | 13回 | | (振動診断:1M) |
| | | 機能・性能試験 | G3,G4 | 13M~312M | ○ | 14回 | 85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 | |
| | | 部分点検 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| 計測制御系統施設 〔その他設備〕 | 1.原子炉保護系ロジック回路 2.安全防護系ロジック回路 1.原子炉トップ・工学的安全施設の始動,原子炉格納容器隔離等を行ったためのすべての伝送器,設定器及び保護継電器 (1)1次冷却材等計測装置 伝送器(保護継電器含む) 設定器 (2)核計装装置 2.重要な指示計器 (1)1次冷却材等計測装置 中央指示計 現場指示計 現場記録計 (2)核計装装置 中央指示計 現場記録計 | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 33 安全保護系機能検査 | |
| | | 機能・性能試験 | G2,G3 | 13M~52M | ○ | 14回 | | 有効性評価 No.5の反映 |
| | | 特性試験 | G1~G4 | 13M | ○ | 14回 | 34 安全保護系設定値確認検査 | |
| | | 27回路 34回路 | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|---|-----------|--------|--------------|---------|---------------|------------------------------|---|
| | 事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器 7個 20個 9個 10個 | 特性試験 他 | G2,G4 | 13M | ○ | 14回 | 35 フラント状態監視設備機能検査 | |
| | 事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台 | 機能・性能試験 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 35 フラント状態監視設備機能検査 | |
| | 1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式 | 機能・性能試験 | G2,G3 | 1C | ○ | 14回 | 71 計測制御系機能検査 | |
| | 1.1次系計測制御装置 2.2次系計測制御装置 一式 | 特性試験 | G1~G4 | 12M~ 104M | ○ | 14回 | 72 計測制御系監視機能検査 | 一部プラント運転中 有効性評価 No.6,38,39の反映 |
| | 炉外核計測装置 1.線源領域計測装置 2.中間領域計測装置 3.出力領域計測装置 2台 2台 4台 | 特性試験 | G1,G2 | 13M~ 26M | ○ | 14回 | 105 核計装設備検査 | |
| | 炉内核計測装置 一式 | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 105 核計装設備検査 | |
| | 制御棒位置指示装置 48個 | 特性試験 | G2 | 13M | ○ | 14回 | 108 制御棒位置指示装置設定値検査 | |
| | IISシフトチェーン 50本 | 非破壊試験 | G3 | 78M | ○ | 9回 | 109 炉内計装用シフトチェーン体積検査 | |
| | ハミジツロジック回路 1.原子炉保護系ロジック関連 2.安全保護系ロジック関連 5回路 2回路 | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 110 安全保護系機能検査(ペーミンシフトロジック検査) | |
| | 総合インターロック 1.原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ 検査 2.タービントリップによる原子炉、発電機トリップ 検査 3.発電機トリップによる原子炉、タービントリップ 検査 一式 | 機能・性能試験 | G1~G3 | 1C | ○ | 14回 | 112 総合インターロック検査 | |
| | 計測制御系統施設 その他機器 一式 | 単体調整試験 他 | G1~G5 | 12M~ 169M | ○ | 14回 | | 一部プラント運転中 一部BDMあり 有効性評価 No.3,4の反映 |
| | 中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 44回路 | 機能・性能試験 | G2 | 1C | ○ | 14回 | 73 原子炉の停止制御回路健全性確認 検査 | |
| 計測制御系統施設[発電用原子炉の運転を管理するための制御装置] 放射性廃棄物の廃棄施設 施設[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備] | 放射性廃棄物の廃棄施設 施設[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備] 一式 | 開放点検 | G3,G5 | 216M | - | 2012年 | プラント運転中 一部BDMあり | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-------------------------------|---------------------|--|--------|-------------------|---------|---------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 放射線廃棄物の廃棄施設[気体,液体又は固体廃棄物処理設備] | ガス圧縮装置 | 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他 | G4 | IC | ○ | 14回 | 42 気体廃棄物処理系機能検査 | ()内は適用する設備診断技術 |
| | ガス圧縮装置電動機 | 分解点検 | G4 | 78M~156M 130M | - | 13回 | | (振動診断:IC, 潤滑油診断:2C) |
| | 水素再結合ガス圧縮装置 | 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他 | G4 | 104M~208M 130M | - | 12回 | 42 気体廃棄物処理系機能検査 | (振動診断:IC, 潤滑油診断:2C) |
| | 水素ガス圧縮装置電動機 | 分解点検 | G4 | 1C | ○ | 14回 | | (振動診断:IC) |
| | 水素再結合装置 | 機能・性能試験 | G4 | 1C | ○ | 11回 | 42 気体廃棄物処理系機能検査 | |
| | ガス減衰タンク圧力制御弁 | 機能・性能試験(駆動部含む) 機能・性能試験(駆動部含む) 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) | G3 | 52M~144M 144M | ○ | 14回 | 42 気体廃棄物処理系機能検査 84 1次弁弁検査 | |
| | ほう酸回収装置 | 機能・性能試験 | G4 | 2Y | ○ | 2012年 | | |
| | 廃液蒸発装置 | 機能・性能試験 | G4 | 2Y | ○ | 14回 | 64 液体廃棄物処理系機能検査 64 液体廃棄物処理系機能検査 | プラント運転中 プラント運転中 |
| | ガス圧縮装置3A気水分離器破壊板 | 分解点検 | G4 | 195M | - | 14回 | 88 1次系破壊板検査 | |
| | ガス圧縮装置3B気水分離器破壊板 | 分解点検 | G4 | 195M | - | 14回 | 88 1次系破壊板検査 | |
| | 水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破壊板 | 分解点検 | G4 | 195M | - | 14回 | 88 1次系破壊板検査 | |
| | 水素再結合装置破壊板 | 分解点検 | G4 | 195M | ○ | - | 88 1次系破壊板検査 | |
| | モニタリングポンプ3A | 機能・性能試験 分解点検 | G4 | B CBM | - | 1996年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせた実施 (振動診断:IC, 潤滑油診断:2C) |
| | モニタリングポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 分解点検 | G4 | B CBM | - | 1996年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせた実施 (振動診断:IC) |
| | モニタリングポンプ3B | 機能・性能試験 分解点検 | G4 | B CBM | - | 1996年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせた実施 (振動診断:IC, 潤滑油診断:2C) |
| | | | | | | - | | 分解未実施 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|-------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|-----------------|---|
| | モニタポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1996年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1996年 | | |
| | ほう酸回収装置給水ポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | ほう酸回収装置給水ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | ほう酸回収装置給水ポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) 分解未実施 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | ほう酸回収装置給水ポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1998年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1998年 | | |
| | 廃液蒸留水ポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1998年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1998年 | | |
| | 廃液蒸留水ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1998年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1998年 | | |
| | 廃液蒸留水ポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) 分解未実施 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 廃液蒸留水ポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2002年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 洗浄排水ポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | 洗浄排水ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の 重要度 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実 施計画 | 前回実施 時期(定検 回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕 |
|---------|--------------------|-----------|------------|--------------|-------------|----------------------|-----------------|---|
| | 洗浄排水ポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) 分解未実施 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | — | |
| | 洗浄排水ポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1996年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1996年 | — | |
| | 洗浄排水モニタポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1998年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1998年 | — | |
| | 洗浄排水モニタポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | — | |
| | 洗浄排水モニタポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) 分解未実施 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | — | |
| | 洗浄排水モニタポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2002年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | — | |
| | 強酸トレンポンプ3号(電動機含む) | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (\rightarrow アリングモータにより監視) 分解未実施 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | — | |
| | 格納容器冷却材トレンポンプ3A | 機能・性能試験 | G3 | 15C | — | 7回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | 195M | — | 7回 | — | |
| | 格納容器冷却材トレンポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 15C | — | 11回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | 195M | — | 11回 | — | |
| | 格納容器冷却材トレンポンプ3B | 機能・性能試験 | G3 | 15C | — | 3回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | 195M | — | 3回 | — | |
| | 格納容器冷却材トレンポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 15C | — | 14回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | 195M | — | 14回 | — | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|----------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|-----------------|--|
| | 格納容器サブポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | 6C | ○ | 9回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | ○ | 9回 | | |
| | 格納容器サブポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6C | ○ | 9回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | |
| | | 電動機取替 | | 78M | ○ | 9回 | | |
| | 格納容器サブポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | 6C | ○ | 9回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | |
| | | 分解点検 | | 78M | ○ | 9回 | | |
| | 格納容器サブポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6C | ○ | 9回 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | |
| | | 電動機取替 | | 78M | ○ | 9回 | | |
| | 補助建屋サブポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) 有効性評価 No.10の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | 補助建屋サブポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | 補助建屋サブポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) 有効性評価 No.10の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 補助建屋サブポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1999年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1999年 | | |
| | 廃液給水ポンプ3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | 廃液給水ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | 廃液給水ポンプ3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|---|-------------------|-------------|----------------|---------|--------------|--|--|
| 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] | 廃液給水ポンプ3B電動機 | 機能・性能試験 分解点検 | G4 | B | — | 1996年 | 96 液体廃棄物処理系設備検査 | 分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C) |
| | セメント固化装置 | 機能・性能試験 分解点検 他 | G4 G3,G4 | 2Y 52M~195M | ○ | 2018年 14回 | 115 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査 84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 85 1次系安全弁検査 87 1次系真空破壊弁検査 | プラント運転中 一部プラント運転中 有効性評価 No.31の反映 |
| 放射線管理施設 [原子炉格納容器本体 外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備 からの液体状の放射性 廃棄物の漏えいの検出 装置又は自動警報装 置] | 放射線管理施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器 一式 | 開放点検 他 | G3~G5 | 12M~444M | ○ | 2019年 | | 一部プラント運転中 一部BDMあり |
| | 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置 一式 | 機能・性能試験 他 | G4 | 5Y | — | 2019年 | 68 流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 72 計測制御系監視機能検査 | プラント運転中 |
| 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] | 液体廃棄物貯蔵設備および処理設備の漏えい防止に係わる警報装置 一式 | 機能・性能試験 | G4 | 52M~60M | — | 14回 | 118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査 | 一部プラント運転中 |
| | 格納容器高レンジエリアモニタ 1.エリアモニタ 2.プロセスマニタ | 特性試験 特性試験 | G2 G2~G4 | 13M 13M | ○ | 14回 14回 | 63-2 エリアモニタ機能検査 76 放射線監視装置機能検査 | |
| 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] | モニタリングステーション及びモニタリングポスト専用の無線伝送装置 | 機能・性能試験 | G4 | 2Y | ○ | 2019年 | 62 野外モニタ機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器 一式 | 単体調整試験 他 | G2,G3 | 13M~65M | ○ | 14回 | | |
| 放射線管理施設 [換気設備] | 中央制御室非常用循環系 | 機能・性能試験 | G3,G4 | 1C | ○ | 14回 | 40 中央制御室非常用循環系機能検査 | |
| | 中央制御室再循環ファン3A | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | — 156M | — | 7回 7回 | | |
| 放射線管理施設 [換気設備] | 中央制御室再循環ファン3A電動機 | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 6C 78M | — | 14回 14回 | | (振動診断:1M) |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する設備診断技術 〕 |
|---------|---------------------|------------------|--------|----------|---------|---------------|------------------------|---------------------------|
| | 中央制御室再循環ファン3B | 機能・性能試験 | G3 | - | - | 3回 | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室再循環ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 6C | - | 13回 | | (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室空調ファン3A | 機能・性能試験 | G3 | - | - | 7回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室空調ファン3A 電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 6C | - | 14回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室空調ファン3B | 機能・性能試験 | G3 | - | - | 9回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室空調ファン3B 電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 6C | - | 13回 | | (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室非常用給気ファン3A | 機能・性能試験 | G3 | 78M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室非常用給気ファン3A 電動機 | 機能・性能試験 | G3 | 390M | - | 1回 | | (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室非常用給気ファン3B | 機能・性能試験 | G3 | 156M | - | 11回 | | (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | | | | | |
| | 中央制御室非常用給気ファン3B 電動機 | 機能・性能試験(よう素除去効率) | G3 | 390M | - | 2回 | | (振動診断:1M) |
| | | 機能・性能試験(漏えい率) | | | | | | |
| | 中央制御室空調ユニット3A | 開放点検 | G3 | 78M | - | 10回 | | |
| | | 開放点検 | | | | | | |
| | 中央制御室空調ユニット3B | 機能・性能試験(よう素除去効率) | G3 | 1C | ○ | 14回 | 41 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査 | |
| | | 機能・性能試験(漏えい率) | | | | | | |
| | 中央制御室非常用給気ファン3A | 機能・性能試験 | - | - | - | 1回 | | |
| | | 開放点検 | | | | | | |
| | 中央制御室非常用給気ファン3B | 機能・性能試験 | 390M | - | - | 1回 | | |
| | | 開放点検 | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|-----------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|---------------|---|
| | 格納容器給気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 1995年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析) |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器給気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 2016年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器給気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 1999年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析) |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器給気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 2011年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器排気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 1996年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器排気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 2016年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器排気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 2000年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器排気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | - | 2012年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | CBM | | | | |
| | 格納容器再循環ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 156M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検 | | 52M | | | | |
| | 格納容器再循環ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 156M | - | 6回 | | |
| | | 分解点検 | | 52M | | | | |
| | 格納容器再循環ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 156M | - | 14回 | | |
| | | 分解点検 | | 52M | | | | |
| | 格納容器再循環ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 156M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検 | | 52M | | | | |
| | 格納容器再循環ファン3C | 機能・性能試験 | G4 | 156M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検 | | 52M | | | | |
| | 格納容器再循環ファン3C電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 156M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検 | | 52M | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|---------------|--|
| | 格納容器再循環ファン3D | 分解点検 | G4 | 156M | — | 6回 | | |
| | 格納容器再循環ファン3D電動機 | 分解点検 | G4 | 52M | — | 14回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:1C) |
| | 格納容器空気浄化ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1995年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1995年 | | |
| | 格納容器空気浄化ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1996年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1996年 | | |
| | 格納容器空気浄化ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1999年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1999年 | | |
| | 格納容器空気浄化ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 1999年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1999年 | | |
| | 補助建屋給気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 22Y | — | 2001年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中 |
| | | 分解点検 | | 22Y | — | 2001年 | | プラント運転中 |
| | 補助建屋給気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 7Y | — | 2019年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 7Y | — | 2019年 | | プラント運転中 |
| | 補助建屋給気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 22Y | — | 2004年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中 |
| | | 分解点検 | | 22Y | — | 2004年 | | プラント運転中 |
| | 補助建屋給気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 7Y | — | 2018年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 7Y | — | 2018年 | | プラント運転中 |
| | 補助建屋排気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2013年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価 No.12の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2013年 | | プラント運転中 |
| | 補助建屋排気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | — | 2019年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.16の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2019年 | | プラント運転中 有効性評価 No.16の反映 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|----------------|---|
| | 補助建屋排気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M) 有効性評価 No.12の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2014年 | | |
| | 補助建屋排気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | ○ | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.16の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | ○ | 2014年 | | |
| | 補助建屋排気ファン3C | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2016年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M) 有効性評価 No.12の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2016年 | | |
| | 補助建屋排気ファン3C電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | — | 2017年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.16の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2017年 | | |
| | 燃料取扱建屋空気浄化系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 有効性評価 No.16の反映 |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2011年 | | |
| | 放射線管理室給気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2011年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2011年 | | |
| | 放射線管理室給気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2019年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2019年 | | |
| | 放射線管理室給気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2014年 | | |
| | 放射線管理室給気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2007年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2007年 | | |
| | 放射線管理室排気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2011年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2011年 | | |
| | 放射線管理室排気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2019年 | 77 1次系換気空調設備検査 | アラート運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2019年 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|---------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|----------------|------------------------------------|
| | 放射線管理室排気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2018年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2018年 | | ファン運転中 |
| | 放射線管理室排気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2018年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | 2018年 | | ファン運転中 |
| | ヘイ排気ファン3号 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (セータの振動により解析) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | 分解未実施 |
| | ヘイ排気ファン3号電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2004年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2004年 | | |
| | セメント固化装置オガスファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 5Y | — | 2018年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 有効性評価No.32の反映 |
| | | 分解点検 | | 5Y | — | 2018年 | | 有効性評価No.32の反映 |
| | セメント固化装置オガスファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2001年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2001年 | | |
| | セメント固化装置オガスファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 5Y | — | 2018年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 有効性評価No.32の反映 |
| | | 分解点検 | | 5Y | — | 2018年 | | 有効性評価No.32の反映 |
| | セメント固化装置オガスファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2002年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 廃棄物処理室給気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 |
| | | 分解点検 | | 7Y | — | 2015年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 (振動診断:1M) |
| | 廃棄物処理室給気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 7Y | — | 2015年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 |
| | | 分解点検 | | 7Y | — | 2015年 | | |
| | 廃棄物処理室給気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 |
| | | 分解点検 | | 7Y | — | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 (振動診断:1M) |
| | 廃棄物処理室給気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 7Y | — | 2014年 | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン運転中 |
| | | 分解点検 | | 7Y | — | 2014年 | | ファン運転中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|---------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|----------------|--|
| | 廃棄物処理室排気ファン3A | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2013年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 1998年 | | |
| | 廃棄物処理室排気ファン3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2015年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2015年 | | |
| | 廃棄物処理室排気ファン3B | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2013年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2004年 | | |
| | 廃棄物処理室排気ファン3B電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2016年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2016年 | | |
| | 廃棄物処理室排気ファン3C | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2013年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2004年 | | |
| | 廃棄物処理室排気ファン3C電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2007年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2007年 | | |
| | 換気空調設備の他のファン一式 | 機能・性能試験 他 | G3,G4 | 12M~260M | ○ | 14回 | | 一部フロント運転中 有効性評価 No.14,15,17,18,26,27,28の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 格納容器排気ユニット3A | 開放点検 | G4 | 7Y | — | 2014年 | | フロント運転中 |
| | | 開放点検 | | 7Y | — | 2014年 | | |
| | 格納容器排気ユニット3A | 機能・性能試験 | G4 | 18Y | — | 2015年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | | 開放点検 | | 18Y | — | 2015年 | | |
| | 格納容器排気ユニット3B | 機能・性能試験 | G4 | 18Y | — | 2016年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | | 開放点検 | | 18Y | — | 2016年 | | |
| | 補助建屋排気ユニット3号(Aバンク側) | 開放点検 | G4 | 7Y | — | 2015年 | | フロント運転中 |
| | | 開放点検 | | 7Y | — | 2015年 | | |
| | 補助建屋排気ユニット3号(Bバンク側) | 開放点検 | G4 | 7Y | — | 2015年 | | フロント運転中 |
| | | 開放点検 | | 7Y | — | 2015年 | | |
| | 補助建屋排気ユニット3A | 機能・性能試験 | G4 | 18Y | — | 2013年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | | 開放点検 | | 18Y | — | 2013年 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|-------------------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|-------------------|---|
| | 補助建屋排気フィルタユニット3B | 機能・性能試験 | G4 | 18Y | — | 2013年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | 放射線管理室給気ユニット3号 | 開放点検 | G4 | 7Y | — | 2014年 | | フロント運転中 |
| | 放射線管理室排気フィルタユニット3A | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2011年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | 放射線管理室排気フィルタユニット3B | 機能・性能試験 | G3 | 15Y | — | 2011年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | ペーパ排気フィルタユニット3号 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | — | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施 |
| | 廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Aハンク側) | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2012年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | 廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Bハンク側) | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2012年 | 77 1次系換気空調設備検査 | フロント運転中 |
| | 格納容器空気浄化フィルタユニット3号 | 機能・性能試験 | G3 | B | — | — | 77 1次系換気空調設備検査 | ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施 |
| | 格納容器減圧排気フィルタユニット3号 | 機能・性能試験 | G4 | 15C | — | 3回 | 77 1次系換気空調設備検査 | |
| | | 開放点検 | | 195M | — | 3回 | | |
| | セメント固化装置オアガスフィルタユニット3A | 機能・性能試験 | G4 | 5Y | — | 2018年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 有効性評価No.33の反映 |
| | セメント固化装置オアガスフィルタユニット3B | 機能・性能試験 | G4 | 5Y | — | 2018年 | 77 1次系換気空調設備検査 | 有効性評価No.33の反映 |
| | 中央制御室 | 漏えい試験 | 高 | 6YP | — | 13回 | 139 中央制御室の居住性確認検査 | |
| | | 外観点検(貫通部) | | IC | ○ | 14回 | | |
| | タンク(タンクハブ、防火タンク、手動タンク含む)一式 | 機能・性能試験 | G3,G4 | 13M~264M | ○ | 14回 | 77 1次系換気空調設備検査 | 一部フロント運転中 有効性評価 No.20,21,22,23,24,29の反映 |
| | 放射線管理施設 [換気設備] その他の弁一式 | 分解点検 他 | G3,G4 | 26M~195M | ○ | 14回 | 85 1次系安全弁検査 | 一部フロント運転中 |
| | 放射線管理施設 [換気設備] その他AM弁一式 | 分解点検 | G3 | 195M | — | 3回 | | |
| | 放射線管理施設 [換気設備] その他機器一式 | 分解点検 他 | G2~G4 | 12M~300M | ○ | 14回 | | 一部フロント運転中 有効性評価 No.25の反映 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|----------------------|---------------------------------------|------------------------|--------|---------------------|---------|---------------|--------------------|-------------------------|--|
| 原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕 | 原子炉格納容器 | 漏えい率試験 | G3 | 3C | — | 13回 | 43 原子炉格納容器全体漏えい率検査 | | |
| | 通常用エアロック | 漏えい率試験 開放点検 部分点検 | G3 | 2C/3C 130M 1C | ○ | 14回 | 44 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | | |
| | 非常用エアロック | 漏えい率試験 | G3 | 2C/3C | ○ | 14回 | 44 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | | |
| | 格納容器機器出入口 | 開放点検 部分点検 | G3 | 130M 1C | — | 6回 | | | |
| | 配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)一式 | 漏えい率試験 | G3 | 2C/3C | ○ | 14回 | 44 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | | |
| | 電気配線用貫通部一式 | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | | | |
| | 配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)及び電気配線用貫通部一式 | 漏えい率試験 | G3 | 2C/3C | ○ | 14回 | 44 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | | |
| | 原子炉格納容器隔離弁一式 | 漏えい率試験 | G3 | 2C/3C | ○ | 14回 | 44 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | | |
| | 格納容器隔離(T・V信号及びPT+LV信号)により隔離される弁 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 45 原子炉格納容器隔離弁機能検査 | | |
| | 格納容器隔離(P・V信号)により隔離される弁 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 45 原子炉格納容器隔離弁機能検査 | | |
| | 格納容器冷却材ポンプ出口ライン第1層隔離弁3号 | 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) | G3 | 130M 52M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | SG-3Aサブリング隔離弁 | 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) | G3 | 78M 78M | ○ | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | SG-3Bサブリング隔離弁 | 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) | G3 | 78M 78M | ○ | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | SG-3Cサブリング隔離弁 | 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) | G3 | 78M 78M | ○ | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | | | | | ○ | 13回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | | |
|----------------------|-------------------------|------------|--------|-----------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------------|--|--|
| | SG-3A7ロータリオン隔離弁 | 3V-BD-030A | G3 | 78M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | |
| | | | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | SG-3B7ロータリオン隔離弁 | 3V-BD-030B | G3 | 78M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | |
| | | | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | SG-3C7ロータリオン隔離弁 | 3V-BD-030C | G3 | 78M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | |
| | | | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | C/V再循環ユニット3A,3B冷却水入口隔離弁 | 3V-CC-189A | G3 | 156M | — | 6回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | |
| | | | | | 分解点検(駆動部) | | | | | |
| | | | | 130M | — | 13回 | | | | |
| | | | | | 分解点検(電動機) | | | | | |
| | C/V再循環ユニット3C,3D冷却水入口隔離弁 | 3V-CC-189B | G3 | 156M | — | 7回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | |
| | | | | | 分解点検(弁本体) | | | | | |
| 130M | | | | — | 7回 | | | | | |
| | | | | 分解点検(電動機) | | | | | | |
| C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁 | 3V-CC-198A | G3 | 195M | — | 5回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | | |
| | | | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | | 156M | — | 13回 | | | | | |
| | | | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁 | 3V-CC-198B | G3 | 130M | — | 8回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | | |
| | | | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| | | | 195M | — | 4回 | | | | | |
| | | | | 分解点検(電動機) | | | | | | |
| C/V再循環ユニット3C冷却水出口隔離弁 | 3V-CC-198C | G3 | 156M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | | |
| | | | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | | 130M | — | 12回 | | | | | |
| | | | | 分解点検(駆動部) | | | | | | |
| C/V再循環ユニット3C冷却水出口隔離弁 | 3V-CC-198C | G3 | 195M | — | 4回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | | |
| | | | | 分解点検(電動機) | | | | | | |
| | | | 156M | — | 6回 | | | | | |
| | | | | 分解点検(弁本体) | | | | | | |
| | | | G3 | 130M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | | |
| | | | | | 分解点検(駆動部) | | | | | |
| | | | | 195M | — | 5回 | | | | |
| | | | | | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------|--------------------------|-------------------------|--------|----------|---------|-------------------|-------------------|-------------------------|
| | C/V再循環ユニット3D冷却水出口隔離弁 | 3V-CC-198D 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 6回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 5回 | | |
| | CRDMおよび余剰抽出クレー冷却水入口隔離弁3号 | 3V-CC-342 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 9回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 9回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 5回 | | |
| | CRDMおよび余剰抽出クレー冷却水出口隔離弁3号 | 3V-CC-349 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 6回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 5回 | | |
| | RCP冷却水入口第2隔離弁3号 | 3V-CC-401 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 8回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 8回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 5回 | | |
| RCP冷却水入口第1隔離弁3号 | 3V-CC-403 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 10回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 10回 | | | |
| | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 5回 | | | |
| RCP冷却水出口第1隔離弁3号 | 3V-CC-427 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 7回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 7回 | | | |
| | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 3回 | | | |
| RCP冷却水出口第2隔離弁3号 | 3V-CC-429 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 7回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 13回 | | | |
| | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 5回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------|------------------------|-------------------------|--------|-------------------------|---------|-------------------|-------------------|-------------------------|
| | DRPI冷却ユニット3号入口隔離弁 | 3V-CH-404 分解点検(弁本体) | G3 | 104M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | |
| | | グランドハブキク取替 | | 52M | — | 13回 | | |
| | DRPI冷却ユニット3号出口隔離弁 | 3V-CH-410 分解点検(弁本体) | G3 | 52M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | |
| | | 抽出オリフイス隔離弁3A | | 3V-CS-004A 分解点検(弁本体) | G3 | 52M | | |
| | 抽出オリフイス隔離弁3B | 3V-CS-004B 分解点検(弁本体) | 52M | — | | 14回 | | |
| | 抽出オリフイス隔離弁3C | 3V-CS-004C 分解点検(弁本体) | 78M | — | | 14回 | | |
| | 抽出オリフイス隔離弁3号 | 3V-CS-007 分解点検(弁本体) | G3 | 104M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | | 52M | — | 13回 | | |
| | | | | 52M | — | 13回 | | |
| | 封水戻りライン第1隔離弁3号 | 3V-CS-213 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 10回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 130M | | | | — | 10回 | | | |
| 195M | | | | — | 8回 | | | |
| 封水戻りライン第2隔離弁3号 | 3V-CS-214 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | — | 10回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | | 130M | — | 10回 | | | |
| | | | 195M | — | 4回 | | | |
| 格納容器減圧装置第1隔離弁3号 | 3V-DP-001 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | | 52M | ○ | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|------------------------|----------------------|--------|----------|---------|---------------|-------------------|-------------------------|
| | 格納容器減圧装置第2隔離弁3号 | 3V-DP-002 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | - | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | | 13回 | | |
| | 消火系格納容器隔離弁3号 | 3V-FS-503 分解点検(弁本体) | G3 | 104M | ○ | 12回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | | 13回 | | |
| | | グラントハッキン取替 | | 52M | | 13回 | | |
| | | | | | | | | |
| | 制御用空気供給ヘッダ3A格納容器隔離弁 | 3V-IA-508A 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | | 13回 | | |
| | 制御用空気供給ヘッダ3B格納容器隔離弁 | 3V-IA-508B 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | | 13回 | | |
| | 炉内核計装装置ガスヘッダライン第2隔離弁3号 | 3V-I-G-008 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | - | 11回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | | 14回 | | |
| | 炉内核計装装置ガスヘッダライン第1隔離弁3号 | 3V-I-G-009 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | - | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | | 14回 | | |
| | 加圧器透しシタンガス分析ライン第1隔離弁3号 | 3V-RC-077 分解点検(弁本体) | G3 | 26M | - | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | | 13回 | | |
| | 加圧器透しシタンガス分析ライン第2隔離弁3号 | 3V-RC-078 分解点検(弁本体) | G3 | 52M | - | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | | 13回 | | |
| | 加圧器透しシタンガス分析ライン第3号 | 3V-RC-084 分解点検(弁本体) | G3 | 104M | ○ | 11回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | | 13回 | | |
| | | グラントハッキン取替 | | 52M | - | 13回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|-------------------|---------------------|------------|------------|----------|---------|---------------|-------------------|-------------------------|--|
| | 加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号 | 3V-RC-095 | G3 | 104M | — | 12回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 78M | — | 13回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | ○ | 13回 | | | |
| | 格納容器空気モニタリング第1隔離弁3号 | 3V-RM-001 | クランドハッペン取替 | G3 | 156M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 10回 | | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 195M | — | 9回 | | |
| | 格納容器空気モニタリング第2隔離弁3号 | 3V-RM-002 | 分解点検(電動機) | G3 | 52M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(弁本体) | | 104M | — | 14回 | | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 52M | ○ | 13回 | | |
| | 格納容器空気モニタリング戻り隔離弁3号 | 3V-RM-018 | 分解点検(弁本体) | G3 | 104M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 104M | — | 14回 | | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 104M | — | 14回 | | |
| 安全注入テストライン第1戻り弁3号 | 3V-SI-144 | クランドハッペン取替 | G3 | 52M | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 104M | — | 14回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | — | 14回 | | | |
| 蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号 | 3V-SI-145 | クランドハッペン取替 | G3 | 52M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検 | | 104M | — | 12回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | — | 14回 | | | |
| 安全注入テストライン第2戻り弁3号 | 3V-SI-147 | クランドハッペン取替 | G3 | 52M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 104M | — | 12回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | — | 14回 | | | |
| 蓄圧タンク窒素隔離弁3号 | 3V-SI-165 | クランドハッペン取替 | G3 | 78M | ○ | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 78M | ○ | 13回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 14回 | | | |
| 加圧器気相部サブライン隔離弁3号 | 3V-SS-503 | クランドハッペン取替 | G3 | 52M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 78M | — | 13回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 14回 | | | |
| 加圧器液相部サブライン隔離弁3号 | 3V-SS-523 | クランドハッペン取替 | G3 | 26M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(弁本体) | | 78M | — | 13回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|------------------------|-------------------------|--------|----------|---------|---------------|-------------------|-------------------------|
| | ループ3A高温側および加圧器サブリング隔離弁 | 3V-SS-524 分解点検(弁本体) | G3 | 26M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | |
| | ループ3A高温側サブリング隔離弁 | 3V-SS-543A 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | — | 9回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 14回 | | |
| | | 3V-SS-543B 分解点検(弁本体) | | 130M | — | 14回 | | |
| | ループ3B高温側サブリング第1隔離弁 | 分解点検(駆動部) | G3 | 130M | ○ | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | — | 8回 | | |
| | ループ3B高温側サブリング第2隔離弁 | 3V-SS-544 分解点検(弁本体) | G3 | 26M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | |
| | 蓄圧タンク3Aサブリング隔離弁 | 3V-SS-563A 分解点検(弁本体) | G3 | 104M | ○ | 12回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | |
| | 蓄圧タンク3Bサブリング隔離弁 | 3V-SS-563B 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 14回 | | |
| | 蓄圧タンク3Cサブリング隔離弁 | 3V-SS-563C 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | — | 13回 | | |
| | 蓄圧タンクサブリング隔離弁3号 | 3V-SS-564 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 104M | — | 14回 | | |
| | 格納容器真空逃がし装置3A隔離弁 | 3V-VR-001A 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 10回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | ○ | 13回 | | |
| | 格納容器真空逃がし装置3B隔離弁 | 3V-VR-001B 分解点検(弁本体) | G3 | 130M | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 52M | ○ | 13回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|----------------------------|----------------------------|------------|-----------|----------|---------|-------------------|----------------------|-------------------------|
| | 格納容器真空逃がし弁3A | 3V-VR-003A | G3 | 機能・性能試験 | ○ | 14回 | 47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査 | |
| | | 分解点検(弁本体) | | — | 10回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 14回 | | | |
| | 格納容器真空逃がし弁3B | 3V-VR-003B | 機能・性能試験 | G3 | ○ | 14回 | 47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査 | |
| | | | 分解点検(弁本体) | | — | 10回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | — | 14回 | | |
| | 格納容器冷却材ポンプ出口ライン第2隔離弁3号 | 3V-WL-032 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | — | 13回 | | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | ○ | 13回 | | |
| | 格納容器冷却材レントゲンガス分析ライン第1隔離弁3号 | 3V-WL-078 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 14回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | — | 14回 | | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | ○ | 13回 | | |
| 格納容器冷却材レントゲンガス分析ライン第2隔離弁3号 | 3V-WL-079 | 分解点検(弁本体) | G3 | ○ | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 12回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | ○ | 12回 | | | |
| 格納容器冷却材レントゲンベント第1隔離弁3号 | 3V-WL-084 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 14回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 14回 | | | |
| 格納容器冷却材レントゲンベント第2隔離弁3号 | 3V-WL-085 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | ○ | 11回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 11回 | | | |
| 格納容器冷却材レントゲン窒素隔離弁3号 | 3V-WL-090 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | ○ | 11回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 11回 | | | |
| 格納容器サブポンプ出口第1隔離弁3号 | 3V-WL-124 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 13回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 13回 | | | |
| 格納容器サブポンプ出口第2隔離弁3号 | 3V-WL-125 | 分解点検(弁本体) | G3 | — | 13回 | 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 13回 | | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | — | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------|--------|----------|---------|---------------|--|--|
| 原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁一式 | 原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁一式 | 分解点検 他 | G3 | 13M~208M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 | |
| | 原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の機器一式 | 開放点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | [対象設備] ・アニューアスニール |
| 原子炉格納施設[圧力 低減設備その他の安全 設備] | 原子炉格納施設スプレイ系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査 | |
| | 格納容器スプレイ冷却器3A | 機能・性能試験(状態監視含む) | G3 | 6M | ○ | 14回 | 137 運転中安全系ポンプ機能検査 | プラント運転中 [対象設備] ・格納容器スプレイポンプ3A,3B |
| | 格納容器スプレイ冷却器3A | 開放点検 | G3 | 195M | - | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | 格納容器スプレイ冷却器3B | 非破壊試験 | | 390M | - | 14回 | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | 格納容器スプレイ冷却器3B | 開放点検 | G3 | 195M | ○ | - | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | 格納容器スプレイ冷却器3B | 非破壊試験 | | 390M | ○ | - | 91 1次系熱交換器検査 | |
| | 格納容器スプレイポンプ3A | 分解点検 | G3 | 195M | - | 14回 | 49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 格納容器スプレイポンプ3A電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | ○ | 9回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) 有効性評価 No.8の反映 |
| | 格納容器スプレイポンプ3B | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | 格納容器スプレイポンプ3B | 分解点検 | G3 | 195M | - | 13回 | 49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | 格納容器スプレイポンプ3B電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | - | 13回 | | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) 有効性評価 No.8の反映 |
| | よう素除去薬品タンク3号 | 潤滑油入替 | | 26M | ○ | 13回 | | |
| | 格納容器スプレイポンプ3A入口弁 | 開放点検 | G3 | 390M | - | - | 89 1次系容器検査 | 30回にて初回点検を計画 |
| | 格納容器スプレイポンプ3A入口弁 | 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 13回 | 50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 6回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------|----------|---------|--|--|-------------------------|
| | 格納容器スプレッドポンプ3B入口弁 | 3V-CP-001B 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 11回 | 50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 6回 | | |
| | 格納容器スプレッドポンプ3A出口弁 | 3V-CP-021A 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 13回 | 50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | - | 12回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 4回 | | |
| | 格納容器スプレッドポンプ3B出口弁 | 3V-CP-021B 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 13回 | 50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 4回 | | |
| | よう素除去薬品タンク出口第1弁3A | 3V-CP-054A 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 8回 | 50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 130M | - | 13回 | | |
| | | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 7回 | | |
| よう素除去薬品タンク出口第1弁3B | 3V-CP-054B 分解点検(弁本体) | G3 | 156M | - | 7回 | 50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 | | |
| | 分解点検(駆動部) | | 130M | - | 13回 | | | |
| | 分解点検(電動機) | | 195M | - | 6回 | | | |
| 原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁 一式 | 分解点検 他 | G3,G4 | 13M~390M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破棄弁検査 | | |
| | 分解点検 | G3 | 130M | - | 13回 | 86 1次系逆止弁検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--------------|-------------------|------------------|------------------|----------|---------|---------------|-----------------------|-------------------------|--------------|
| | 格納容器再循環ユニット3A | 開放点検 | G3 | 78M | ○ | 9回 | 77 1次系換気空調設備検査 | | |
| | 格納容器再循環ユニット3B | 開放点検 | G3 | 78M | ○ | 9回 | 77 1次系換気空調設備検査 | | |
| | 7ニュアス循環排気系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 38 7ニュアス循環排気系機能検査 | | |
| | 7ニュアス排気ファン3A | 分解点検 | G3 | 260M | — | 5回 | | (振動診断:1M) | |
| | 7ニュアス排気ファン3A電動機 | 分解点検 | G3 | 156M | — | 11回 | | (振動診断:1M) | |
| | 7ニュアス排気ファン3B | 分解点検 | G3 | 260M | — | 7回 | | (振動診断:1M) | |
| | 7ニュアス排気ファン3B電動機 | 分解点検 | G3 | 156M | — | 13回 | | (振動診断:1M) | |
| | 7ニュアス排気フィルタユニット3A | 機能・性能試験(よう素除去効率) | 機能・性能試験(よう素除去効率) | G3 | 1C | ○ | 14回 | 39 7ニュアス循環排気系フィルタ性能検査 | |
| | | | 機能・性能試験(漏えい率) | | 1C | ○ | 14回 | 39 7ニュアス循環排気系フィルタ性能検査 | |
| | | | 機能・性能試験 | | 30C | — | 3回 | 77 1次系換気空調設備検査 | |
| | | | 機能・性能試験(よう素除去効率) | G3 | 1C | ○ | 14回 | 39 7ニュアス循環排気系フィルタ性能検査 | |
| | 7ニュアス排気フィルタユニット3B | 機能・性能試験(漏えい率) | 機能・性能試験(漏えい率) | | 1C | ○ | 14回 | 39 7ニュアス循環排気系フィルタ性能検査 | |
| | | | 機能・性能試験 | | 30C | — | 3回 | 77 1次系換気空調設備検査 | |
| | | | 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | |
| | 7ニュアス排気弁3B | 機能・性能試験(弁本体) | 機能・性能試験(弁本体) | G3 | 78M | ○ | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | |
| | | | 機能・性能試験(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | |
| | | | 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | — | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | |
| | | | 分解点検(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | |
| | 7ニュアス全量排気弁3A | 機能・性能試験(弁本体) | 機能・性能試験(弁本体) | G3 | 78M | — | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | 16回にて初回点検を計画 |
| 機能・性能試験(駆動部) | | | | 78M | — | 13回 | | | |
| 7ニュアス全量排気弁3B | 機能・性能試験(弁本体) | 機能・性能試験(弁本体) | G3 | 78M | — | 14回 | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | | |
| | | 機能・性能試験(駆動部) | | 78M | — | 14回 | | | |
| 7ニュアス少量排気弁3A | 機能・性能試験(弁本体) | 機能・性能試験(弁本体) | G3 | 78M | ○ | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | | |
| | | 機能・性能試験(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|---------------------------|------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|--|---------------------------------------|--|
| 原子炉施設 〔その他設備〕 | 7-ニューラス少量排気弁3B | 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | | |
| | 7-ニューラス戻り弁3A | 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | | |
| | 7-ニューラス戻り弁3B | 分解点検(弁本体) | G3 | 78M | ○ | — | 156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | | |
| | | 分解点検(駆動部) | | 78M | ○ | 13回 | | | |
| | 安全補機室空気浄化系 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | ○ | 14回 | 77 1次系換気空調設備検査 | |
| | | 分解点検 | | 260M | — | — | 6回 | (振動診断:6M) | |
| | 安全補機室排気ファン3A | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | 13回 | (振動診断:6M) | |
| | | 分解点検 | | 260M | — | — | 7回 | (振動診断:6M) | |
| | 安全補機室排気ファン3B | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | 12回 | (振動診断:6M) | |
| | | 機能・性能試験 | | 20C | — | — | 3回 | 77 1次系換気空調設備検査 | |
| | 安全補機室排気ファンユニット3号 | 開放点検 | | 260M | — | — | 3回 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 13M~144M | ○ | ○ | 14回 | 77 1次系換気空調設備検査 | |
| タンパ(クワンホーレター含む) 一式 | 開放点検 他 | G3 | 390M | — | — | — | 89 1次系容器検査 | 〔対象設備〕 ・PI調整利貯蔵タンク 30回にて初回点検を計画 | |
| | 非破壊試験 | | 10YP | ○ | ○ | 14回 | 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査 | | |
| (重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む) | 漏えい試験 | | 1C | ○ | ○ | 14回 | 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査 | クワス1機器供用期間中検査10年計画〔別紙-1〕 | |
| | 非破壊試験 | | 10YP | ○ | ○ | 14回 | 5クワス2機器供用期間中検査 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査 | | |
| (重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む) | 漏えい試験 | | 10YP | ○ | ○ | 14回 | 104 クワス3機器供用期間中検査 | クワス2機器供用期間中検査10年計画〔別紙-2〕 | |
| | 非破壊試験 | | 10YP | ○ | ○ | 14回 | 104 クワス3機器供用期間中検査 | | |
| クワス3機器(供用期間中検査対象) 一式 | 漏えい試験 | | 10YP | ○ | ○ | 14回 | クワス3機器供用期間中検査10年計画〔別紙-3〕 | 一部アラート運転中 | |
| | 非破壊試験 | | 10YP | ○ | ○ | 14回 | クワス3機器供用期間中検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|--|-----------|---------|----------|---------|--------------|--|---|
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源)[非常用発電装置] | クワシ機器Ni基合金使用部位一式(重大事故等クワシ機器供用期間中検査対象を含む) | 非破壊試験 | G3 | 5YP~10YP | ○ | 13回 | 98 供用期間中特別検査のうちクワシ機器Ni基合金使用部位特別検査 144 重大事故等クワシ機器供用期間中検査 | クワシ機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画[別紙-4] |
| | クワシ管(原子炉格納容器内)一式(重大事故等クワシ機器供用期間中検査対象を含む) | 非破壊試験 | G3 | 10YP | ○ | 14回 | 98 供用期間中特別検査のうちクワシ管(原子炉格納容器内)特別検査 144 重大事故等クワシ機器供用期間中検査 | クワシ管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画[別紙-5] |
| | クワシ容器(供用期間中検査対象)機器搬入口の圧力保持用ボルト締付付取(ボルト、ナット、ワッシャ、フランジ面)一式(重大事故等クワシ機器供用期間中検査対象を含む) | 非破壊試験 | G3 | 10YP | - | 13回 | 79 原子炉格納容器供用期間中検査 | 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画[別紙-6] |
| | レスレイント 一式 | 外観点検 | G3 | 10YP | ○ | 12回 | 113 レスレイント検査 | |
| | クワシ機器及びクワシ3機器(供用期間中検査対象外)、クワシ4管の耐圧部並びに排気筒一式 | 外観点検 | G3 | 10YP | ○ | 14回 | 103 構造健全性検査 | 格納容器排気筒、補助建屋排気筒は5定検で100%検査 一部アラート運転中 |
| | 原子炉施設[その他設備] その他の弁 一式 | 分解点検 他 | G3,G4 | 52M~260M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 | |
| | 原子炉施設[その他設備] その他AM弁 一式 | 分解点検 | G3 | 156M | - | 13回 | | |
| | 原子炉施設[その他設備] その他機器 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 12M~13M | ○ | 2019年 | | アラート運転中 |
| | 耐震クワシ,Bに属する支持構造物 一式 | 外観点検 | G1~G3 | 10YP | ○ | 14回 | 102 耐震健全性検査 | クワシ1,2,3機器供用期間中検査対象機器を除く |
| | 原子炉格納容器用非常用電源 | 2台 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 53-1 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機の作動検査) 53-2 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機定格容量検査) |
| 安全注入信号および格納容器スプレイ信号発信時に非常用ディーゼル発電機に電源を求めめる機器 | 48台 | 機能・性能試験 | G2~G4 | 1C | ○ | 14回 | 53-1 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機の作動検査) | (振動診断:6M) 有効性評価No.35の反映 |
| 非常用ディーゼル発電機3A | | 分解点検 | G3 | 52M | - | 14回 | | (振動診断:6M) 有効性評価No.35の反映 |
| 非常用ディーゼル発電機3B | | 分解点検 | G3 | 52M | ○ | 13回 | | (潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1C, 振動診断:6M, ディーゼル機関診断:6M) 有効性評価No.35,36の反映 |
| 非常用ディーゼル機関3A | | 外観点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | |
| | | 非常調速装置試験 | | 13M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | |
| | | 計測装置試験 | | 13M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---|--|-----------|----------|----------|---------|--------------------|-----------------------------------|---|
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他の電源装置] | ディーゼル機関A号機シリンダ(ピストン、連接棒、シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃料噴射弁) | 分解点検 | G3 | 13M~104M | ○ | 14回 | 54 非常用ディーゼル発電機分解検査 | |
| | 非常用ディーゼル機関3B | 外観点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | (潤滑油診断:1C、赤外線診断:1C、振動診断:6M、ディーゼル機有効性評価No.35,36の反映) |
| | | 非常調速装置試験 | | 13M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | |
| | | 計測装置試験 | | 13M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | |
| | ディーゼル機関B号機シリンダ(ピストン、連接棒、シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃料噴射弁) | 分解点検 | G3 | 13M~104M | ○ | 14回 | 54 非常用ディーゼル発電機分解検査 | |
| | 重油タンクA | 開放点検 | G3 | 156M | - | 14回 | 124 2次系容器検査 | |
| | 重油タンクB | 開放点検 | G3 | 156M | - | 14回 | 124 2次系容器検査 | |
| | 重油タンクC | 開放点検 | G3 | 156M | - | 14回 | 124 2次系容器検査 | |
| | ディーゼル発電機附属設備 一式 | 分解点検 他 | G3,G4 | 13M~260M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | (潤滑油診断:1C[空気圧縮機、調速機]) (振動診断:1M[潤滑油アラミングポンプ、温水循環ポンプ、D/G潤滑油アラミングポンプ*電動機]) (振動診断:1M[燃料弁冷却水ポンプ、D/G燃料弁冷却水ポンプ*電動機]) (振動診断:1M[D/G燃料油移送ポンプ*電動機]) |
| | その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他の弁 一式 | 分解点検 他 | G3,G4 | 26M~390M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 85 1次系安全弁検査 | |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他の機器 一式 | 分解点検 他 | G2~G4 | 13M~104M | ○ | 14回 | 133 非常用予備発電機付属設備検査 | 有効性評価 No.2,5,7,37の反映 | |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他の電源装置] | 蓄電池(非常用) | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査 | |
| | | 蓄電池点検 | | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 計装用電源装置 | 機能・性能試験 他 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 111 1次系安全弁検査 | |
| | その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他の電源装置] その他の機器 一式 | 電気試験 他 | G3 | 13M~78M | ○ | 14回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|--|-----------|----------|-------------|---------|---------------|--|---|
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] | しゃ断器 一式 | 遮断器点検 他 | G3 | 39M～96M | ○ | 14回 | | |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] | その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] その他機器 一式 | 特性試験 他 | G3,G4 | 13M～104M | ○ | 14回 | | |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [発電機] | 発電機設備 一式 | 分解点検 他 | G1,G3,G4 | 13M～130M | ○ | 14回 | | |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [変圧器] | 変圧器設備 一式 | 開放点検 他 | G3 | 13M～195M | ○ | 14回 | | 一部プラント運転中 有効性評価 No.1の反映 |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [しゃ断器] | しゃ断器 一式 | 遮断器点検 他 | G3 | 26M～108M | ○ | 14回 | | 一部プラント運転中 |
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] | その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) その他機器 一式 | 内部・外部点検 他 | G3,G4 | 12M～78M | ○ | 14回 | | 一部プラント運転中 |
| その他発電用原子炉の附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラー] | 補助ボイラー設備 一式 | 開放点検 他 | G4 | 144M～216M※1 | ○ | 2019年 | 130 補助ボイラー開放検査※1 131 補助ボイラー性能検査※2 132 補助ボイラー設備検査※2 | プラント運転中 (振動診断:6M[補助ボイラー給水ポンプ]) ※1 前回の点検後の運転時間が4000時間,又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 補助ボイラー性能検査及び設備検査は,補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 有効性評価 No.13の反映 |
| その他発電用原子炉の附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃料燃焼設備] | 燃料噴燃ポンプ3A | 分解点検 | G4 | 12Y | — | 2016年 | | プラント運転中 (振動診断:6M) |
| | | 機能・性能試験 | | 12Y | — | 2016年 | 132 補助ボイラー設備検査 | |
| | | 分解点検 | G4 | CBM | — | 2013年 | | (振動診断:6M) |
| | | 機能・性能試験 | | B | — | 2013年 | 132 補助ボイラー設備検査 | 電動機分解点検時に実施 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------------------------|--------------------|-----------------|--------|---------------|---------|--------------|----------------|--|
| その他発電原子炉の附属施設(火災防護設備) 〔消火設備〕 | 燃料噴燃ポンプ3B | 分解点検 機能・性能試験 | G4 | 12Y | — | 2016年 | 132 補助ボイラ—設備検査 | プラント運転中 (振動診断:6M) |
| | 燃料噴燃ポンプ3B電動機 | 分解点検 機能・性能試験 | G4 | CBM | — | 2013年 | | (振動診断:6M) |
| | 燃料噴燃ポンプ3C | 分解点検 機能・性能試験 | G4 | 12Y | — | 2016年 | 132 補助ボイラ—設備検査 | プラント運転中 (振動診断:6M) |
| | 燃料噴燃ポンプ3C電動機 | 分解点検 機能・性能試験 | G4 | CBM | — | 2013年 | | (振動診断:6M) |
| | 消火ポンプ3A(電動) | 機能・性能試験 分解点検 | G4 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M) |
| | 消火ポンプ3A電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M) |
| | 消火ポンプ3B(ディーゼルエンジン) | 機能・性能試験 部分点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M, 潤滑油診断:1Y) |
| | 消火ポンプ3B(ディーゼル駆動) | 機能・性能試験 分解点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M) |
| | 消火系統機器(AM機能範囲)一式 | 取替 | G3 | CBM ※1 | — | — | | ※1 巡視点検(1M)結果により取替実施 一部プラント運転中 一部プラント運転中 |
| | 全域ハロン消火設備 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 12M~ 13M | ○ | 2019年 | | プラント運転中 |
| | 防火タンク 一式 | 作動確認 | G3,G4 | 130M~ 144M | — | 2018年 | | 23回にて初回点検を計画 |
| | 煙等流入防止装置 一式 | 分解点検 | G3 | 130M | — | — | | |
| 可搬型排煙装置(中央制御室) | 作動確認 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|--|-----------|--------|----------|---------|---------------|----------------|-------------------------|
| その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備] | 可搬型排煙装置(中央制御室)電動機 | 作動確認 | G3 | IC | ○ | 14回 | | |
| | | 分解点検(本体) | G3 | 130M | - | - | | 22回にて初回点検を計画 |
| | 可搬型の排煙装置 | 作動確認 | G4 | IC | ○ | 14回 | | |
| | ほり酸ポンプ室耐火障壁 | 外観点検 | G4 | IC | ○ | 14回 | | |
| | 貫通部シール | 外観点検 | G4 | 10C | - | - | | 17回にて初回点検を計画 |
| | その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備)[その他設備] その他機器 一式 | 特性試験 他 | G4 | 12M~130M | ○ | 2019年 | | 一部アラート運転中 |
| | 海水ポンプエリア水密ハッチ 一式 | 開放点検 | G3 | 26M | - | 14回 | | |
| | 海水ポンプエリア水密扉 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | アラート運転中または定検停止中 |
| | 原子炉補助建屋水密扉 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | アラート運転中または定検停止中 |
| | 原子炉建屋水密扉 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | アラート運転中または定検停止中 |
| その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) [その他設備] | 海水ピットポンプ室防護壁3号 | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | | |
| | 浸水防護堰 一式 | 外観点検 | G3 | IC | ○ | 14回 | | |
| | ターミナルエレメント部カバー 一式 | 外観点検 | G4 | 5C | - | - | | 18回にて初回点検を計画 |
| | 床ドレンライン逆止弁 一式 | 分解点検 | G3 | 130M | - | - | 84 1次系弁検査 | 23回にて初回点検を計画 |
| | 海面監視カメラ監視含む) 一式 | 特性試験 | G4 | 13M | ○ | 14回 | | |
| | 耐震型海水ピット水位計(監視含む) 一式 | 特性試験 | G4 | 13M | ○ | 14回 | 72 計測制御系監視機能検査 | |
| | 蒸気漏えいの自動検知・遠隔隔離システム 一式 | 機能・性能試験 他 | G4 | 13M~130M | ○ | 14回 | 84 1次系弁検査 | |
| | 貫通部止水処理 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | アラート運転中または定検停止中 |
| | 海水ピット堰3A | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 167 海水ピット堰検査 | |
| | 海水ピット堰3B | 開放点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 167 海水ピット堰検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------------|---------------------------|------------|--------|----------|---------|--------------|--------------------|-------------------------|
| その他発電原子炉の附属施設(緊急時対策所) | 緊急時対策所(E.L.32m) | 外観点検 | 高 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 非破壊試験 | | 5Y | — | 2016年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 漏えい試験 | | 6YP | — | — | 140 緊急時対策所の居住性確認検査 | 16回にて初回点検を計画 |
| 電巻防護対策設備 | 補助給水タンクエリア防護壁3号 | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | | 外観点検 | 高,低 | 1C | ○ | 14回 | | 一部プラント運転中 |
| 土木建築設備 | 原子炉格納施設 | 非破壊試験 | | 5Y | — | 2018年 | | 一部プラント運転中 |
| | | 外観点検 | 高,低 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 非破壊試験 | | 5Y | — | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 外観点検 | 高,低 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 非破壊試験 | | 5Y | — | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 外観点検 他 | 高,低 | 1Y~5Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 総合性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 55 総合負荷性能検査 | 定検起動後 |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 外観点検 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| プラント総合 | 原子炉及びその附属設備(非常用予備発電装置を除く) | 機能・性能試験 他 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 機器 | | | | | | |
| 全設機器 | 化学消防自動車 | 水槽付消防自動車 | | | | | | |
| | | 海水取水用水中ポンプ | | | | | | |
| | | 諸機器 | | | | | | |

2.点検計画 重大事故等対処設備

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---|---|-----------|--------|----------|---------|--------------|--|-----------------------------------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕 | 使用済燃料ピット広域水位(AM)計測装置 一式 | 特性試験 他 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 72 計測制御系監視機能検査 | |
| | 使用済燃料ピット監視カメラ(可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ設備を含む。) 一式 | 特性試験 他 | G3 | 13M~130M | ○ | 14回 | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 | 大型ポンプ車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 大型ポンプ車(泡混合機能付) | 分解点検 | G3 | 10Y | — | — | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 | プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画 |
| 中型ポンプ車 | 7台 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査 | プラント運転中または定検停止中 2026年にて初回点検を計画 |
| | | 分解点検 | | 10Y | — | — | | プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画 |
| 加圧ポンプ車 | 3台 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 分解点検 | | 10Y | — | — | | プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画 |
| 大型放水砲 | 2台 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| 小型放水砲 | 3台 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 水源確保用ホース 一式 | | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | |
|--|----------------------------------|--|--------|---------------|---------|--------------|-----------------|-------------------------|-----------------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕 | 小型船舶 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 取水ポンプシフトフェンス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 海水ポンプシフトフェンス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 放水ポンプシフトフェンス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 放水ポンプシフトフェンス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 雨水排水口海洋シフトフェンス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 放射性物質吸着剤 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| | 原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 弁 一式 | 分解点検 | G3 | 130M～ 156M | — | — | | 23回にて初回点検を計画 | |
| | 原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 | 原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 アイソタンクス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外 放出用5mフレキングバルブホース 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式 | | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| 原子炉補機冷却水サージタンク壺素供給用 14mフレキングバルブホース 一式 | | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | |
| 壺素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | | |
| 可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキング バルブホース 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|---|-----------|--------|-----------|---------|--------------|-------------------------------------|-------------------------|
| | 格納容器雰囲気ガスファンフル冷却器冷却水屋外放出用21mフレキシブルホース 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型代替冷却水ポンプ 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 | |
| | 可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式 | 外観点検 | | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] 弁 一式 | 分解点検 他 | G3 | 130M~156M | — | — | 85 1次系安全弁検査 | 21回にて初回点検を計画 |
| | 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] アイスクラス 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] | 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 弁 一式 | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | | 25回にて初回点検を計画 |
| 原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 蒸気タービンに附属する管等] | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] 弁 一式 | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | | 25回にて初回点検を計画 |
| 計測制御系統施設 [計測装置] | 事故時監視計器 1個 圧力監視計器 5個 水位監視計器 2個 流量監視計器 2個 温度監視計器 2個 水素濃度監視計器 2個 | 特性試験 他 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 35 プラント状態監視設備機能検査 72 計測制御系監視機能検査 | |
| | 計測制御系統施設 [計測装置] 弁 一式 | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | | 25回にて初回点検を計画 |
| | 計測制御系統施設 [計測装置] その他機器 一式 | 外観点検 | G3 | 13M | ○ | 14回 | | プラント運転中または定検停止中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------------------------|---------------------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|----------------------|-------------------------|
| 計測制御系統施設 〔工学的安全施設等の 作動信号〕 | ATWS緩和設備 一式 | 特性試験 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 149 重大事故時安全停止回路機能検査 | |
| 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 | 計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 弁 一式 | 分解点検 他 | G3 | 130M | — | — | 85 1次系安全弁検査 | 23回にて初回点検を計画 |
| | 窒素ボンベ(空気作動弁用) 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | マニホールド(空気作動弁用) 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 空気作動弁用フレキシブルホース 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| 計測制御系統施設 〔その他設備〕 | 代替格納容器雰囲気ガスサンプル圧縮装置 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 | |
| | 代替格納容器雰囲気ガスサンプル圧縮装置 電動機 一式 | 外観点検 | | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 中央制御室用可搬型照明 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 8台 | 外観点検 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型計測器 一式 | 計器校正 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 酸素濃度計(中央制御室用) | 単体調整試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 二酸化炭素濃度計(中央制御室用) | 単体調整試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 緊急時用携帯型通話設備 (緊急時用携帯型通話装置) 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 無線通信設備(無線通信装置(可搬型)) 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 衛星電話設備(衛星電話(可搬型)) 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-------------------------|-----------------------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|-----------------|-----------------------------------|
| 放射線管理施設 〔放射線管理用計装装置〕 | 衛星電話設備(衛星電話(固定型)) 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 計測制御系統施設 〔その他設備〕 弁 一式 | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | | 25回にて初回点検を計画 |
| | 緊急時対策所エアモニタ 一式 | 特性試験 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型使用済燃料ピットエアモニタ 一式 | 特性試験 | G3 | 12M～13M | ○ | 14回 | 76 放射線監視装置機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型代替モニタ 一式 | 特性試験 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型モニタ 一式 | 特性試験 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型放射線計測器 一式 | 特性試験 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型ガスサンプル 一式 | 機能・性能試験 | G4 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型気象観測設備 一式 | 特性試験 | G4 | 1Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| 放射線管理施設 〔換気設備〕 | 緊急時対策所空気浄化系 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンA | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | — | | プラント運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンA電動機 | 分解点検 | G3 | 15Y | — | — | | プラント運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--------------------|--------------------|------------------|--------|----------|---------|-----------------|----------------------------------|----------------------------------|
| | 緊急時対策所空気浄化ファンB | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンB電動機 | 分解点検 | G3 | 15Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画 |
| | | 機能・性能試験 | | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンC | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画 |
| | | 分解点検 | | 15Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンC電動機 | 分解点検 | G3 | 15Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画 |
| | | 機能・性能試験(よう素除去効率) | | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンユニットA | 機能・性能試験(漏えい率) | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 |
| | | 機能・性能試験 | | 30Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 |
| | 緊急時対策所空気浄化ファンユニットB | 開放点検 | G3 | 30Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 |
| | | 機能・性能試験(よう素除去効率) | | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 |
| 緊急時対策所空気浄化ファンユニットB | 機能・性能試験(漏えい率) | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 | |
| | 機能・性能試験 | | 30Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 | |
| 緊急時対策所空気浄化ファンユニットB | 開放点検 | G3 | 30Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 | |
| | 機能・性能試験 | | 30Y | — | — | — | ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | | |
|-----------------------------|------------------------------|------------------|---------|----------|----------|--------------|-----------------------|-----------------------------------|--|---------------------|
| 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] | 緊急時対策所空気浄化フィルタユニットC | 機能・性能試験(よう素除去効率) | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 | | |
| | | 機能・性能試験(漏えい率) | | 1Y | ○ | 2019年 | 164 可搬型換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 | | |
| | | 機能・性能試験 | | 30Y | — | — | 164 可搬型換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 | | |
| | | 開放点検 | | 30Y | — | — | — | プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画 | | |
| | 緊急時対策所空気浄化フィルタユニット電気加熱ユニット一式 | タンパ(防火タンパ)一式 | 内部・外部点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | — | プラント運転中または定検停止中 | |
| | | | 作動確認 | | G3 | 12Y | — | — | プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画 | |
| | | | 外観点検 | | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | — | プラント運転中または定検停止中 |
| | 緊急時対策所加圧装置機器一式 | タクト一式 | 分解点検 他 | G3 | 12M~117M | ○ | 2019年 | 85 1次系安全弁検査 | プラント運転中または定検停止中 有効性評価 No.30,34の反映 | |
| | | | 機能・性能試験 | | G3 | 1C | ○ | 14回 | 48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査 | (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) |
| | | | 分解点検 | | G3 | 130M | — | — | 49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 | 23回にて初回点検を計画 |
| 代替格納容器スプレイポンプ3号 | 代替格納容器スプレイポンプ3号電動機 | 分解点検 | G3 | 130M | — | — | — | (振動診断:1M) 19回にて初回点検を計画 | | |
| | | 機能・性能試験 | | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | |
| | | 機能・性能試験 | | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | |
| 静的触媒式水素再結合装置3A | 静的触媒式水素再結合装置3B | 機能・性能試験 | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | | |
| | | 機能・性能試験 | | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | |
| | | 機能・性能試験 | | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | |
| 静的触媒式水素再結合装置3D | 静的触媒式水素再結合装置3D | 機能・性能試験 | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | | |
| | | 機能・性能試験 | | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | — | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|-------------------------------------|-----------|--------|--------------|---------|--------------|--|-------------------------------|
| 原子炉格納施設 [その他設備] | 静的触媒式水素再結合装置3E | 機能・性能試験 | G3 | 3C | ○ | — | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | |
| | 静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置 一式 | 特性試験 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 72 計測制御系監視機能検査 | |
| | イクナイタ 13台 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査 | |
| | イクナイタ作動温度計測装置 一式 | 特性試験 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 72 計測制御系監視機能検査 | |
| | 格納容器再循環系ターボ開放機構 一式 | 作動確認 | G3 | 10C | — | 14回 | | |
| 原子炉格納施設 [その他設備] | 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] 弁 一式 | 分解点検 他 | G3 | 13M～ 156M | ○ | 14回 | | |
| | 泡混合器 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 水成膜泡消火薬剤(泡コソブテ、希釈率1%) 一式 | 外観点検 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| 原子炉施設 [その他設備] | 重大事故等クワズ2機器(供用期間中検査対象) 一式 | 非破壊試験 | G3 | 10YP | ○ | 14回 | 144 重大事故等クワズ2機器供用期間中検査 | 重大事故等クワズ2機器供用期間中検査10年計画[別紙-7] |
| | 重大事故等クワズ3機器(供用期間中検査対象) 一式 | 漏えい試験 | | IC,10YP | ○ | 14回 | | |
| その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [非常用発電装置] | 重大事故等クワズ2機器(供用期間中検査対象) 一式 | 漏えい試験 | G3 | 10Y | ○ | 2018年 | 168 重大事故等クワズ3機器供用期間中検査 | 重大事故等クワズ3機器供用期間中検査10年計画[別紙-8] |
| | 空冷式非常用発電装置3号 | 機能・性能試験 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査 | |
| | | 分解点検 | | 52M | — | — | 157 その他非常用発電装置の分解検査 | 16回にて初回点検を計画 |
| | | 潤滑油入替 | | 26M | — | 14回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 | | |
|---------|------------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|--|-------------------------|---|---------------------|
| | 空冷式非常用発電装置4号 | 機能・性能試験 | G3 | IC | ○ | 14回 | 158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査 | | | |
| | | 分解点検 | | | | | | | — | 157 その他非常用発電装置の分解検査 |
| | | 潤滑油入替 | | | | | | | ○ | |
| | No.1 300kVA 電源車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | No.2 300kVA 電源車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | No.3 300kVA 電源車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | No.1 75kVA 電源車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | No.2 75kVA 電源車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | No.3 75kVA 電源車 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | 300kVA 電源車用変圧器3A | 内部・外部点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | 300kVA 電源車用変圧器3B | 内部・外部点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | フロント運転中または定検停止中 | | |
| | 300kVA 電源車用変圧器3C | 内部・外部点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | フロント運転中または定検停止中 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|--|-------------|--------|----------|---------|--------------|-----------------|-------------------------|
| | 300kVA電源車中継端子盤A-1 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 300kVA電源車中継端子盤A-2 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 300kVA電源車中継端子盤B-1 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 300kVA電源車中継端子盤B-2 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 300kVA電源車用電源接続ユニット1 | コントロールセンタ点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 300kVA電源車用電源接続ユニット2 | コントロールセンタ点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 300kVA電源車用電源接続ユニット3 | コントロールセンタ点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 300kVA電源車用電源接続ユニット4 | コントロールセンタ点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 緊急時対策所用発電機 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 軽油タンク3号 | 開放点検 | G3 | 156M | — | — | 124 2次系容器検査 | 25回にて初回点検を計画 |
| | ミローリー(G-ニコローリー車載送油用 19.5mまたは20mホースを含む) | 機能点検 | G3 | 0.25Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置]燃料補給用ホース等 一式 | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置]弁 一式 | 分解点検 | G3 | 156M | — | — | | 25回にて初回点検を計画 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検査回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------------------------------|--------------------|-----------|--------|----------|---------|---------------|-----|-------------------------|
| その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他の電源設備] | 代替動力変圧器3号 | 内部・外部点検 | G3 | 4C | — | 14回 | | |
| | 代替電気設備受電盤3号 | 遮断器点検 | G3 | 52M | — | 14回 | | |
| | 代替計装用変圧器盤3号 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 代替計装用分電盤3号 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 蓄圧タンク3B出口弁代替操作盤 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 蓄圧タンク3A,3C出口弁代替操作盤 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策所用発電機中継端子盤A | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用コントロセンタ | コントロセンタ点検 | G3 | 4C | — | — | | 16回にて初回点検を計画 |
| | 緊急時対策用100V分電盤(1) | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用100V分電盤(2) | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用100V分電盤(3) | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用100V分電盤(4) | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用100V分電盤(5) | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用100V分電盤(6) | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 緊急時対策用空調用分電盤 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--|---|------------------|--------|-------------|---------|--------------|---------------------------------|-------------------------|
| その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施設) [内郭浸水防護設備] | 可搬型整流器3A | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型整流器3B | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型整流器3C | 外観点検 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 可搬型直流電源装置中継端子盤3号 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 可搬型直流電源装置切換盤3号 | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 蓄電池切換盤3A | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 蓄電池切換盤3B | 内部・外部点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 蓄電池(重大事故等対処用) 2組(60個/組) | 機能・性能試験 蓄電池点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | 53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査 | |
| | その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[その他の電源装置] その他機器 一式 | 機能・性能試験 他 | G3,G4 | 12M~ 13M | ○ | 2019年 | 163 可搬型代替電源設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 余熱除去冷却室漏えい防止堰3A,3B | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| その他発電用原子炉の 附属施設(緊急時対策 所) | 格納容器スレィ(冷却室漏えい防止堰 3A,3B) | 外観点検 | G3 | 1C | ○ | 14回 | | |
| | 酸素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) | 単体調整試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 二酸化炭素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) | 単体調整試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |

| | | | | | | | | |
|---------|-----------|-----------|------------|--------------|-------------|----------------------|-----|-------------------------------|
| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の 重要度 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実 施計画 | 前回実施 時期(定検 回数) | 検査名 | 備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕 |
| 全殺機器 | ホィーローダ 一式 | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2018年 | | アライメント運転中または定検停止中 |

3. 点検計画(1,2,3号機共用設備)

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-----------------------------------|---|-----------|-------------|------------|---------|--------------|---------------------|---|
| 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔その他設備〕 | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔その他設備〕 その他の弁 一式 | 分解点検 | G3 | 3Y | — | 2015年 | | プラント運転中 |
| | 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔その他設備〕 その他機器 一式 | 目視点検 | G4 | 5Y | ○ | 2015年 | | プラント運転中 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備〕 | 2棟 固体廃棄物貯蔵庫 (1,2,3号機共用) | 外観点検 他 | 低 | 1Y~ 5Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 1棟 蒸気発生器保管庫 (1,2,3号機共用) | 外観点検 他 | 低 | 1Y~ 5Y | ○ | 2018年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 1棟 固体焼却設備 | 機能・性能試験 | G4 | 5Y | ○ | 2017年 | 66 固体廃棄物処理系統焼却炉機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 | 放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁 一式 | 分解点検 他 | G4 | 4Y~ 16Y | — | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | 放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他機器 一式 | 分解点検 他 | G3~G5, 低 | 1Y~ 12Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 一部CBMあり 一部BDMあり 一部点検実施 有効性評価 No.19の反映 |
| 放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕 | 1.エアモニター 2.プロセスマニタ | 特性試験 | G3 | 13M | ○ | 14回 | 76 放射線監視装置機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | モニタリングステーション | 特性試験 | G4 | 2Y | ○ | 2019年 | 62 野外モニタ機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | モニタリングポスト | 特性試験 | G4 | 2Y | ○ | 2019年 | 62 野外モニタ機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 移動式モニタリング設備 | 特性試験 | G4 | 2Y | ○ | 2019年 | 62 野外モニタ機能検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕 その他機器 一式 | 単体調整試験 他 | G3 | 1Y~ 5Y | ○ | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|-------------------|----------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|---------------|--|
| 放射線管理施設 [換気設備] | 前処理室排気ファン | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11,40の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 前処理室排気ファン電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 8Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 8Y | — | 2015年 | | |
| | 焼却炉建家給気ファンA | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 焼却炉建家給気ファンA電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 8Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 8Y | — | 2015年 | | |
| | 焼却炉建家給気ファンB | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 焼却炉建家給気ファンB電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 8Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 8Y | — | 2015年 | | |
| | 焼却炉建家排気ファンA | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 焼却炉建家排気ファンA電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2007年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2007年 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|----------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|---------------|---|
| | 焼却炉建家排気ファンB | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 焼却炉建家排気ファンB電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2010年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2010年 | | |
| | 焼却炉建家排気ファンC | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2002年 | | |
| | 焼却炉建家排気ファンC電動機 | 機能・性能試験 | G4 | B | — | 2010年 | 771次系換気空調設備検査 | 分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | 2010年 | | |
| | 高圧圧縮棟給気ファンA | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | — | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 高圧圧縮棟給気ファンA電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | — | 2018年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2018年 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------|----------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|---------------|---|
| | 高圧圧縮棟排気ファンB | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | — | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 高圧圧縮棟排気ファンB電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | — | 2018年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2018年 | | |
| | 高圧圧縮棟排気ファンA | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | — | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 高圧圧縮棟排気ファンA電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2015年 | | |
| | 高圧圧縮棟排気ファンB | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | — | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画 |
| | | 分解点検 | | CBM | — | — | | |
| | 高圧圧縮棟排気ファンB電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 6Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2015年 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|--------------------------|----------------------------------|-----------|--------|----------|---------|--------------|---------------|-----------------------------------|
| | 前処理室排気フィルタユニット | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 焼却炉建家排気フィルタユニットA | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 焼却炉建家排気フィルタユニットB | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | 2015年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 高圧圧縮機排気フィルタユニット | 機能・性能試験 | G4 | 15Y | — | — | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画 |
| その他発電用原子炉の附属施設 [電気設備] | タンク(タンク・ホッパー・タ防火タンク、手動タンクを含む) 一式 | 機能・性能点検 他 | G4 | 4Y～15Y | — | 2019年 | 771次系換気空調設備検査 | プラント運転中または定検停止中 |
| | 変圧器設備 一式 | 開放点検 他 | G3 | 36M～182M | — | 14回 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | しゃ断器 一式 | しゃ断器点検 他 | G3 | 6Y | — | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |
| | その他発電用原子炉の附属施設[電気設備] その他機器 一式 | 内部・外部点検 他 | G3 | 6Y | — | 2019年 | | プラント運転中または定検停止中 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|----------------------------------|------------------------|-----------|--------|-----------|---------|--------------|-----|---------------------------------------|
| その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備) 〔消火設備〕 | ディーゼル駆動消火ポンプ/ディーゼルエンジン | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | アラウト運転中または定検停止中 (振動診断:1M,潤滑油診断:1Y) |
| | | 分解点検 | | 10Y | — | 2013年 | | |
| | | 部分点検 | | 1Y | ○ | 2019年 | | |
| | ディーゼル駆動消火ポンプ | 機能・性能試験 | G3 | 1Y | ○ | 2019年 | | アラウト運転中または定検停止中 (振動診断:1M) |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2018年 | | |
| | 電動消火ポンプ | 機能・性能試験 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | アラウト運転中または定検停止中 |
| | | 分解点検 | | 6Y | — | 2016年 | | |
| | 電動消火ポンプ/電動機 | 機能・性能試験 | G4 | 1Y | ○ | 2019年 | | アラウト運転中または定検停止中 |
| | | 取替 | | CBM ※1 | — | 2010年 | | |
| | 消火系統機器(AM機能範囲) 一式 | | | G3 | | | | |

4.行政指導文書の点検指示による点検

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定検回数) | 検査名 | 備考 〔()内は適用する設備診断技術〕 |
|---------------|--------------------|-------------------------------|--------|----------|---------|--------------|-----|--|
| 原子炉本体 [炉心] | 再使用予定の燃料集合体 ※一式 | 点検点検(最下部支持格子内 の外観点検(隙間確認)) | G3 | IC | ○ | 14回 | | 平成22・02・03原院第3号(NISA-161a-10-1) ※漏えい事象に係る知見を踏まえ選定 |

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器 (1/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 ※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|-------------------------------------|------|---|----------------|--------------|------|------------|------|--------|------|------|--------|---------|--------|--------|--------|------|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回 ※3 | 14回 ※3 | 15回 ※4 | | | |
| B2.111 | B-B | 上部胴と下部胴との間溶接継手 下部胴とトランジションリングとの間溶接継手 | 体積 | 5% | 1シーム | UT (内面) | 5% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| B3.105 | B-C | トランジションリングと下部鏡板との間溶接継手 | 体積 | 5% | 1シーム | UT (内面) | 5% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| B3.106 | B-C | 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手 | 体積 | 100% | 1シーム | UT (内面) | 100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| B3.10 | B-D | 上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手 冷却材入口管台と胴との溶接継手 | 体積 | 100% | 3箇所 | UT (内面) | 100% | <15% | <10% | <15% | <15% | <15% | <15% | <15% | <15% | <15% | (重大事故等クラス2機器) | |
| B3.20 | B-D | 冷却材出口管台と胴との溶接継手 冷却材入口管台内面の丸みの部分 | 体積 | 100% | 3箇所 | UT (内面) | 100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| B5.10 | B-F | 冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手 | 体積及び表面 (※2) | 100% (※2) | 3箇所 | PT (外面) | 100% | C | - | - | - | B | - | - | - | A | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 体積及び表面 (※2) | 100% (※2) | 3箇所 | UT (外面) | 100% | C | - | - | - | A, B, C | - | - | - | A | 500kSNI基金使用部位であるが、第14回定期検査において検出限界のき裂を想定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策(ECT+JP)を講じたため、検査間隔は維持規格に従い10年とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。 (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 体積及び表面 (※2) | 100% (※2) | 3箇所 | PT (外面) | 100% | B | A | - | - | - | - | - | - | - | C | 500kSNI基金使用部位であるが、第14回定期検査において検出限界のき裂を想定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策(ECT+JP)を講じたため、検査間隔は維持規格に従い10年とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。 (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号B1.101 B1.102, B1.103 B-A/B2.112, B2.121, B2.122 B-B/B5.20, B5.30 B-Fについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S N A 1-2002を適用。

※2 15回はNRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定)最終改正:原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

※3 13回以前は、NISA文書「発電用原子炉設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※4 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※5 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

(注) <>は旧設備の検査実績を示す。

1. 原子炉容器 (2/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|-----------------------------|----------------|------------------------|--------|---------|------|-------------|---------------|-----------------|--------------------|--------|-----|-----|-----------------|---------|------|---------------------------|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回 | 14回 | 15回 | | |
| B6.10 | | 上蓋用ナット | VT-1 | 100% | 58個 | VT-1 | 100% | - | 16個 | 8個 | - | - | 8個 | 9個 | 9個 | (重大事故等クラス2機器) | |
| B6.30 | B-G-1 | スタッドボルト | 体積 | 100% | 58本 | UT | 100% | | 16本 | 8本 | | | 8本 | 9本 | 9本 | (重大事故等クラス2機器) | |
| B6.40 | | 胴フランジネジ穴のネジ部 | 体積 | 100% | 58箇所 | UT | 100% | | 14箇所 | 15箇所 | | | 14箇所 | 15箇所 | 15箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| B6.50 | | 上蓋用ワッシャ | VT-1 | 100% | 58個 | VT-1 | 100% | | 16個 | 8個 | | | 8個 | 9個 | 9個 | (重大事故等クラス2機器) | |
| B7.10 | B-G-2 | T/Cハウジングの下部クランプボルト、ナット | VT-1 | 25% | 3組 | VT-1 | 25% (1組) | | | | | | | ※4 | ※4 | (重大事故等クラス2機器) | |
| B14.10 | B-0 | 制御棒駆動ハウジング溶接継手 | 体積又は表面 | 最外周の25% | 65箇所 | PT | 最外周の25% (6箇所) | <1箇所> <# 58> | <2箇所> <# 60、62> | | | | <1箇所> <# 64> | | | | 第14回定検 原子炉容器上蓋取替工事にて重去 最外周：2箇所 (重大事故等クラス2機器) |
| | | 制御棒駆動ハウジング上部の溶接継手 | 体積又は表面 | 最外周の25% | 52箇所 | PT | 最外周の25% (4箇所) | | | | | | | ※4 | ※4 | 最外周：16箇所 (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 制御棒駆動ハウジング下部の溶接継手 | 体積又は表面 | 最外周の25% | 55箇所 | PT | 最外周の25% (5箇所) | | | | | | | | ※4 | ※4 | 最外周：19箇所 (重大事故等クラス2機器) |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 | 25% | 6箇所 | VT-3 | 25% (2箇所) | | B出口 | A出口 | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| G1.10 | G-P-1 | 原子炉容器の内部 | VT-3 | 7.5% | 1基 | VT-3 (水中TV) | 100% (可能範囲) | | | | | | | 33 1/3% | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 原子炉容器の内部取付け物 | VT-3 | 7.5% | 1基 | VT-3 (水中TV) | 100% (可能範囲) | | | | | | | | 100% | | (重大事故等クラス2機器) |
| G1.40 | G-P-1 G-P-2 | 上部炉心支持構造物 下部炉心支持構造物 | VT-3 | 7.5% | 1基 | VT-3 (水中TV) | 100% (可能範囲) | | | | | | | | 100% | | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号B6.20 B-G-1/B8.10 B-Hについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

※4 第14回定検 原子炉容器上蓋取替工事にて追加されたため、維持規格IA-2320(6)の規定により、次検査間隔から検査を実施

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

2. 加圧器 (1/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 ※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|-------------------------------------|------|----------------------|------|---------|------|------|---------------|--------|----|----------|--------|----|-----|--------|--------|--------|----------|--|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回 ※2 | 14回 ※2 | 15回 ※3 | | | |
| B2.11 | | 上部鏡板と上部胴との周溶接継手 | 体積 | 5% | 1シーム | UT | 5% | 5% | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 下部胴と下部鏡板との周溶接継手 | 体積 | 5% | 1シーム | UT | 5% | | 5% | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B2.12 | B-B | 上部胴の長手溶接継手 | 体積 | 10% | 2シーム | UT | 10% | 10% | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 下部胴の長手溶接継手 | 体積 | 10% | 2シーム | UT | 10% | 10% | | 1シーム 10% | | | | | | | 1シーム 10% | | (重大事故等クラス2機器) |
| B2.13 | | 上部胴と下部胴との周溶接継手 | 体積 | 5% | 1シーム | UT | 5% | 5% | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.30 | | 管台と容器との溶接継手 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | サージライン用管台 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | スプレイライン用管台 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 逃がし弁用管台 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.40 | B-D | 安全弁用管台 | 体積 | 管台数の25% | 3箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | サージライン用管台 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | スプレイライン用管台 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 逃がし弁用管台 | 体積 | 管台数の25% | 1箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 安全弁用管台 | 体積 | 管台数の25% | 3箇所 | UT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |

※1 12回以前はJSME S N A 1-2002を適用。
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
 ※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

2. 加圧器 (2/2)

| 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|-------|--------------|-----------------|--------------|------|----------|---------------|--------|----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--|--|---------------|---|--|--|--|
| 適用規格: 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 ※1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | 備考 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回 ※3 | 14回 ※3 | 15回 ※4 | | | | | | | |
| B5.40 | B-F | 管台とセーフ | 体積及び表面の25% (※2) | 管台数の25% (※2) | 1箇所 | UT PT | 管台数の25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | B-F定検 加圧器管台廻り修繕工事において690系Ni基合金化されたため、検査間隔は10年[原]とする。(重大事故等クラス2機器) | | | |
| | | ライン用管台 | | | 1箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | スプレイライン用管台 | | | 1箇所 | | | 1箇所 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 逃がし弁用管台 | | | 1箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B7.20 | B-G-2 | マンホールの取付けボルト | VT-1 | 25% | 16本 | VT-1 | 25% (4本) | | | | 1本 | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | | |
| B8.20 | B-H | 支持スカーポート溶接継手 | 表面 | 7.5% | 1シーム | PT | 7.5% | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | |
| Fl.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 | 25% | 1箇所 | VT-3 | 25% (1箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | |

(注) 項目番号B5.50, B5.60 B-F/B6.60, B6.70, B6.80 B-G-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S N A 1-2002を適用。

※2 14回はNRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

13回以前は、NISA文書「発電用原子炉設備における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※3 維持規格1A-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※4 維持規格1A-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

3. 蒸気発生器

| 適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|------------------------------|-------|----------------------|--------------|----------------|----------------|------|-----------|---------|----|-----|--------|----|-----|--------|-----|-----|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回 | 14回 | 15回 | | |
| B2.40 | B-B | 管板と水室筒板との間溶接継手 | 体積 | 代表1基の25% | 1/4-1/基 ×3基 | UT | 代表1基の25% | A 5% | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.60 | B-D | 冷却材出入口管台内面の丸み部分 | 体積 | 代表1基の25% | 2箇所/基 ×3基 | UT | 代表1基(1箇所) | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B5.70 | B-F | 冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 | 体積及び表面(※2) | 代表1基の25%(※2,3) | 1箇所/基 ×3基 | PT | | | | | | | | | | | | 300S系Ni基合金使用部位であるが、第11回定期検査において検出部材のき裂を想定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証されたが、(ECT/USP)を編じたため、第12回定期検査以降、検査計画を以下のとおりとする。 *A号機入口管台を代表箇所とする。 *各検査方法における検査間隔は、維持規格に従い10年とする。 (重大事故等クラス2機器) |
| | | | ECT(内表面)(※2) | | | | A | | | | | | | | | | | |
| | | | 体積及び表面(※2) | | | | [C] | | | | | | | | | | | |
| B7.30 | B-G-2 | 冷却材出入口側マンホールの取付けボルト | 体積及び表面(※2) | 代表1基の25% | 16本×2/基 ×3基 | PT | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | ECT(内表面)(※2) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | VT-1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| B8.30 | B-H | 支持部材の容器への取付け溶接継手 | 表面 | 代表1基の7.5%(1箇所) | 4箇所/基 ×3基 | PT | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | VT-3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 | 代表1基の25% | 4箇所/基 ×3基 | VT-3 | 代表1基(1箇所) | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号B3.50 B-D/B5.80, B5.90 B-F/B6.90, B6.100, B6.110 B-G-1/B16.30 B-Qについては該当なし。

《 》は蒸気発生器出入口管台溶接部内表面検査(「蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検実施について」(平成19年11月16日付け平成19・11・13原院第7号)および「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について(指示)」(平成20年2月5日付け平成20・02・05原院第5号)に基づき実施)における検査実績を示す。

項目番号B16.20 B-Q「伝熱管」については、統合型保守管理システム(E.A.M)にて管理する。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破断を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※3 第11回定期検査までの検査範囲は、体積及び表面：代表1基の100%。

※4 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※5 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

[]は定点サンプリング方式の検査箇所としては選定しない。

4. 配管 (1/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|-------|----------------------|------|------|------|------|--------------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | | 第3検査時期 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回※2 | | 14回※2 | 15回※3 | | | | | | | | | | |
| B7.50 | B-G-2 | 圧力保持用ボルト、ナット | VT-1 | 25% | 6箇所 | VT-1 | 25% (2箇所) | - | 1箇所 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| B9.11 | B-J | 一次冷却配管 | 体積 | 25% | 36箇所 | UT | 25% (9箇所) | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | 加圧器サージライン | 体積 | 25% | 7箇所 | UT | 25% (2箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器安全弁ライン | 体積 | 25% | 27箇所 | UT | 25% (7箇所) | - | - | - | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 2箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器逃がしライン | 体積 | 25% | 7箇所 | UT | 25% (2箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 加圧器スプレイレイン | 体積 | 25% | 61箇所 | UT | 25% (16箇所)※4 | <1箇所> | <2箇所> | <3箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | <2箇所> | 3箇所 | |
| | | 余熱除去ポンプ吸入ライン | 体積 | 25% | 10箇所 | UT | 25% (3箇所) | - | - | - | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 蓄圧注入ライン | 体積 | 25% | 44箇所 | UT | 25% (11箇所) | 1箇所 | 3箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 高温側低圧注入ライン | 体積 | 25% | 31箇所 | UT | 25% (8箇所) | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 低温側低圧注入ライン | 体積 | 25% | 39箇所 | UT | 25% (10箇所) | - | - | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 高温側高圧注入ライン | 体積 | 25% | 16箇所 | UT | 25% (4箇所) | - | - | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号B5.130, B5.140, B5.150 B-F/B6.150, B6.160, B6.170 B-G-I/B9.12 B-J については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

※4 第14回定検 1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて試験部位が増加したため、維持規格IA-2320(6)の規定により、追加箇所については次検査間隔から検査を実施する。

4. 配管 (2/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|-----------------------------|------|------------------------|------|------|------|------|--------------------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--|---|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | |
| B9.21 | B-J | 一次冷却材管 | 表面 | 25% | 2箇所 | PT | 25% (1箇所) ※4 | - | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | 配管の周溶接継手(呼び径100A未満) | 表面 | 25% | 12箇所 | PT | 25% (3箇所) | | | | 1箇所 | | | 1箇所 | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | 加圧器補助スプレイレイン | 表面 | 25% | 18箇所 | PT | 25% (5箇所) ※4 | <1箇所> | | | 1箇所 | | | 1箇所 | | | 1箇所 | | |
| | | ドレンライン | 表面 | 25% | 30箇所 | PT | 25% (8箇所) ※4 | <1箇所> | [1箇所] | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | <1箇所> | 1箇所 | 2箇所 | | |
| | | 充てんライン | 表面 | 25% | 8箇所 | PT | 25% (2箇所) | <1箇所> | <1箇所> | | | <1箇所> | | | <1箇所> | | | 第14回定検 1次系配管・非修繕工事および充てんラインB系統撤去工事に伴って、充てんラインB系統撤去(重大事故等クラス2機器) | |
| | | 一次冷却材ポンプ封水注入ライン | 表面 | 25% | 14箇所 | PT | 25% (4箇所) | | | | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | | | | |
| | | 高温側高圧注入ライン | 表面 | 25% | 12箇所 | PT | 25% (3箇所) | | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | | 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 低温側高圧注入ライン | 表面 | 25% | 54箇所 | PT | 25% (14箇所) | | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 3箇所 | 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 母管と管台との溶接継手(呼び径100A以上) | 体積 | 25% | 14箇所 | UT | 25% (4箇所) | | | 1箇所 | 1箇所 | | 1箇所 | 1箇所 | | 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満) | 表面 | 25% | 8箇所 | PT | 25% (2箇所) | | | | | | 1箇所 | 1箇所 | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| B9.32 | | 加圧器補助スプレイレイン | 表面 | 25% | 2箇所 | PT | 25% (1箇所) | | | | | | | 1箇所 | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | 高温側低圧注入ライン | 表面 | 25% | 2箇所 | PT | 25% (1箇所) | | | | | | | 1箇所 | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| B9.40 | | 加圧器補助スプレイレイン | 表面 | 25% | 4箇所 | PT | 25% (1箇所) | | | | | <1箇所> | | | | | 第14回定検 1次系配管・非修繕工事および充てんラインB系統撤去工事に伴って、一部を突き合わせ溶接継手に変更 | | |
| | | ドレンライン | 表面 | 25% | 4箇所 | PT | 25% (1箇所) | <1箇所> | | | <1箇所> | | | | | | 第14回定検 1次系配管・非修繕工事および充てんラインB系統撤去工事に伴って、一部を突き合わせ溶接継手に変更 | | |

(注) 項目番号B9.22 B-Jについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

[]は定常サンプリング方式の検査箇所としては適定しない。

※4 第14回定検 1次系配管・非修繕工事および充てんラインB系統撤去工事に伴って試験部位が増加したため、維持規格IA-2320(6)bの規定により、追加箇所については次検査間隔から検査を実施する。

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (3/5)

| 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|------|------------|------|------|--------------|------------------------|---------------|---------------|-------|-----|--------|-----|-------|--------|-------|-----|-----|---------------|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | 備考 | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | | |
| B9.40 | B-J | ソケット | 表面 | 25% | 51箇所 | PT | 25% (13箇所) | 1箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | - | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | | | |
| | | 溶接 | 表面 | 25% | 16箇所 | PT | 25% (4箇所) | 1箇所 | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 継手 | 表面 | 25% | 18箇所 | PT | 25% (5箇所) | | 1箇所 | | | | | | | 2箇所 | | (重大事故等クラス2機器) | |
| F1.10 | F-A | 加圧器サーージライン | VT-3 | 25% | MS 7 SH 2 | VT-3 | 25% (3箇所) | | <1箇所> | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器逃がしライン | VT-3 | 25% | MS 8 SH 2 | VT-3 | 25% (3箇所) | | | 1箇所 | 1箇所 | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 支持 | | | | MS 27 RH 43 SH 7 | VT-3 | 25% (20箇所) | | 2箇所 | 2箇所 | | | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 1箇所 | | |
| | | 構造 | | | | AN 1 HS 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 物 | | | | MS 9 RH 3 SH 2 | VT-3 | 25% (5箇所) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(注) 項目番号B9.110, B9.120, B9.130 B-J/B10.20 B-Kについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (4/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|------|----------------------|------|------|------|------|--------------|--------|-------|--------|-----|----|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | | | | | | | | | | |
| F1.10 | F-A | ドレンライン | VT-3 | 25% | 23箇所 | VT-3 | 25% (6箇所) | - | <1箇所> | | | | | | | | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 15回※3 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 1箇所 | | 2箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | <1箇所> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 充てんライン | VT-3 | 25% | 6箇所 | VT-3 | 25% (2箇所) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 一次冷却材ポンプ 封水注入ライン | VT-3 | 25% | 28箇所 | VT-3 | 25% (7箇所) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン | VT-3 | 25% | 2箇所 | VT-3 | 25% (1箇所) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓄圧注入ライン | VT-3 | 25% | 35箇所 | VT-3 | 25% (9箇所) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
 ※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用
 (注) < >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (5/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | |
|-----------------------------|------|----------------------|------|--|---|---------------|--------------|--------|-----|--------|-----|-----|--------|-------|-------|---------------|--|--|--|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | | | | |
| Fl.10 | F-A | 高温側低圧注入ライン | VT-3 | 25% | 28箇所 AN 1 HS 1 MS 7 RH 16 SH 3 | VT-3 | 25% (7箇所) | - | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | - | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | |
| | | | | | | | | 2箇所 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Fl.10 | F-A | 低温側低圧注入ライン | VT-3 | 40箇所 AN 1 HS 3 MS 13 RH 21 SH 2 | VT-3 | 25% (10箇所) | - | 1箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Fl.10 | F-A | 高温側高圧注入ライン | VT-3 | 29箇所 AN 2 MS 3 RH 24 | VT-3 | 25% (8箇所) | - | 1箇所 | 2箇所 | 2箇所 | | 1箇所 | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Fl.10 | F-A | 低温側高圧注入ライン | VT-3 | 52箇所 AN 3 MS 12 RH 34 SH 3 | VT-3 | 25% (13箇所) | - | | | | 1箇所 | 1箇所 | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

5. 一次冷却材ポンプ

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画（10カ年） | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|-----------------------------|-------|---------------------|------|-----------|----------|------|-------------------|---------|----|-----|---------|-----|-------|--------|----------|--|--|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | |
| B6.180 | | 主フランジボルト | 体積 | 代表1台の25% | 24本/台×3台 | UT | 代表1台の25% (6本) | A 2本 | | | A 2本 | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.190 | B-G-1 | 主フランジ表面（開放時） | VT-1 | 代表1台の25% | 3台 | VT-1 | 代表1台の100% | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.200 | | 主フランジナット及びワッシャ | VT-1 | 代表1台の25% | 24組/台×3台 | VT-1 | 代表1台の25% (6組) | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B12.20 | B-L-2 | ケーシングの内表面 | VT-3 | 代表1台の100% | 3台 | VT-3 | 代表1台の100% | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| FL.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 | 代表1台の25% | 3箇所/台×3台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | | | | | | | | B 1箇所 | | | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号B7.60 B-G-2/B10.30 B-K/B12.10 B-L-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

| 適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|-----------------------------|-------|--|----------|----------|-----------|------|-----------|--------|----|-----|--------|------|------|--------|-------|-------|---------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | |
| B7.70 | B-G-2 | 加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) | VT-1 | 代表1台の25% | 12個/台×3台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | 型式：6-RV68SB (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器逃がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B) | VT-1 | 代表1台の25% | 10個/台×2台 | VT-1 | 代表1台の100% | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：3-GM58SM (重大事故等クラス2機器) |
| | | 加圧器逃がしライン(2) (3PCV-452A, 452B) | VT-1 | 代表1台の25% | 6個/台×2台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：3-TA58R (重大事故等クラス2機器) |
| | | 加圧器スプレイレイン (3PCV-451A, 451B) | VT-1 | 代表1台の25% | 8個/台×2台 | VT-1 | 代表1台の100% | <1台> | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：4-RA58RB |
| | | 加圧器補助7Vライン (3V-CS-156) | VT-1 | 代表1台の25% | 6個/台×1台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：2-TA58R |
| | | ドレンライン (3V-RC-020A, 020B, 020C) | VT-1 | 代表1台の25% | 8個/台×3台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：2-TB8B |
| | | 抽出ライン(1) (3V-RC-019) | VT-1 | 代表1台の25% | 10個/台×1台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | <1台> | - | - | - | - | - | - | - | 型式：3-G68 |
| | | 抽出ライン(2) (3LCV-451, 452) | VT-1 | 代表1台の25% | 6個/台×2台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | - | <1台> | - | - | - | - | - | 型式：3-TA58RB |
| | | 充てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165) | VT-1 | 代表1台の25% | 10個/台×4台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | <1台> | - | - | - | - | - | - | 型式：3-C68 (重大事故等クラス2機器) |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430) | VT-1 | 代表1台の25% | 18個/台×2台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：12-GM58SM (重大事故等クラス2機器) |
| | | 蒸圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C) | VT-1 | 代表1台の25% | 16個/台×6台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | 型式：12-C58Z (重大事故等クラス2機器) |
| | | 高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B) | VT-1 | 代表1台の25% | 14個/台×4台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | - | 型式：6-C68 (重大事故等クラス2機器) |
| | | 低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C) | VT-1 | 代表1台の25% | 14個/台×6台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | 型式：6-C68 (重大事故等クラス2機器) |
| 高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C) | VT-1 | 代表1台の25% | 14個/台×1台 | VT-1 | 代表1台の100% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | - | 型式：6-C68 (重大事故等クラス2機器) | | |

(注) 項目番号B6.210, B6.220, B6.230 B-G-1 については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

(注) <>は旧設備の検査実績を示す。

6. 弁 (2/3)

| 適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | |
|-----------------------------|-------|----------------------------|--|-----------|-----------|------|-----------|-----------|----|-----|--------|----|-----|--------|-------|-------|----|---|---------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | | | |
| B12.50 | B-M-2 | 弁本体 内表面 | 加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) | VT-3 | 同一グループで1台 | 3台 | VT-3 | 同一グループで1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | - | - | 型式：6-RV55SP (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430) | VT-3 | 同一グループで1台 | 2台 | VT-3 | 同一グループで1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：12-QM55SH (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C) | VT-3 | 同一グループで1台 | 6台 | VT-3 | 同一グループで1台 | - | - | - | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | 型式：12-C58Z (重大事故等クラス2機器) |
| | | | 高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B) | VT-3 | 同一グループで1台 | 4台 | VT-3 | 同一グループで1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1台 | - | - | - | 型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器) |
| | | | 低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C) | VT-3 | 同一グループで1台 | 6台 | VT-3 | 同一グループで1台 | - | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器) |
| | | 高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C) | VT-3 | 同一グループで1台 | 1台 | VT-3 | 同一グループで1台 | - | - | - | 1台 | - | - | - | - | - | - | - | 型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器) | | |

(注) 項目番号B10.40 B-K/B12.30, B12.40 B-M-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

| 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|------|-----------|------|----------|------------|------|----------------|--------|-------|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|-----|---------------|--|---------------|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | | 第2検査時期 | | | | 第3検査時期 | | | 備考 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回 ※2 | 14回 ※2 | 15回 ※3 | | | | | | | | |
| F1.41 | F-A | 支 持 構 造 物 | VT-3 | 代表1台の25% | 2箇所/台 × 3台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | - | - | 10回 | 11回 | - | 12回 | 13回 ※2 | 14回 ※2 | 15回 ※3 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | | |
| | | | | 代表1台の25% | 2箇所/台 × 2台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | | |
| | | | | 代表1台の25% | 2箇所/台 × 2台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | | | | | | | | | | | 1箇所 | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | | | 代表1台の25% | 2箇所/台 × 2台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | | | | | | | | <1箇所> | | | | | | | | |
| | | | | 代表1台の25% | 2箇所/台 × 1台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | | | | | | 1箇所 | | | | | | | | | | |
| | | | | 代表1台の25% | 2箇所/台 × 2台 | VT-3 | 代表1台の25% (1箇所) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 抽出ライン (3LCV-451, 452) | | | | | | | | | <1箇所> | | | | | | | | | | | | | | |

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

7. クラス1機器漏えい検査

| 適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|----------------------------|------|----------------------|------|--------------------|-----|------|--------------------|--------|----|--------|-----|----|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回 ※1 | 14回 ※1 | 15回 ※2 | |
| B15.10 | B-P | 原子炉容器 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | 1式 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.20 | B-P | 加圧器 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | 1式 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.30 | B-P | 蒸気発生器 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | 1式 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.50 | B-P | 配管 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | 1式 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.60 | B-P | 一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | 1式 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.70 | B-P | 弁 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | 1式 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (重大事故等クラス2機器) |

※1 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※2 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|---------------------------|------|-----------------------|------------|--------------------|----------------|----------|-----------------------|-----------|-------------|--------|-----|----|-----------|-----|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 |
| C1.10 | C-A | 胴とフランジとの周溶接継手 | 体積 | 1つの 容器の 7.5% | 1ｼｰﾄﾞ/基 ×2基 | UT | 1つの 容器の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| C1.20 | | 胴と鏡板との周溶接継手 | 体積 | 1つの 容器の 7.5% | 1ｼｰﾄﾞ/基 ×2基 | UT | 1つの 容器の 7.5% | A 7.5% | - | - | - | - | A 7.5% | - | |
| C2.21 | C-B | 管側出入口管台と管側胴との 溶接継手 | 体積及び 表面 | 管台数の 7.5% | 2箇所/基 ×2基 | UT PT | 管台数 の7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | A入口 | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号C1.30 C-A/C2.11, C2.22, C2.31, C2.32 C-B/C3.10 C-C/C4.10 C-D/F1.43 F-Aについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (1/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|----------------------------------|------|---|--------|------|------|----------|------------|--------|---------|--------|-----|-----|--------|-----|---------------|-------------------------------------|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | |
| | | | | | | | | - | 13回特4※1 | - | 14回 | | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | |
| C3.20 | C-C | 配管の受け支持部継手 余熱除去ポンプ入口ライン 余熱除去冷却器出口ライン 高温側低圧注入ライン 低温側低圧注入ライン 高温側高圧注入ライン 低温側高圧注入ライン 高圧注入ポンプ出口ライン 格納容器循環サブ出口ライン | 表面 | 7.5% | 4箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | 15回 | - | - | 17回 | (重大事故等クラス2機器) | | | |
| | | | 表面 | 7.5% | 17箇所 | PT | 7.5% (2箇所) | - | 1箇所 | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | | 表面 | 7.5% | 2箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | 1箇所 | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 表面 | 7.5% | 3箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 表面 | 7.5% | 4箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 表面 | 7.5% | 4箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 表面 | 7.5% | 4箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 表面 | 7.5% | 19箇所 | PT | 7.5% (2箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | 表面 | 7.5% | 4箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | 体積及び表面 | 7.5% | 4箇所 | UT PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| C5.11 | C-F | 配管の周厚溶接継手(超) | 表面 | 7.5% | 49箇所 | PT | 7.5% (4箇所) | - | - | - | 1箇所 | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | | 体積及び表面 | 7.5% | 57箇所 | UT PT | 7.5% (5箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 体積及び表面 | 7.5% | 26箇所 | UT PT | 7.5% (2箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | 体積及び表面 | 7.5% | 21箇所 | UT PT | 7.5% (2箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | 体積及び表面 | 7.5% | 31箇所 | UT PT | 7.5% (3箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | 表面 | 7.5% | 12箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 格納容器循環サブ出口ライン | 体積及び表面 | 7.5% | 2箇所 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 全箇所、格納容器貫通部のため検査不可 (重大事故等クラス2機器) | | |

(注) 項目番号C4.20 C-Dについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (2/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|---------------------------|------|-----------------------------------|--------|------|-------|------|------------|--------|---------|--------|-----|----|--------|-----|----------------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | |
| | | | | | | | | - | 13回特4※1 | - | 14回 | | - | 15回 | 16回 |
| C5.12 | | 配管の長手溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超) | 表面 | 7.5% | 14箇所 | PT | 7.5% (2箇所) | 1箇所 | - | - | 1箇所 | - | - | 17回 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 燃料取替用水タンク出口ライン | 表面 | 7.5% | 10箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | 1箇所 | | | | | | | |
| C5.21 | C-F | 格納容器再循環サンパ出口ライン | 体積及び表面 | 7.5% | 4箇所 | - | - | | | | | | | | 全面所、格納容器貫通部のため検査不可 (重大事故等クラス2機器) |
| | | 高温側高圧注入ライン | 表面 | 7.5% | 58箇所 | PT | 7.5% (5箇所) | 1箇所 | | | | | | 2箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| C5.21 | | 配管の周溶接継手 (呼び径50A以上、100A以下、肉厚5mm超) | 表面 | 7.5% | 43箇所 | PT | 7.5% (4箇所) | | | 1箇所 | | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 高圧注入ポンプ出口ライン | 表面 | 7.5% | 112箇所 | PT | 7.5% (9箇所) | 2箇所 | | | | | | 2箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| C5.30 | | 高圧注入ポンプ出口封水注入ライン | 表面 | 7.5% | 19箇所 | PT | 7.5% (2箇所) | | | 1箇所 | | | | 1箇所 | |
| | | 高温側高圧注入ライン | 表面 | 7.5% | 32箇所 | PT | 7.5% (3箇所) | 1箇所 | | | | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| C5.30 | | 溶接継手 | 表面 | 7.5% | 26箇所 | PT | 7.5% (2箇所) | | | | 1箇所 | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 低温側高圧注入ライン | 表面 | 7.5% | 20箇所 | PT | 7.5% (2箇所) | | | | | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号C5.22, C5.41, C5.42 C-Fについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (3/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|----------------------|--------------------|------|------|--------|-------------|--------|---------------|--------|------|----|------|-----|------|---|------|---|------|---------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | - | 16回 | 17回 | | | | | | | | | | | | |
| F1.21 | F-A | 支 持 構 造 物 | 余熱除去ポンプ 入口ライン | VT-3 | 7.5% | HS 4 | 36箇 所 | VT-3 | 7.5% (3箇所) | - | 13箇所 | - | 14箇所 | - | 15箇所 | - | 16箇所 | - | 17箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | | | |
| | | | | | | MS 5 | | | | 1箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | RH 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | SH 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 余熱除去ポンプ 出口ライン | VT-3 | 7.5% | HS 3 | 16箇 所 | VT-3 | 7.5% (2箇所) | - | 13箇所 | - | 14箇所 | - | 15箇所 | - | 16箇所 | - | 17箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | | | |
| | | | MS 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | RH 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | SH 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 余熱除去冷却器 入口ライン | VT-3 | 7.5% | MS 1 | 6箇 所 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | - | 13箇所 | - | 14箇所 | - | 15箇所 | - | 16箇所 | - | 17箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | | | |
| | | | RH 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | MS 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | RH 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 余熱除去冷却器 ハイパスライン | VT-3 | 7.5% | MS 4 | 6箇 所 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | - | 13箇所 | - | 14箇所 | - | 15箇所 | - | 16箇所 | - | 17箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | | | |
| | | | RH 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | AN 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | HS 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 余熱除去冷却器 出口ライン | VT-3 | 7.5% | MS 16 | 85箇 所 | VT-3 | 7.5% (7箇所) | - | 13箇所 | - | 14箇所 | - | 15箇所 | - | 16箇所 | - | 17箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | | | | | | |
| | | | RH 58 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | MS 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | RH 58 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (4/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|----------------------|---------------|------|----------------------|------|---------------|--------|-------------|--------|-----|--------|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | 備考 | | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | 16回 | 17回 | |
| Fl.21 | F-A | 高温側低圧注入ライン | VT-3 | 7.5% | AN 1 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | | | |
| | | | | | HS 2 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | MS 3 RH 6 SH 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | 低温側低圧注入ライン | VT-3 | 7.5% | AN 1 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | | | | HS 3 MS 1 RH 7 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 12箇所 | | | | | | | | | | | | |
| | | 高温側高圧注入ライン | VT-3 | 7.5% | RH 81 | VT-3 | 7.5% (7箇所) | 1箇所 | - | 2箇所 | - | - | - | - | 2箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | | | | 56箇所 | | | | | | | | | | | | |
| | | 低温側高圧注入ライン | VT-3 | 7.5% | AN 1 | VT-3 | 7.5% (5箇所) | - | - | - | 1箇所 | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | | | RH 55 | | | | | | | | | | | | |
| 高圧注入ポンプ 出口ライン | VT-3 | 7.5% | AN 9 | VT-3 | 7.5% (9箇所) | - | - | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | | |
| | | | MS 1 RH 99 | | | | | | | | | | | | | | |
| 高圧注入ポンプ 封水注入ライン | VT-3 | 7.5% | RH 26 | VT-3 | 7.5% (2箇所) | - | - | - | 2箇所 | - | - | - | - | - | 1箇所 | | |
| | | | 26箇所 | | | | | | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (5/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|---------------------------------|------|------|----------|------|---------------|--------|-------------|--------|-----|--------|-----|----|---------------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | 備考 | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | 16回 |
| F1.21 | F-A | 支 持 構 造 物 燃料取替用水タンク 出ロライン | VT-3 | 7.5% | 3 箇所 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | 1箇所 | - | - | - | 15回 | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | | VT-3 | 7.5% | 26 箇所 | VT-3 | 7.5% (2箇所) | | | | | | | | (当該設備数の内、24箇所についてのみ重大事故等クラス2機器) |
| | | | VT-3 | 7.5% | 2 箇所 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | | | | | | 1箇所 | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. 充てんポンプ

| 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|------|----------------|------|---------------|---------------|------|------------------------|----------------|-------------|---|--------|-----|---|--------|---|-----|----------|----------|---------------|
| 適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | 備考 | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | | 17回 | |
| C3.30 | C-C | 支持部材取付け溶接継手 | 表面 | 7.5% | 16箇所/台 ×3台 | PT | 7.5% (4箇所) | A 1箇所 B 1箇所 | - | - | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | C 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |
| C4.30 | C-D | ケーシングボルト | 体積 | 代表1台 の7.5% | 16本/台 ×3台 | UT | 代表1台 の7.5% (2本) | | | | | | | A2本 | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C6.10 | C-G | ポンプケーシング部の溶接継手 | 表面 | 代表1台 の7.5% | 1箇所/台 ×3台 | PT | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | | | A 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) |
| F1.43 | F-A | 支持構造物 ポンプ台板脚 | VT-3 | 代表1台 の7.5% | 1箇所/台 ×3台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | A 1箇所 | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

4. 余熱除去ポンプ

| 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|------|----------------|------|---------------|--------------|------|------------------------|----------|-------------|---|--------|----------|---|--------|---|-----|----|-----|---------------|
| 適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | 備考 | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | | 17回 | |
| C6.10 | C-G | ポンプケーシング部の溶接継手 | 表面 | 代表1台 の7.5% | 2箇所/台 ×2台 | PT | 代表1台 の7.5% (1箇所) | A 1箇所 | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| F1.43 | F-A | 支持構造物 ポンプ台板脚 | VT-3 | 代表1台 の7.5% | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | A 1箇所 | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号C3.30 C-C/C4.30 C-Dについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

5. 弁

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画（10カ年） | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|--------------------------|------|---|------|------------------------|--------------|------|------------------------|--------|---------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | |
| | | | | | | | | - | 13回特4※1 | - | 14回 | | - | 15回 | 16回 | 17回 | | |
| F1.43 | F-A | 高圧注入ポンプ出口 封水注入ラインA (3V-SI-026A) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 2箇所/台 ×1台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | - | - | - | - | - | - | 1箇所 | | | | |
| | | 高圧注入ポンプ出口 封水注入ラインB (3V-SI-026B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 2箇所/台 ×1台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | 1箇所 | | | | |
| | | 余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCY-603, 613) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 2箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | 1箇所 | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | 1箇所 | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 2箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | 1箇所 | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | 1箇所 | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 2箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 格納容器再循環サブ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 格納容器再循環サブ 出口バイパスライン (3V-SI-092) | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | 1箇所/台 ×1台 | VT-3 | 代表1台 の7.5% (1箇所) | | | | | | | | | | 1箇所 | (重大事故等クラス2機器) |

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. クラス2機器漏えい検査 (1/5)

| 項目番号 | | カテゴリ | 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | 備考 | | | | |
|-------|-------|--------|----------------------------------|----------------------|--------------------|---------|---|--------|-----|-----|--------|-----|-----|---------------|
| システム名 | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | |
| | | | | | - | 13回特4※1 | - | - | 14回 | 15回 | - | 16回 | 17回 | |
| C7.30 | C7.70 | 一次冷却系統 | 加圧器逃がしタンク 補給水ライン | VT-2 | 運行圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | | | | | | | ○ | | |
| C7.10 | C7.30 | | 抽出ライン(1) | VT-2 | | | | ○ | | | | | | |
| C7.70 | C7.10 | | 抽出ライン(2) | VT-2 | | | | ○ | | | | | | |
| C7.10 | C7.30 | | 体積制御タンク入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.70 | C7.30 | | 体積制御タンク及び 出入口ライン | VT-2 | | ○※2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.10 | C7.30 | | 充てんポンプ3A出口ライン | VT-2 | | | | | | ○ | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.70 | C7.50 | | 充てんポンプ3B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 | C7.70 | | 充てんポンプ3C出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.10 | C7.30 | | 充てん及び封水注入ライン | VT-2 | | | | | | ○ | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.70 | C7.10 | | ほう酸混合器及び出入口 ライン | VT-2 | | | | | | | | ○ | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 | C7.70 | | ほう酸ポンプ3A入口ライン | VT-2 | | ○ | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.10 | C7.30 | | ほう酸ポンプ3B入口ライン | VT-2 | | ○ | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.70 | C7.30 | | ほう酸ポンプ3A出口ライン | VT-2 | | ○ | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.10 | C7.30 | | ほう酸ポンプ3B出口ライン | VT-2 | | ○ | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.70 | C7.30 | | ほう酸ポンプ3B出口ライン | VT-2 | | ○ | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 | C7.70 | | 一次冷却材ポンプ 封水戻りライン | VT-2 | | | | | | ○ | | | | (重大事故等クラス2機器) |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (2/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | 備考 | | | | |
|----------------------------------|------|----------------------|---------------------------|------|--------|---------|--------|----|--------|-----|-----|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 系統名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | | |
| | | | | | - | 13回特4※1 | - | | - | 14回 | 15回 | 16回 |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.50 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1) | VT-2 | | ○※2 | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2) | VT-2 | | ○※2 | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.50 C7.70 | | 安全注入系統 | 高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | 蓄圧タンク及びび出入口ライン | VT-2 | | ○※2 | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 蓄圧タンク水張りライン | VT-2 | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | | 蓄圧タンク窒素充てんライン | VT-2 | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 燃料取替用水タンク 出口ライン | VT-2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 余熱除去ポンプ3A入口ライン | VT-2 | | | ○ | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | 余熱除去系統 | 余熱除去ポンプ3B入口ライン | VT-2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | | 余熱除去ポンプ3A出口ライン | VT-2 | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | | 余熱除去ポンプ3B出口ライン | VT-2 | | | | | | ○ | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン | VT-2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | 格納容器スプレイ系統 | 格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (4/5)

| 項目番号 | | カテゴリ | 適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | 備考 | | |
|-------|-------|------|----------------------------|--|------|--------------------|----------------------|---|--------|-----|--------|-----|-----|-----|---------------|
| | | | | | | | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | 13回 | - | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | |
| | | | | | | | 特4※1 | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 蒸気発生器3A ブローダウンライン | VT-2 | 運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 蒸気発生器3B ブローダウンライン | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 蒸気発生器3C ブローダウンライン | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 蒸気発生器3A ブローダウンサンプリングライン | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 蒸気発生器3B ブローダウンサンプリングライン | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 蒸気発生器3C ブローダウンサンプリングライン | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン | VT-2 | | | ○ | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 | C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット 3C, 3D冷却水供給ライン | VT-2 | | | | | | | ○ | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3A 冷却水戻りライン | VT-2 | | | ○ | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 | C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3B 冷却水戻りライン | VT-2 | | | ○ | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 | C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3C 冷却水戻りライン | VT-2 | | | | | | | ○ | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3D 冷却水戻りライン | VT-2 | | | | | | | ○ | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 制御棒クラス駆動装置冷却ユニット 及び余剰抽出冷却器冷却水 供給、戻りライン | VT-2 | | | | | | | ○ | | | |
| C7.30 | C7.70 | | | 一次冷却材ポンプ 冷却水供給、戻りライン | VT-2 | | | | | | | ○ | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. クラス2機器漏えい検査 (5/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|----------------------|-----------------------------|------|---------|---|--------|----|-----|--------|-----|-----|-----|--|--|--|--|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | システム名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | |
| | | | | | 13回特4※1 | - | - | | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 空調用冷水設備系統 | 制御機位置指示装置凝縮冷却エント冷却水供給、戻りライン | VT-2 | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 液体廃棄物処理系統 | 格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器サンプポンプ出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 燃料取替用水系統 | 原子炉キャビティ浄化入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 原子炉キャビティ浄化出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 原子炉補給水系統 | 原子炉補給水ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 水消火設備系統 | 消火用水ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 制御用空気系統 | 制御用空気3A供給ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| C7.30 C7.70 | | | 制御用空気3B供給ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 所内用空気系統 | 所内用空気ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.70 | | 換気空調設備系統 | 安全補機室排気ファン3A・3B出入口弁 | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.70 | | | 安全補機室排気フィルタユニットドレン弁 | VT-2 | | | | | | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (1/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|---------------------------|------|--------------------------|------|----------------|------|------|---------------|--------|-------------|-----|--------|-----|---|--------|-----|-----|-----|-----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | |
| D1.20 | D-A | 原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン | VT-1 | 7.5% | 15箇所 | VT-1 | 7.5% (2箇所) | - | - | - | 15回 | - | - | 16回 | 17回 | 1箇所 | | |
| | | 原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン | VT-1 | 7.5% | 9箇所 | VT-1 | 7.5% (1箇所) | | | | | | | 1箇所 | | | | |
| | | 原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン | VT-1 | 7.5% | 15箇所 | VT-1 | 7.5% (2箇所) | | | 1箇所 | | 1箇所 | | | | | | |
| | | 原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン | VT-1 | 7.5% | 13箇所 | VT-1 | 7.5% (1箇所) | | | | 1箇所 | | | | | | | |
| | | 海水ポンプA, B出口ライン | VT-1 | 7.5% | 28箇所 | VT-1 | 7.5% (3箇所) | | | | | 1箇所 | | | 1箇所 | | | |
| | | 海水ポンプC, D出口ライン | VT-1 | 7.5% | 31箇所 | VT-1 | 7.5% (3箇所) | | | | | | | | | 1箇所 | | |
| | | ディーゼル発電機A 冷却水ライン (海水) | VT-1 | 7.5% | 7箇所 | VT-1 | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | | | 1箇所 | |
| | | ディーゼル発電機B 冷却水ライン (海水) | VT-1 | 7.5% | 7箇所 | VT-1 | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | | | | 1箇所 |
| | | | | 配管の支持部材取付け溶接継手 | | | | | | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (2/2)

| 項目番号 | カテゴリ | 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | | | 備考 |
|-------|------|---------------------------|--------------------------|------|---------------|-----------------|------|----------------|----------------------|-------------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--|----|
| | | | | | | | | | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | | | | | |
| F1.31 | F-A | | 原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン | VT-3 | 7.5% 101箇所 | RH 96 AN 5 | VT-3 | 7.5% (8箇所) | - | 2箇所 | - | 14回 | - | 2箇所 | 2箇所 | 1箇所 | | | | | |
| | | | | VT-3 | 7.5% 76箇所 | RH 73 AN 3 | VT-3 | 7.5% (6箇所) | | 1箇所 | | | | | | | | | | | |
| | | | 原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン | VT-3 | 7.5% 106箇所 | RH 101 AN 5 | VT-3 | 7.5% (8箇所) | | 2箇所 | | | | | | 2箇所 | 1箇所 | 2箇所 | | | |
| | | | | VT-3 | 7.5% 82箇所 | RH 76 AN 6 | VT-3 | 7.5% (7箇所) | | | | 2箇所 | 1箇所 | | | 2箇所 | 1箇所 | 1箇所 | | | |
| | | | 海水ポンプA, B出口ライン | VT-3 | 7.5% 128箇所 | RH 107 AN 21 | VT-3 | 7.5% (10箇所) | | | | 3箇所 | | | | 2箇所 | 2箇所 | 1箇所 | | | |
| | | | | VT-3 | 7.5% 109箇所 | RH 90 AN 19 | VT-3 | 7.5% (9箇所) | | | | | | | | | 1箇所 | 2箇所 | 1箇所 | | |
| | | | ディーゼル発電機A 冷却水ライン (海水) | VT-3 | 7.5% 32箇所 | RH 25 AN 7 | VT-3 | 7.5% (3箇所) | | | | 1箇所 | | | | | 1箇所 | | | | |
| | | | | VT-3 | 7.5% 32箇所 | RH 25 AN 7 | VT-3 | 7.5% (3箇所) | | | | 1箇所 | | | | | 1箇所 | | 1箇所 | | |
| | | | ディーゼル発電機B 冷却水ライン (海水) | VT-3 | 7.5% 32箇所 | RH 25 AN 7 | VT-3 | 7.5% (3箇所) | | | | 1箇所 | | | | | 1箇所 | | | | |
| | | | | VT-3 | 7.5% 32箇所 | RH 25 AN 7 | VT-3 | 7.5% (3箇所) | | | | 1箇所 | | | | | 1箇所 | | 1箇所 | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. クラス3機器漏えい検査

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | 備考 | | | | | | | | | |
|---------------------------|------------------|----------------------|------------------------|------|--------------------|--------|---------|----|--------|-----|---|--------|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | システム名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | |
| | | | | | | - | 13回特4※1 | - | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | | | |
| D2.30 | | | 原子炉補機冷却水ポンプA, B入口ライン | VT-2 | 運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | | |
| D2.30 | | | 原子炉補機冷却水ポンプC, D入口ライン | VT-2 | | | | | | | | ○ | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| D2.10 | | 原子炉補機冷却水システム | 原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | ○ | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| D2.30 | | | 原子炉補機冷却水ポンプA, B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| D2.10 | | 原子炉補機冷却海水システム | 海水ポンプA, B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| D2.30 | | | 海水ポンプC, D出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| D2.10 | D-B | 使用済燃料ピット水浄化冷却システム | 使用済燃料ピットポンプ入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | |
| D2.30 | | | 使用済燃料ピットポンプA出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | | | 使用済燃料ピットポンプB出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | |
| D2.30 | | | 使用済燃料ピット冷却器C出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | | | 制御用空気圧縮機A出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| D2.30 | | | 制御用空気圧縮機B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) |
| D2.10 | ディーゼル発電機始動空気システム | ディーゼル発電機始動空気ライン | ディーゼル発電機3A | VT-2 | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | | |
| D2.30 | | | ディーゼル発電機3B | VT-2 | | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| D2.10 | | | | | VT-2 | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| D2.30 | | | | | VT-2 | | | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

1. 原子炉容器

| 項目番号 | | 適用文書： NRA文書（※1） | | 伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年） | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | |
|------|--|---|------|---------------------|-----|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---|
| | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - | | とび せび 1 フ 1 エ 0 エ 0 の A の 以 上 溶 接 の 継 手 | BMW | 100% | 3箇所 | BMW | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | 300系Ni基合金使用部位であるが、第14回定期検査において検出防止のき裂を想定したうたで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策（ECT+DP）を講じたため、第15回定期検査以降、検査対象外とする。（重大事故等クラス2機器） |
| - | | 冷却材入口管台とセーフ エンドとの溶接継手 | BMW | 100% | 3箇所 | BMW | 100% | A | B | | | | | | | | | | | | | | | 300系Ni基合金使用部位であるが、第14回定期検査において検出防止のき裂を想定したうたで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策（ECT+DP）を講じたため、第15回定期検査以降、検査対象外とする。（重大事故等クラス2機器） |
| - | | 冷却材出口管台とセーフ エンドとの溶接継手 | BMW | 100% | 3箇所 | BMW | 100% | A | C | | | | | | | | | | | | | | | 300系Ni基合金使用部位であるが、第14回定期検査において検出防止のき裂を想定したうたで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策（ECT+DP）を講じたため、第15回定期検査以降、検査対象外とする。（重大事故等クラス2機器） |
| - | | 原子炉容器の上蓋表面 （原子炉容器の上蓋管台廻り 360°を含む） | BMW | 100%/定検 | 1式 | BMW | 100%/定検 | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | <100%> | 第14回定期検査原子炉容器上蓋取替工事において690系Ni基合金化されたため、検査対象外とする。（重大事故等クラス2機器） |
| - | | 原子炉容器の底部表面 （原子炉容器の底部管台廻り 360°を含む） | BMW | 100%/5年 | 1式 | BMW | 100%/5年 | | | | | | | | | | | | | | | | | 307 定検 ISI にてBMW実施のため定期検査以内でのBMW検査免除 （重大事故等クラス2機器） |

※1 NRA文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日 原子力規制委員会決定）最終改正：原規技発第1906051号（令和元年6月5日 原子力規制委員会決定））に従う。

※2 維持規格 IA-2310 (4) の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格 IA-2310 (2) の規定により、検査間隔延長を適用

< > は旧設備の検査実績を示す。

2. 加圧器

| 適用文書： NRA文書（※1） | | 伊方発電所第3号機検査計画（10カ年） | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------|---------------------|------|---------|-----|------|---------|--------|----|-----|--------|----|-----|--------|-------|-------|--|--|--|--|--|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回※3 | | | | | | | |
| | | サージライン用管台 | BMW | 100%/5年 | 1箇所 | BMW | 100%/5年 | <1箇所> | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | スプレイルライン用管台 | BMW | 100%/5年 | 1箇所 | BMW | 100%/5年 | <1箇所> | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 溶接の逃がし弁用管台 | BMW | 100%/5年 | 1箇所 | BMW | 100%/5年 | <1箇所> | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 安全弁用管台 | BMW | 100%/5年 | 3箇所 | BMW | 100%/5年 | <3箇所> | | | | | | | | | | | | | | | |

< >は旧設備の検査実績を示す。

※1 NRA文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日 原子力規制委員会決定）最終改正：原規技発第1906051号（令和元年6月5日 原子力規制委員会決定））に従う。

※2 なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破断を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について（内規）」（平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号）に従う。

※3 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

3-9定検 加圧器管台廻り修繕工事において380系N1基台変化したため、検査対象外（重大事故等シラス2機器）

3. 蒸気発生器

| 適用文書： NRA文書（※1） | | 伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年） | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|-----------------|------|----------------------------------|------|------|--------------|------|------|--------|------------|--------|-----|-----|-----------|-----|-----------|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | |
| | | | | | | | | 8回 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回 ※2 | 14回 | 15回 ※3 | |
| - | - | 呼び出しフェンドの冷却材出入口管台とセーフティハンドとの溶接継手 | BMW | 100% | 2箇所/基 ×3基 | BMW | - | | A入口 A出口 | | | | | | | 300系N1基台金使用部位であるが、第11回点検において検出段層のき裂を想定したう よびに力腐食抑制防止の有効性が実証され た対策(FCI+ISF)を施したため、第12回定 検以降、検査対象外とする。 (重大事故等クラス2機器) |

※1 NRA文書「美用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定) 最終改正：原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破断における長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※2 維持規格 IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格 IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画

1. 配管

| 項目番号 | カテゴリ | 適用文書： NRA文書（※1） | | | | | 伊方発電所第3号機検査計画（10カ年） | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|------|------|-----------------|------|------|------|------|---------------------|--------|--------------|-------|--------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|------------------------------|
| | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 検査数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 12回 | 13回※2 | 14回※2 | 15回 | 16回 | 17回 | | 18回 | | | | | | |
| - | - | 充てんライン溶接継手 | 体積 | 25% | 31箇所 | UT | 25% (8箇所) | <3箇所> | 1箇所 <1箇所> | 14回※2 | - | 15回 | - | 16回 | 2箇所 | 1箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 抽出ライン溶接継手 | 体積 | 25% | 24箇所 | UT | 25% (6箇所) | <1箇所> | 1箇所 | | | | | 3箇所 | 2箇所 | | | | | | |
| | | 再生熱交換器連絡管溶接継手 | 体積 | 25% | 36箇所 | UT | 25% (9箇所) | | 3箇所 | | | | | | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 | | (充てんライン連絡管のみ 重大事故等クラス2機器) |

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日 原子力規制委員会決定）最終改正：原規技発第1906051号（令和元年6月5日 原子力規制委員会決定））に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について（内規）」（平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号）に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

原子炉格納容器

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画（10カ年） | | | | | | | 備考 | | | | | | | | |
|---------------------------|------|---------------------|------|------|--------------|------|--------------|--------|-------------|--------|--------|---|-----|---|-----|-----|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | 第3検査時期 | | | | | | |
| E8.10 | E-G | 圧力保持用ボルト締め付け部 | VT-4 | 25% | 1箇所 (72組) | VT-4 | 25% (18組) | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | |

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。

項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器 (1/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|---------------------------|------|------------------------|--------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B2.111 | B-B | 上部胴と下部胴との周溶接継手 | 体積 | 5% |
| | | 下部胴とトランジションリングとの周溶接継手 | 体積 | 5% |
| | | トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手 | 体積 | 5% |
| B3.105 | B-C | 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手 | 体積 | 100% |
| | | 冷却材入口管台と胴との溶接継手 | 体積 | 100% |
| B3.10 | B-D | 冷却材出口管台と胴との溶接継手 | 体積 | 100% |
| | | 冷却材入口管台内面の丸みの部分 | 体積 | 100% |
| B3.20 | B-D | 冷却材出口管台内面の丸みの部分 | 体積 | 100% |
| | | 冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手 | 体積及び表面 | 100% |
| B5.10 | B-F | 冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手 | 体積及び表面 | 100% |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

1. 原子炉容器 (2/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|---------------------------|----------------|-------------------------|--------|---------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B6.10 | B-G-1 | 上蓋用ナット | VT-1 | 100% |
| B6.30 | B-G-1 | スタッドボルト | 体積 | 100% |
| B6.40 | B-G-1 | 胴フランジネジ穴のネジ部 | 体積 | 100% |
| B6.50 | B-G-1 | 上蓋用ワッシャ | VT-1 | 100% |
| B7.10 | B-G-2 | T/Cハウジングの下部クランプ用ボルト、ナット | VT-1 | 25% |
| B14.10 | B-0 | 制御棒駆動ハウジング上部の溶接継手 | 体積又は表面 | 最外周の25% |
| | | 制御棒駆動ハウジング下部の溶接継手 | 体積又は表面 | 最外周の25% |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 | 25% |
| G1.10 | G-P-1 | 原子炉容器の内部 | VT-3 | 7.5% |
| G1.40 | | 原子炉容器の内部取付け物 | VT-3 | 7.5% |
| G1.40 G1.50 | G-P-1 G-P-2 | 上部炉心支持構造物 | VT-3 | 7.5% |
| | | 下部炉心支持構造物 | VT-3 | 7.5% |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (1/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 | |
|---------------------------|-----------|--------------------------|-----------|------------|---------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | |
| B2.11 | B-B | 上部鏡板と上部胴との周溶接継手 | 体積 | 5% | |
| B2.12 | | 下部胴と下部鏡板との周溶接継手 | 体積 | 5% | |
| B2.13 | | 上部胴の長手溶接継手 下部胴の長手溶接継手 | 体積 体積 | 10% 10% | |
| B3.30 | B-D | 上部胴と下部胴との周溶接継手 | 体積 | 5% | |
| B3.40 | | 管台と溶接継手との | サージライン用管台 | 体積 | 管台数の25% |
| | | スプレイライン用管台 | | | |
| | | 逃がし弁用管台 | | | |
| | 安全弁用管台 | | | | |
| 管台内面の部分丸み | サージライン用管台 | 体積 | 管台数の25% | | |
| スプレイライン用管台 | | | | | |
| 逃がし弁用管台 | | | | | |
| 安全弁用管台 | | | | | |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (2/2)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|---------------------------|-------|----------------------|--------|---------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B5.40 | B-F | 管台とセーフティ溶接継手の溶接部 | 各種及び表面 | 管台数の25% |
| | | サージライン用管台 | | |
| | | スプレイライン用管台 | | |
| | | 逃がし弁用管台 | | |
| | | 安全弁用管台 | | |
| B7.20 | B-G-2 | マンホールの取付けボルト | VT-1 | 25% |
| B8.20 | B-H | 支持スカート溶接継手 | 表面 | 7.5% |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 | 25% |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

3. 蒸気発生器

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|-------|----------------------|-----------|-----------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B2. 40 | B-B | 管板と水室鏡板との周溶接継手 | 体積 | 代表1基の25% |
| B3. 60 | B-D | 冷却材出入口管台内面の丸みの部分 | 体積 | 代表1基の25% |
| B5. 70 | B-F | 冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 | 体積及び表面 | 代表1基の25% |
| | | | RCT (内表面) | |
| B7. 30 | B-G-2 | 冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手 | 体積及び表面 | 代表1基の25% |
| | | | RCT (内表面) | |
| B8. 30 | B-H | 冷却材出入口側マンホールの取付けボルト | VT-1 | 代表1基の7.5% |
| F1. 41 | F-A | 支持部材の溶接継手 | 表面 | 代表1基の25% |
| | | 支持構造物 | VT-3 | |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (1/5)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|------|----------------------|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B9.11 | B-J | 一次冷却材管 | 体積 | 25% |
| | | 加圧器サージライン | 体積 | 25% |
| | | 加圧器安全弁ライン | 体積 | 25% |
| | | 加圧器逃がしライン | 体積 | 25% |
| | | 余熱除去ポンプ入ロライン | 体積 | 25% |
| | | 蓄圧注入ライン | 体積 | 25% |
| | | 高温側低圧注入ライン | 体積 | 25% |
| | | 低温側低圧注入ライン | 体積 | 25% |
| | | 高温側高圧注入ライン | 体積 | 25% |
| | | 配管の周溶接継手 (呼び径100A以上) | | |
| クラス1 機器供用期間中検査で管理 | | | | |

4. 配管 (2/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 | |
|---------------------------|------|---|------------------------|------------|-----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | |
| B9.21 | B-J | 配管の 100A未満 の溶接 継手 (呼び径 100A以上) | 一次冷却材管 | 表面 | 25% |
| | | 母管と管台との溶接継手の呼び径100A以上) | 加圧器逃がしライン | 表面 | 25% |
| | | | 充てんライン | 表面 | 25% |
| | | | 高温側高圧注入ライン | 表面 | 25% |
| | | | 低温側高圧注入ライン | 表面 | 25% |
| B9.31 | B-J | 母管と管台との溶接継手の呼び径100A以上) | 一次冷却材管 | 体積 | 25% |
| | | 母管と管台との溶接継手の呼び径100A未満) | 一次冷却材管 | 表面 | 25% |
| B9.32 | B-J | | 母管と管台との溶接継手の呼び径100A未満) | 高温側低圧注入ライン | 表面 |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (3/5)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|------|----------------------|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B9.40 | B-J | 高温側高圧注入ライン | 表面 | 25% |
| | | 低温側高圧注入ライン | 表面 | 25% |
| F1.10 | F-A | ソケット溶接継手 | | |
| | | 支持構造物 | VT-3 | 25% |
| | | 加圧器サージライン | VT-3 | 25% |
| | | 加圧器速がしライン | VT-3 | 25% |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (4/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|---------------------------|------|----------------------|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| F1.10 | F-A | 支 | VT-3 | 25% |
| | | 持 | VT-3 | 25% |
| | | 構 | VT-3 | 25% |
| | | 造 | | |
| | | 物 | | |
| クラス1 機器供用期間中検査で管理 | | | | |

4. 配管 (5/5)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|------|----------------------|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| F1.10 | F-A | 高温側低圧注入ライン | VT-3 | 25% |
| | | 低温側低圧注入ライン | VT-3 | 25% |
| | | 高温側高圧注入ライン | VT-3 | 25% |
| | | 低温側高圧注入ライン | VT-3 | 25% |
| 支 持 構 造 物 | | | | |
| クラス1 機器供用期間中検査で管理 | | | | |

5. 一次冷却材ポンプ

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|-------|----------------------|-------------------|-------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 検査範囲 | |
| B6.180 | | 主フランジボルト | 体積 代表1台の25% | クラス1 機器供用期間中検査で管理 |
| B6.190 | B-G-1 | 主フランジ表面 (開放時) | VT-1 代表1台の25% | |
| B6.200 | | 主フランジナット及びワッシャ | VT-1 代表1台の25% | |
| B12.20 | B-L-2 | ケーシングの内表面 | VT-3 代表1台の100% | |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 | VT-3 代表1台の25% | |

6. 弁 (1/3)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|------|----------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B7.70 | B-G-2 | 加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 加圧器逃がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 加圧器逃がしライン(2) (3PCV-452A, 452B) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 充てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | 高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C) | VT-1 | 代表1台の25% |
| | | クラス1 機器供用期間中検査で管理 | | |

6. 弁 (2/3)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|------|-----------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B12.50 | B-M-2 | 弁 | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 本体 | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 体内 | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 表面 | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 蓄圧注入ライン | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 高温側低圧注入ライン | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 余熱除去ポンプ吸入ライン (3PCV-420, 430) | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C) | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B) | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C) | VT-3 | 同一グループで1台 |
| | | 高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C) | VT-3 | 同一グループで1台 |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

6. 弁 (3/3)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|------|-------------------------------------|------|--------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| F1.41 | F-A | 加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) | VT-3 | 代表1台 の25% |
| | | 加圧器逃がしライン (1) (3V-RC-054A, 054B) | VT-3 | 代表1台 の25% |
| | | 加圧器逃がしライン (2) (3PCV-452A, 452B) | VT-3 | 代表1台 の25% |
| | | 支持構造物 | | |
| クラス1 機器供用期間中検査で管理 | | | | |

7. クラス1機器漏えい検査

| 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|----------------------------------|------|----------------------|------|--------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B15.10 | B-P | 原子炉容器 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% |
| B15.20 | B-P | 加圧器 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% |
| B15.30 | B-P | 蒸気発生器 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% |
| B15.50 | B-P | 配管 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% |
| B15.60 | B-P | 一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% |
| B15.70 | B-P | 弁 圧力保持範囲 | VT-2 | 漏えい 試験時 100% |

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画
(クラス1機器供用期間中検査(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査)範囲)

1. 配管

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|---------------------------|------|--|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B9. 11 | B-J | 配管の周溶接継手(呼び径100A以上) 余熱除去ポンプ入ロライン | 体積 | 25% |
| B9. 21 | B-J | 配管の周溶接継手(呼び径100A未満) 余熱除去ポンプ入ロライン | 表面 | 25% |
| B9. 32 | B-J | 母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満) 余熱除去ポンプ入ロライン | 表面 | 25% |
| B10. 20 | B-K | 配管の支持部材取付け溶接継手 余熱除去ポンプ入ロライン | 表面 | 7.5% |
| F1. 10 | F-A | 支持構造物 余熱除去ポンプ入ロライン | VT-3 | 25% |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

2. 弁

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|---------------------------|-------|--|------|-----------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| B7. 70 | B-G-2 | 圧力保持用ボルト・ナット 余熱除去ポンプ入ロライン(3V-RH-002A, 002B) | VT-1 | 代表1台の25% |
| B12. 50 | B-M-2 | 弁本体内表面 余熱除去ポンプ入ロライン(3V-RH-002A, 002B) | VT-3 | 同一グループで1台 |
| F1. 41 | F-A | 支持構造物 余熱除去ポンプ入ロライン(3V-RH-002A, 002B) | VT-3 | 代表1台の25% |

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器

| 項目番号 | | カゴリ | | 検査対象箇所 | | 検査方法 | 検査範囲 | 伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年） | | 備考 |
|------|--|-----|--|---|----------------------|------|---------|---------------------|--|----|
| - | | - | | 呼び径100mm以上の溶接継手と | 冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手 | BMV | 100% | | | |
| | | | | | 冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手 | | | | | |
| - | | - | | 原子炉容器の上蓋表面 (原子炉容器の上蓋管台廻り 360°を含む) | | BMV | 100%/定検 | | | |
| | | | | 原子炉容器の底面 (原子炉容器の底部管台廻り 360°を含む) | | | | | | |

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理

2. 加圧器

| 適用文書： NRA文書 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|-------------|------|----------------------|------|---------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| — | — | サージライン用管台 | BMV | 100%/5年 |
| | | スプレイライン用管台 | BMV | 100%/5年 |
| | | 逃がし弁用管台 | BMV | 100%/5年 |
| | | 安全弁用管台 | BMV | 100%/5年 |

クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理

3. 蒸気発生器

| 項目番号 | | カゴリ | | 適用文書： NRA文書 | | | 備考 |
|--------|--|---------------------------|------|----------------------|--------------------------|--|----|
| 検査対象箇所 | | 検査方法 | 検査範囲 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | |
| 1 | 呼び巻 セーフ 110 エンド の溶接 継手と | 冷却材出入口管台とセーフ エンドとの溶接継手 | BMV | - | クラス1 機器Ni 基金金使用部位特別検査で管理 | | |

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

1. 配管

| 項目番号 | | 適用文書： NRA文書 | | | 伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年） | | 備考 |
|------|---------------|-------------|------|------------------------|---------------------|--|----|
| カゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | | | | |
| - | 充てんライン溶接継手 | 体積 | 25% | クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理 | | | |
| - | 再生熱交換器連絡管溶接継手 | 体積 | 25% | | | | |

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉補機冷却水ポンプ

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---------------------------|-----|----------------------|------|-----------|--------------|------|--------------------|--------|-------------|--------|----------|----|--------|---|-----|-----|--|
| | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| 項目番号 | F-A | 支持構造物 ポンプ台板脚 | VT-3 | 代表1台の7.5% | 1箇所/台 ×4台 | VT-3 | 代表1台の7.5% (1箇所) | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | |
| F1.43 | | | | | | | | | | | A 1箇所 | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 格納容器スプレイポンプ

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---------------------------|-----|----------------------|------|-----------|--------------|------|--------------------|--------|-------------|--------|----------|----|--------|---|-----|-----|--|
| | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| 項目番号 | F-A | 支持構造物 ポンプ支持脚 | VT-3 | 代表1台の7.5% | 1箇所/台 ×2台 | VT-3 | 代表1台の7.5% (1箇所) | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | |
| F1.43 | | | | | | | | | | | A 1箇所 | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. 充てんポンプ

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---------------------------|-----|----------------------|------|-----------|-----|------|------|--------|--|--------|--|----|--------|--|--|--|--|
| | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| 項目番号 | C-C | 支持部材取付け溶接継手 | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | | |
| C4.30 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C6.10 | C-G | ポンプケーシング部の溶接継手 | 表面 | 代表1台の7.5% | | | | | | | | | | | | | |
| F1.43 | F-A | 支持構造物 ポンプ台板脚 | VT-3 | 代表1台の7.5% | | | | | | | | | | | | | |

クラス2 機器供用期間中検査で管理

7. 余熱除去冷却器

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|------|----------------------|--------|------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| C1.10 | | 胴とフランジとの周溶接継手 | 体積 | 1つの容器の7.5% |
| C1.20 | C-A | 胴と鏡板との周溶接継手 | 体積 | 1つの容器の7.5% |
| C2.21 | C-B | 管側出入口管台と管側胴との溶接継手 | 体積及び表面 | 管台数の7.5% |

クラス2機器供用期間中検査で管理

8. 配管 (1/6)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | |
|--------------------------|------|----------------------|------|------|-----|------|---------------|--------|-------------|--------|-----|----|--------|---|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - |
| C3.20 | C-C | 配管の配取 | 表面 | 7.5% | 2箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | 1箇所 | | | | | | |
| | | 配管の配付 | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | |
| クラス2 機器供用期間中検査で管理 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 配管の配付け | 表面 | 7.5% | 2箇所 | PT | 7.5% (1箇所) | 1箇所 | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (2/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|---------------------------|------|---|------------|------|-------------------|------|----------|---------------|-------------|---|--------|----|-----|--------|-----|-----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 |
| C5.11 | C-F | 余熱除去ポンプ 入口ライン (1) | 体積及び 表面 | 7.5% | クラス2 機器供用期間中検査で管理 | 6箇所 | UT PT | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | 1箇所 |
| | | 余熱除去ポンプ 入口ライン (2) | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 余熱除去冷却器 出口ライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 高温側低圧注入ライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 低温側低圧注入ライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 高圧注入ポンプ 出口ライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 燃料取替用水タンク 出口ライン | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 格納容器再循環サンプ 出口ライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 主蒸気逃がしライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 余熱除去ポンプ 入口ライン | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| C5.12 | C-F | 燃料取替用水 タンク出口ライン | 表面 | 7.5% | クラス2 機器供用期間中検査で管理 | 6箇所 | UT PT | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | 1箇所 |
| | | 格納容器再循環 サンプ出口ライン | 体積及び 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| | | 高温側高圧注入 ライン | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| C5.21 | C-F | 配管の周溶 接継手(呼 び径 50A以 上 100A以 下、肉厚 5mm超) | 表面 | 7.5% | クラス2 機器供用期間中検査で管理 | 6箇所 | UT PT | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | |
| | | 低温側高圧注入 ライン | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |
| C5.30 | C-F | 高温側高圧注入ライン | 表面 | 7.5% | クラス2 機器供用期間中検査で管理 | 6箇所 | UT PT | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | |
| | | 低温側高圧注入ライン | 表面 | 7.5% | | | | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (3/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|----------------------------------|------|----------------------|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| F1.21 | F-A | 余熱除去ポンプ 入口ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 余熱除去ポンプ 出口ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 余熱除去冷却器 入口ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 余熱除去冷却器 バイパスライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 余熱除去冷却器 出口ライン | VT-3 | 7.5% |
| 支 持 構 造 物 | | | | |
| クラス2 機器供用期間中検査で管理 | | | | |

8. 配管 (4/6)

| 適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | 備考 |
|--------------------------|------|----------------------|------|------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 |
| F1.21 | F-A | 高温側低圧注入ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 低温側低圧注入ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 高温側高圧注入ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 低温側高圧注入ライン | VT-3 | 7.5% |
| | | 高圧注入ポンプ 出口ライン | VT-3 | 7.5% |
| 支 持 構 造 物 | | | | |
| クラス2機器供用期間中検査で管理 | | | | |

8. 配管 (5/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | |
|---------------------------|------|-----------------------------|------|------|----------|------|---------------|--------|-------------|--------|-----|----|--------|---|-----|-----|--|--|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | |
| | | | | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | | | | |
| F1.21 | F-A | 燃料取替用水タンク 出口ライン | VT-3 | 7.5% | 29 箇所 | VT-3 | 7.5% (3箇所) | | | | | | | | | | | | | |
| | | 格納容器再循環サンプ 出口ライン | VT-3 | 7.5% | 42 箇所 | VT-3 | 7.5% (4箇所) | | | | | | | | | | | | | |
| | | 格納容器再循環サンプ 出口パイパスライン | VT-3 | 7.5% | 6 箇所 | VT-3 | 7.5% (1箇所) | | | | | | | | | | | | | |
| | | アニュラス空気再循環 ダクト | VT-3 | 7.5% | 21 箇所 | VT-3 | 7.5% (2箇所) | | | | | | | | | | | | | |
| | | 格納容器再循環ユニット 出入ロライン (CV内) | VT-3 | 7.5% | 51 箇所 | VT-3 | 7.5% (4箇所) | | | | | | | | | | | | | |
| | | 原子炉補機冷却水戻り母管 | VT-3 | 7.5% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン | VT-3 | 7.5% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 格納容器再循環ユニット 出入ロライン (CV外) | VT-3 | 7.5% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

クラス2 機器供用期間中検査で管理

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|---------------------------|------|----------------------|--|------|---------------|-------------|--------|-----|--------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|--|-----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | 検査範囲 | | 検査方法 | 設備数 | | | | | |
| | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | - | | | 16回 | 17回 | | | |
| F.1.43 | F-A | 支 持 構 造 物 | 余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCY-603, 613) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | - | - | - | - | - | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | | | | |
| | | | 余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン (3V-SI-092) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 格納容器再循環ユニット 出口ライン(CV外) (3TCV-2420, 2421) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | 1箇所 | | | | |
| | | | 格納容器スブレイポンプ 入口ライン (3V-CP-001A, 001B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | 1箇所 |
| | | | 格納容器スブレイ冷却器 出口ライン (3V-CP-021A, 021B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | 1箇所 |
| | | | アニュラス空気再循環ダク ト(3V-VS-101A, 102A, 101B, 102B) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | 1箇所 | | |
| | | | 主蒸気逃がしライン (3PCV-465, 475, 485) | VT-3 | 代表1台 の7.5% | | | | | | | | | | | | | | 1箇所 |

クラス2 機器供用期間中検査で管理

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。
※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (2/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | |
|----------------------------------|------|----------------------|---------------------------|------|--------|-------------|--------|-----|--------|-----|----|----|-----|
| 項目番号 | カテゴリ | システム名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | 備考 | | |
| | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | - | 16回 |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | ○ | |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | ○ | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | | 安全注入系統 | 高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | ○ | |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | ○ | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | 蓄圧タンク及びび出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 燃料取替用水タンク 出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | C-H | | 代替炉心注入ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 余熱除去ポンプ3A入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 余熱除去ポンプ3B入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | 余熱除去系統 | 余熱除去ポンプ3A出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | | 余熱除去ポンプ3B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 代替再循環ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | 格納容器スプレイ系統 | 格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | | ○ |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (3/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | |
|----------------------------------|------|------------------------|----------------------------|------|--------|-------------|--------|-----|--------|-----|----|----|-----|
| 項目番号 | カテゴリ | 系統名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | 備考 | | |
| | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | - | 16回 |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | 格納容器スプレイ系統 | 格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (1) | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (2) | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | 代替格納容器スプレイ ポンプ入口ライン | 代替格納容器スプレイ ポンプ入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | | | 代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 主蒸気系統 | 蒸気発生器3A蒸気出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 蒸気発生器3B蒸気出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 蒸気発生器3C蒸気出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | 主給水系統 | 蒸気発生器3A給水入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | 蒸気発生器3B給水入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | 蒸気発生器3C給水入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (5/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|----------------------------------|------|------------------------------------|----------------------------|----------------|--------|-------------|--------|-----|--------|-----|----|----|-----|-----|-----|---|
| 項目番号 | カテゴリ | 系統名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | 備考 | | | | | |
| | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | | - | 16回 | 17回 | |
| C7.30 C7.70 | | 原子炉補機 冷却水系統 | 原子炉補機冷却水サージ タンク塞素供給ライン | VT-2 | - | - | - | - | - | 15回 | - | - | 17回 | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 原子炉補機冷却海水 供給ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | ○ | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | 格納容器雰囲気ガスサンプ ル冷却器出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 高圧注入ポンプ冷却用 海水放出ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3A, 3B出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3A海 水放出ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器再循環ユニット3B海 水放出ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 充てんポンプ3B自己冷却 供給ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | | 充てんポンプ3B自己冷却 戻りライン(2) | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | | 原子炉補機冷却 海水系統 | 海水ポンプA, B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | | 海水ポンプC, D出口ライン | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | 制御用空気3A供給ライン | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | 制御用空気3B供給ライン | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | 格納容器ガスサンプリングライン空 気作動弁塞素供給ライン(1) | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | 格納容器ガスサンプリングライン空 気作動弁塞素供給ライン(2) | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | アニュラス排気系空気作動 弁塞素供給ラインA | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |
| C7.30 C7.70 | | アニュラス排気系空気作動 弁塞素供給ラインB | | VT-2 | | | | | | | | | | | | ○ |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (6/6)

| 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|---------------------------|------|----------------------|--------------------------------|------|--------|-------------|--------|-----|--------|-----|-----|----|-----|-----|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 系統名 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | 第3検査時期 | | | | | | | |
| | | | | | - | 13回 特4※1 | - | 14回 | - | 15回 | | - | 16回 | 17回 | | |
| C7.30 C7.70 | | 制御用空気圧縮機系統 | 制御用空気圧縮機A出口ライン | VT-2 | - | - | - | - | - | - | 15回 | - | 16回 | 17回 | | |
| C7.30 C7.70 | | | 制御用空気圧縮機B出口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 | | 換気空調設備系統 | アニュラス排気ファン3A 出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 | | | アニュラス排気ファン3B 出入口ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 | | | ダクト(中央制御室～中央制御室) | ※2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 湧水系統 | 高圧注入ポンプ冷却用 海水放出ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | ディーゼル発電機 始動空気ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | ディーゼル発電機 始動空気ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(1) | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | | | 格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(2) | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | アニュラス水蒸気度 (AM) 計測 ライン | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 緊急時対策所 (EL. 32m) 空 気浄化設備系統 | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | | | 緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧設備系統 | VT-2 | | | | | | | | | | | | |

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

原子炉格納容器

| 項目番号 | 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | 伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年） | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|-------|---------------------------|---------------------|------|------|--------------|------|--------------|--------|------|--------|-----|----|--------|-----|-----|--------------|--|
| | | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査範囲 | 設備数 | 検査方法 | 検査範囲 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | | | 13回 | 特4※1 | - | 14回 | | - | 15回 | 16回 | 17回 | |
| E8.10 | E-G | 圧力保持用ボルト締め付け部 | VT-4 | 25% | 1箇所 (72組) | VT-4 | 25% (18組) | - | - | - | - | - | - | - | - | 25% (18組) | |

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-B)については該当なし。

項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-A)については、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(1/5)

| 項目番号 | カテゴリー | 適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|-------|-------|---------------------------|-----------------------------|------|--------------------|----------------------|---|-----|--------|---|-----|--------|-----|---|--|--|--|----|--------------|--|--------------|--|--------------|
| | | | | | | 第1検査時期 | | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 13回 | - | 14回 | 15回 | - | 16回 | 17回 | 18回 | - | | | | | | | | | |
| D2.10 | D-B | | 300kVA電源車燃料タンク | VT-2 | 運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | 3 | | | | | | | | | | | | | 3台を2定検に分けて実施 | | | | |
| | | | 75kVA電源車燃料タンク | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 3台を2定検に分けて実施 | | |
| | | | 大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車) | VT-2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車(泡混合機能付)) | VT-2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 加圧ポンプ車燃料タンク | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 中型ポンプ車燃料タンク | VT-2 | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 緊急時対策所加圧装置 | VT-2 | | 447 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 緊急時対策所用発電機燃料タンク | VT-2 | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | 6台を2定検に分けて実施 |
| | | | ミニローリー | VT-2 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 窒素ポンプ(アニュラス排気系空気作動弁用) | VT-2 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 窒素ポンプ(加圧器逃がし弁用) | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 窒素ポンプ(格納容器ガスサンプルライン空気作動弁用) | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク用) | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(2/5)

| 項目番号 | カテゴリ | 適用規格: 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 設備数 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | |
|------|------|-----------------------------------|---|------|--------------------|-----|----------------------|---|--------|---|-----|--------|-----|-----|----|---|----|---|--|
| | | | | | | | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | 備考 | | | | |
| | | | | | | | 13回 | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | 18回 | | - | | | |
| | | | 大型放水砲 | VT-2 | 運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | 2 | | | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| | | | 小型放水砲 | VT-2 | | 3 | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 可搬型ダクト(緊急時対策所空気浄化ファン ～緊急時対策所空気浄化フィルタユニット) | VT-2 | | 5 | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 可搬型ダクト(緊急時対策所空気浄化フィルタユニット ～緊急時対策所 (EL. 32m) 建屋接続口) | VT-2 | | 11 | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 集合配管(ボンベラック) | VT-2 | | 46 | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 集合配管(減圧ユニット) | VT-2 | | 5 | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | マニホールド(緊急時対策所加圧装置用) | VT-2 | | 447 | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | マニホールド(アニュラス排気系空気作動弁用) | VT-2 | | 2 | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | マニホールド(加圧器逃がし弁用) | VT-2 | | 4 | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | マニホールド(格納容器ガスサンプリングライン空気作動弁用) | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用) | VT-2 | | 2 | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 加圧器逃がし弁窒素供給用9m, 20mフレキシブルホース | VT-2 | | 3 | | | | | | | | | | | | ○ | |

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 (3/5)

| 適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | | 伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|----------------------------------|------|---|------|--------------------|-----|--------|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 設備数 | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | |
| | | | | | | 13回 | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | | 17回 | 18回 | |
| D2.30 | D-B | 可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキシブルホース | VT-2 | 運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | 3 | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | 18回 | - | | |
| | | 格納容器ガスサンプリンングライン空気が動弁室素供給用2m, 6mフレキシブルホース | VT-2 | | 3 | | | ○ | | | | | | | |
| | | 格納容器水素濃度計測装置接続用1.5m, 3mフレキシブルホース | VT-2 | | 3 | | | | ○ | | | | | | |
| | | 格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器冷却水屋外放出用21mフレキシブルホース | VT-2 | | 6 | | | ○ | | | | | | | |
| | | アニュラス水素濃度 (AM) 計測装置接続用1m, 2mフレキシブルホース | VT-2 | | 3 | | | | | | | ○ | | | |
| | | アニュラス排気系空気が動弁室素供給用3mフレキシブルホース | VT-2 | | 2 | | | | | | | ○ | | | |
| | | 原子炉補機冷却水サージタンク室素供給用14mフレキシブルホース | VT-2 | | 2 | | | | | | ○ | | | | |
| | | 高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外放出用5mフレキシブルホース | VT-2 | | 2 | | | | | ○ | | | | | |
| | | 代替格納容器雰囲気ガスサンプリンング圧縮装置接続用2mフレキシブルホース | VT-2 | | 2 | | | | | | | ○ | | | |
| | | 軽油移送配管EL、10m接続口～ミニローリー送油用10mホース | VT-2 | | 2 | | | | | | | ○ | | | |
| | | 軽油タンク出口接続口～ミニローリー送油用10mホース | VT-2 | | 10 | | | | | | | ○ | | | |

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(4/5)

| 項目番号 | カテゴリ | 適用規格: 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査圧力 | 伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|-------|------|-----------------------------------|--|------|--------------------|-------------------------------|---|--------|---|-----|--------|-----|-----|---|--|--|---|----|--|--|---|---|---|--|--|
| | | | | | | 第1検査時期 | | 第2検査時期 | | | 第3検査時期 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 13回 | - | 14回 | - | 15回 | 16回 | 17回 | 18回 | - | | | | | | | | | | | |
| D2.30 | D-B | | 重油タンク出口接続口 ～重油移送配管EL. 84m接続口又はミニローリー送油用10mホース | VT-2 | 運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上 | 8 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 6 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 34 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 2 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | | | | 5m: 2 10m: 11 50m: 37 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | 5m: 5 10m: 7 20m: 3 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | | | | 19m: 5 20m: 29 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | | | | 10m: 17 20m: 21 50m: 63 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | | | | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |

保全に関する実施体制

保全に関する実施体制

1. 事業者の保守管理体制

事業者の第15保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

